

出逢い つながり 学びあう

調布市西部公民館開館40年のあゆみ



調布市西部公民館



地域と共に40年

調布市教育長 大和田正治

西部公民館は、昭和58年に開館して40年を迎えることができました。

開館以来、西部地域の市民の学習活動の拠点として、地域の皆様や、ご利用いただいている方々、公民館運営審議会委員をはじめ、公民館に関わる様々な関係者のご協力によって支えていただきましたこと、心から感謝を申し上げます。

西部公民館の開館当初は、人口の増加とともに、利用団体も年々増加する中、学習・文化活動に取り組み、地域に根差した公民館事業を展開し、地域の課題解決に向けた事業を展開する等、地域とのつながりを大切にしていまいりました。

近年では、新型コロナウイルスの影響に伴い、人々の行動・活動が制限を余儀なくされました。当然ながら、公民館の事業やサークル活動にも大きな影響を受けるものとなりましたが、その中でも、規模の縮小・内容の変更等、感染症対策を講じた上で、地域文化祭を継続実施するなど、可能な限り活動の継続を心がけてまいりました。

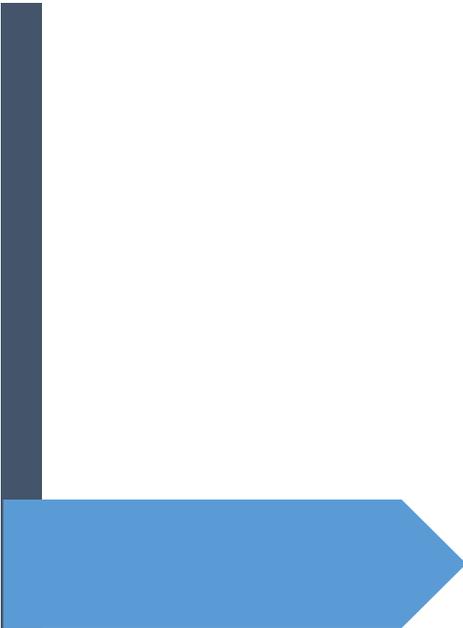
人々のつながりが希薄になりがちな状況下が続きましたが、このことが人と人のつながりを保ち、その後の社会教育活動の推進の原動力となっているものと考えております。

調布市教育委員会では、令和4年度に新たな「調布市教育プラン」を策定し、令和8年度までの事業計画を示し、教育分野における様々な取組を計画的に進めることとしております。その中では、生涯学習社会への対応として、暮らしと地域の魅力・課題の再認識、生涯を通じた学びにつながる公民館活動を推進してまいります。

最後になりますが、本誌に作成に携わっていただきました皆様へ感謝申し上げますとともに、これからも親しみやすい地域の公民館であるよう、取り組んでまいります。今後とも皆様のご理解とご協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

目次

巻頭あいさつ	1
調布市教育委員会教育長 大和田正治	
40周年記念行事・事業	3
開館 40 周年記念セレモニー	4
開館 40 周年トークイベント	5
音楽講座スペシャル レクチャーコンサート	18
青少年対象講座	19
リレー展示	20
学び	23
10年間の主催講座一覧	24
子育てセミナー	68
講師からのことば	69
コロナ禍の公民館を振り返って	71
つながり	74
学級・登録団体の紹介	75
西部公民館登録団体連絡会の活動紹介	94
公民館川柳	95
編集を終えて	99

A thick dark blue vertical bar runs down the left side of the page. A blue arrow points from the right side of this bar towards the right, overlapping the start of the main title.

40周年記念行事・事業

- ・開館40周年記念セレモニー
- ・山花郁子さんと語る西部公民館のこれまでとこれから
- ・レクチャーコンサート～チェロに魅せられて
- ・青少年対象事業
- ・リレー展示

開館 40 周年記念セレモニー

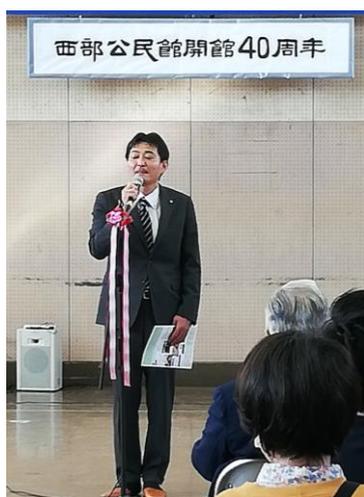
令和 5 年 10 月 29 日（日）

開館 40 周年を迎えるにあたり，地域文化祭の開催期間中に，ささやかながら「西部公民館開館 40 周年記念セレモニー」を開催いたしました。

当日は，100名を超える方々が来場して開催することができ，来賓の方々にご挨拶をいただいた後，アトラクションとして，西部児童館で活動をしている西部ダンスサークルの子どもたちのダンスを披露していただきました。会場は子どもたちの元気で明るい雰囲気に包まれました。



大和田教育長



井上市議会議長



稲留地域文化祭実行委員長



西部ダンスサークルの元気なダンスが式典に華を添えてくれました

「開館 40 周年

初代館長山花郁子さんと語る 西部公民館のこれまでとこれから」

- ◆初代館長山花郁子さんに聞く、開館当時のお話
- ◆加藤由岐枝さんのヴァイオリン演奏での歌
- ◆現在の公民館利用者さんのお話

司会 (川上) : おはようございます。西部公民館へようこそいらっしゃいました。開館 40 周年の今日のトークイベントに、たくさんの方々が来てくださって本当に嬉しく、心強く思っています。まず今回の地域文化祭実行委員長の稲留昌利さんからご挨拶をいただきます。

稲留 : 40 年前と言いますと昭和 58 年、中曽根内閣の頃、3 公社民営化の話が出ていた頃でしょうか。さらにその 40 年前はというと、学徒出陣があったんですね。それだけの長い時間、歴史があるんですね。今年の文化祭も比較的好評をいただいているようですが、これをゼロから始められたというのが山花さんです。この地域でまだ前例がなく、その時に始められた公民館



館の活動がずっと続いてきたおかげで、我々が利用させていただいております。今日はトークイベントと音楽の演奏もあります。皆さんの発言の機会もありますので、ぜひ肩の力を抜いて積極的にご参加いただいて、意義のあるイベントにしたいと思っておりますので、どうぞよろしく願います。

司会 : ありがとうございます。ではトークを始めたいと思います。司会の川上です。よろしく願います。今日、山花郁子さんにお会いするのは久しぶりという方も多いと思いますが、実はいろんなところに出没していらっしゃいまして、大変フットワークの軽い方でいらっしゃいます。40 年前、初代の西部公民館長を務めてくださいました山花郁子さん、ご挨拶をお願いします。

山花 : おはようございます。皆さんのお顔を見ただけで本当に懐かしいですね。昔、皆さんと一緒にこの西部公民館を盛り立てていったなって思い出が次から次へと溢れてきましてね。40 年前は、私も 50 代ですからね。50 代って言うと、活動期ですよ。そんなことを思い出しながら、お一人おひとりのお顔を懐かしく拝見させていただいております。

●40 年前で印象に残っていることは

司会 : 先日、山花さんと打ち合わせしたときに、開館当時ってどんなだったんですかとお聞きしたら、公民館のまわりは「西の外れの野っばらだった」ということばが印象に残っています。こ

れから何枚かの写真を見ながら、当時を振り返っていきたいと思います。



活動の様子などを見ると活気がありました。講演会では著名な講師を迎えていましたね。山田洋次さんや、なだいなださんをお迎えしたんですよね。当時の様子を少しお話しいただけますか。

山花：私、公務員生活 20 年の中でほんとに西部公民館が一番懐かしくて思い出の溢れる場所です。最初、周辺はほんとに野っばらな感じで「あらあ」って感じでしたね。ここへ来る前、私はつづじヶ丘児童館の主査として、児童館の建設事業に関わっていたんです。でも庶務的なことは不得手なのでいつも職員の皆さんに助けてもらっていました。そのかわり会の司会とか文化事業は全部私が担当しました。そんな時突然、児童館から西部公民館に異動の辞令を受けたんです。公民館で働けるのはとても嬉しかったんですが、実はその時ちょっと思い残すことがあったんです。それは当時人気力士の高見山大五郎関に子どもたちが憧れていたの、なんとか願いをかなえてあげたいと計画中だったからです。私、講師を依頼するときには、いつも役所の形式的な書類ではなくて、しっかり思いを込めて書くんです。その時もすぐに快諾していただいたので、みんなでお迎えする段取りをしていたからです。それでも職員たちの配慮で、新設された 1 階の児童館を会場にしてくれたんです。当日お迎えした車の中から出ていらした高見山関に続いて、もう一人とびきり大きいお相撲さんが現れたのが、なんと小錦関でした。その時私が差し上げたお茶碗がすごく小さく見えたことなんかも懐かしく思い出します。土俵では、子どもたち相手にわざと負けてくれたり、みんなでかかっていってもどっしり動かず、面白く勝負展開してくれました。のちに大活躍する小錦関の話題で盛り上がったのも楽しい思い出です。



●西部の「開拓時代」と名付けて

山花：ここは西の外れで、何やら田んぼの風景が広がる場所というのが第一印象でしたが、さてここで何をするか！西部という、開拓時代のフロンティア精神のイメージが広がりました。とに

かくいろいろ事業計画するときそんなことと結びつけて、とにかくいろいろ事業計画を立てる時に、利用者の方々と一緒に取り組んでいこうと思いました。そして男女平等の思想を根底に据えて、「平和の問題を日常的な課題に」という事をモットーにしました。それは今でも、ずっと引き継いでくださっているの、公民館だよりを見ると、ああ嬉しいなと思って、私も行きたいなと思いがらなかな忙しくて来れなくて、今日は久しぶりに懐かしい皆さんにお目にかかることができました。今はミニバスが通っていますけれども、当時は西調布駅から歩いて15分かかったんです。でもその15分の道のを「シンキングタイム」と名付けて、「今日はどんなことをしようか」とか、あれこれ事業計画などを思い巡らしながら、楽しんで歩いたのを思い出します。

最初の職員が私と門傳千恵子さん、そして松沢一好さんという男性と3人体制でしたが、そのあとですぐに石黒紀子さんが囑託として加わってから、女性3人のパワーまっしぐら！だからちょっと松沢さんが気の毒でした。最初はいろいろ不満があったかと思いますが、退職後「西部公民館は僕の誇れる仕事でした。文化事業を通していろいろな人と出会え、市役所生活の中で一番素晴らしかった」と言ってくれたので、あとになって安心したものです。

心強かったのは、当時「調布市公民館運営審議会」の副委員長だった高野美也子さんが、ご近所にお住まいだったので、いろいろお手伝いくださったことです。

当時、事務室は実に開放的で、「おはようございます」「こんにちは」と、利用者の方々の明るい挨拶で活気に満ちていました。皆さんと一緒に、これからどういうことをしたいか、それぞれの事業計画を話し合ったりしました。子どもを取り巻く食生活をテーマにする「ピクルスの会」も誕生しましたが、ずいぶんモダンなネーミングだなーと思ったりして…。それから「手芸教室」「書道教室」など、いろいろな方が自主的に担当してくださったサークル活動も活発でした。

「絵本と童話の会」は現在、塩山さおりさんが、当時の主催者・西野みのりさんからしっかりバトンタッチしてくださっています。「バオバブの会」は、たまたま私が児童文学専攻なので、創作活動のほか、翻訳の仕事などもみんなで楽しんで勉強しましたが、すべて受講者の方々の企画で、地域に根ざした活動が展開できたと、今でも思っています。



●なだいなださん、山田洋次さん、早乙女勝元さんとの懐かしい思い出

山花：周年事業は特に力を入れまして、まず一周年事業として当時テレビの人気番組だった『おしん』に出演していた長岡輝子さんをお迎えしました。児童館の遊戯室に320人集まりました。とてもいい取り組みができたと思っています。次に、精神科医のなだいなださんをお呼びしました。『ぼくのへそ曲がり人生』という本を出版なさった後でした。いろいろ連絡を取りあって、

「先生、明日はよろしくお願ひします」「ハイハイ」なんて調子よかったです、なんと当日時間になってもお見えにならないではありませんか。会場には大勢の方がたくさん待っていらっしゃるのに。慌ててご自宅に電話したら「ハイハイ」なんてご本人がお出になったではありませんか！「先生、今始まるんですよ！」って言ったらびっくりされちゃって。とにかくその日は仕方なく閉会になって、皆さんにお帰り願ったのですが、そのあとなださんを紹介して下さった出版社の社長さんが心配して、なださんの本を 100 冊寄贈して下さったんです。次回いらしていただいた方々にお持ち帰りいただいたのですが、それは今も懐かしい思い出です。

それから「寅さんの文化論」をテーマに、山田洋次監督にもおいでいただきました。お話しの中なかで特に印象に残っているのは渥美清さんについて語って下さったことです。「あの人は、週刊誌なんかの噂話が大嫌いで、休憩時間にはいつも一人で静かに読書していましたね」と、それがお話しの中で一番心に残っています。それから『私のカルチャーショック』というタイトルで、新劇の日色ともゑさんにもいらしていただきました。「音楽は共通のコトバ」をテーマにお迎えした和波孝禧^{わなみとかよし}さんは、今日バイオリン演奏をしてくださる加藤さんの紹介でお出でいただきました。

『私たちの生きた時代と子どもたちの未来』というテーマで、早乙女勝元さんにいらしていただきましたが、これが私の任期中の最後の仕事になりましたので、とりわけ印象深く心に刻まれています。早乙女さんは「東京大空襲」のご自分の実体験を語るなかで、戦争は二度と起こってはならない！と力強く訴えてくださいました。現在のイラク戦争と重ねて胸に響きます。本当に今、改めて「平和」ということばをかみしめて問い直したいとつくづく思いますね。私はウクライナの支援活動に取り組んだのですが、今はロシアだけでなく双方に不信感がつのっていますので、こうして皆さんと語り合う中で、何をしたらいいのか考えを深めていきたいと思います。

そして、講演会では壇上に飾るお花もお近くの方が持ってきて活けてくださいました。主催者任せではなく、皆さんで取り組んでいただきました。

そうそう、このお部屋にはじめて入って窓のカーテンを開けて「あらー、富士山が見える！」と大喜びしたことも懐かしい思い出です。

石黒さんと門傳さんと私の 3 人 3 様の突っ走りで、公民館をダイナミックに盛り立てていったなと思います。そして今も館長さんはじめ、職員の皆さんがそういう歴史を大事に事業計画を立ててくださっています。現在私は、地域のピアニストの且田泰代さんと一緒に『歌と語りのブックトーク』をテーマに、和歌山、長野とか、北海道などの小学校・保育園や老人施設などもふくめてあちこち出かけております。且田さんとのご縁は、公民館のコピー機で、楽譜の印刷をしていた且田さんに私が声かけをしたことから始まりました。とはいえ私も 92 歳になりまして、だいぶよちよち歩きなったようで、これからはちょっと遠くはどうかなと思っています。でもここに座ると若い日々の楽しいことがたくさん蘇ります。

開拓時代といえ、料理教室も盛んで、ここで学びながら資格を取って、講師になった方もいらっしゃいました。「手芸サークル」や「どんぐり」という英会話サークルもありましたが、今日も会場にどんぐりの歴史を語る機関誌が並んでいましたね。皆さんそれぞれ地域の力を発揮して活躍してくださいました。



司会：ほかに子どもたち対象の講座もさかんでしたね。土器作りとか。料理教室はピクルスの会の当時の写真があります。今もピクルスの会の代表をしている熊澤さん、ヴァイオリンを演奏してくれる加藤さんも料理サークルに参加していたんですね。栗谷先生もいらっしゃいました。男性の料理グループも今もずっと続いています。昭和 60 年に今も続いている小倉百人一首を楽しむ会がかかるたのロビー展示をしたのが朝日新聞に掲載されたこともありました。そして、いきなり現代になりますが、先日児童館とコラボして 40 周年記念でかかし作りを行いました。この部屋いっぱい子どもたちが夢中に工作を楽しみました。学校と違ってなんでもできるから楽しいと盛り上がりました。長く活動していた絵本と童話の会の展示も好評でした。塩山さんは山花館長に出会って、絵本につながる最初のきっかけを作っていただいたと感謝していました。

●平和を大切なテーマとして

司会：それから公民館の大きなテーマとしての平和事業ですが、石黒さんの時代から引き継いで積極的に展開してきました。この夏、伊勢崎賢治さんをお迎えして「平和はつくれるか」というテーマで講演をしていただきました。地域の中学生には踊りを披露していただき、地元出身の演奏家のベルリンに暮らす飯吉真子さんファミリーには素晴らしい演奏を披露していただきました。平和の大切さを様々な視点で考える事業「平和フェスティバル」として、毎年継続しています。



山花：最初にお話したように、平和を日常的な課題にするというのが初期のモットーでした。これはずっと引き続き展開してくださっていると思うんですが、今の現状を見ると戦争に正義はあるのか、どうしたらいいのかというやはり地域のいろんな場で語り合うことじゃないかと思うんです。語り合うことで常に平和の種を自分の手のひらで確かめたいと思うんですね。今年中にまた本を出すんですけど、実はうちのベルという猫がしょっちゅうひっくり返るんです。それ

を見ていて、そうだわ、わたしもひっくり返れば 29 歳だわと。『ひっくり返れば 29 歳、平和の種を握りしめて』というエッセイを仕上げたいと思っています。ほんとうに私たち自身がしっかりしなくては、私は昭和 6 年生まれですから、やっぱり私のできることは自らの戦争体験をいろんな所で語り伝えることが大事だと思います。ほんとに今の情勢は怖いですね。世界戦争に向かいそうな気がしてじっとしてられないんですけど、自分にできることをわきまえて、語り合うこと、平和を自分の手のひらで握りしめていかないといけないなと思っています。そして平和をテーマにして地域の読書活動にいっしょけんめい励んできた山崎馨さんのことも思い出されます。親子読書会のメンバーで一緒にいろんな活動をしたことを懐かしく思い出します。

司会：今日はその山崎さんのお連れ合いの山崎瑞江さんも来てくださっています。今、お聞きしていると、いろんな方の固有名詞、お名前がどんどん出てきてお見事です。人の名前がなかなか思い出せなくなるのが普通ですが、ここでの 5 年間は山花さんにとってどれほど記憶に残る時代だったのかと感じますよね。今、名前が出て来た方、お話いただけますか。

●公民館を支え続けてきた、一人ひとりの思い

石黒：こんにちは。私が山花さんと出会ったのは 30 代後半です。それからずっと西部公民館でいろんなことを教わりました。社会教育との出会いが西部公民館なんですね。社会とつながる窓口としての公民館ってとっても大事な役割をしているんですよね。私は今、三鷹にいますんですけどできないことがいろいろあります。調布は大事にして死守してもらいたい、いろんな活動ができる広場、拠点としてほんとに大事にしなければならないということをつくづく実感しています。山花さんはシンキングタイムとおっしゃったんですけど、もうひとつ印象に残る言葉があって「動かなければ出会わない」、ほんとうにその通りと思います。思いを込めて動く、いろんなことで出会うことってすごい財産なんですよ。



私はここでいろんなことを教えていただきました。「あらかきの会」で住井すゑさんのところにも行き、丸木美術館にも行きました。公民館を足がかりに市民の方たちといろんな所に出かけられました。そういうことができる場が公民館なんですよ。今日たくさんの人たちがお集まりですけど、皆さんそういう可能性の種を持っているということで、いろんなことを思い出しながら聞きました。そして山花さんは今もとてもアクティブに動いて、皆さんに伝える種を作っているし、いろんな館長さんがいらっしゃいましたが、山花さんがナンバーワンなんです。そこに居合わせていただいたことはとても幸せだと思います。今の職員の方も最初に蒔いた種を引き継いでくれていると私は思います。

熊澤：さっき画面に出ましたが、お相撲の小錦さんはあまりにも横幅がありすぎて扉から入れなくて、私の主人のお兄さんに扉を直してもらったんです。そんなことがありました。それから私たちピクルスの会も読売新聞に味噌作りの活動が掲載されたことがありました。

高野：高野と申します。山花さんは地域のいろんなことをすくいあげて、公民館で活動できるようにと配慮してくださった方だと思っています。緑の会という詩を創作する活動を会員の自宅でやっていたところ、山花さんが調布市の詩人の羽曾部忠さんを紹介してくださり、公民館で活動するよう声をかけてくださいました。それから毎年、文化祭で詩を発表させてもらっていました。みんな若かったので、ハイハイする子どももいて、保育室がなかったので、和室で子どもが這いまわって羽曾部先生のお膝に乗っかっていても気にせず、先生の指導で素晴らしい詩を作っていました。



もうひとつ、山花さんが合唱サークルを作りたいということで、私の娘が佐藤先生にピアノを習いに行っていたご縁から、声楽がご専門だった佐藤先生に講師を依頼しました。当時この職員だった畠澤千代子さんがピアノを弾き、合唱団コール・ヴォーチェができたのも山花さんのおかげでした。

山花：羽曾部先生は飛田給小学校の先生でいらして、まどみちおさんのお弟子さんなんです。羽曾部先生が早く亡くなられて、会津に碑を建立することになってごいっしょに行ったことを思い出します。まど先生が最後までおっしゃっていた言葉は「びっくりしたな」「知らなかったな」「ありがとう」でした。100歳でもまだびっくりしているんですね。その3つを日常語になさっていたことを思い出します。

石黒さんが先ほど紹介してくださった「動かなければ出会えない」の最初のフレーズは、狛江の絵手紙作家の小池邦夫さんも使用されていますが、これはたしか外国の方のことばで、私は「語らなければ広がらない」「聴かなければ深まらない」をあとに続けました。1981年の大田堯先生が会長の「第二次教育制度検討委員会」のメンバーだった時に、このことばを取り上げていただいたことから、私のモットーにしています。そういえば、西部公民館にもお話に来ていただいた科学者の高木仁三郎先生もメンバーのお一人でした。

司会：もうお一人、お話にも出てきました山崎馨さん、そのお連れ合いの山崎瑞江さんには子育てセミナーで毎年平和の話をしていただいています。子育てセミナーというのは幼いお子さんをもったお母さんたちが、子どもを保育室にあずけて15回連続で学ぶんですけど、子どもの人権については梶原政子さん、山崎さんには14年間、平和の話をしてもらっています。今、若いお母さんたちが直に戦争体験を聞く機会というのはほぼないんですね。毎年お母さんたちが涙ながらに話を聞いて、平和について話し合っています。その貴重な話をしてくださっているのが、山崎瑞江さんです。

山崎：山崎と申します。深大寺に住んでおりました、地域で子ども文庫をしています。今日歌ってくださる歌も子ども文庫の中から生まれた歌です。コロナがあって子ども文庫はちょっとお休みになっています。夫は山花さんにいろいろお世話になって亡くなってから 15 年も経ちますけど、未だにクロストークなんかを書いてくださっています。あらためて大切なつながりだったと感じています。ありがとうございました。



梶原：調布駅前に住んでいます。この前、大田堯さんの『かすかな光へ』という映画上映会をやったときに山花さんが来てくださいました。私はまだ市民センターがあった時に、地域にひとりぼっちの子どもを作らない、協力共同の子育てをしようということで少年団作りをして今年で 50 年になります。その時に市民センターの設立のお祝いの会で市民センターのステージを使って良いですよと言ってくださって、子どもたちとあの舞台でお祝いの会を開いたんですね。私たちがお願いをしなくても、山花さんが心配りをしてくだっていたと思い出しました。あの子どもたちもう定年退職して、児童館の館長をやったり、学校の先生をやったりして地域貢献もできるような大人になりました。私たちのやってきたことがつながっていくというのはいいことですね。ありがとうございました。

山花：皆さんのお話を聞いて改めて歳を感じましたね。今日来てくださった庄司洋子さん、婦人学級や保育問題に熱心に関わってくださいました。それから東部公民館時代にお目にかかっていた安部宝根さんも懐かしいお顔です。現在は公運審の委員長さんですね。

●ヴァイオリン伴奏で、みんなで歌を

司会：さて、ここまで前半、山花さんや皆さんに当時の様子をうかがいました。この後、加藤由岐枝さんがヴァイオリンを弾いてくださるということで 3 曲用意してくださっています。40 年を振り返って『この道』から。みんなで歌いましょうということなので、手元に歌詞カードを用意しましょうかと山花さんに言いましたら「歌詞カードがあると下を見ちゃうから、顔を上げて歌いましょうよ」ということで用意しました。顔を上げてということが、公民館魂といえますか、それも大事なことだと思いました。

加藤：4 周年のときに和波孝禧さんに来ていただいたので、それにちなんで『この道』を選びました。その歌詞のなかにさんざしという花が出てくるのですが、今日私が着てきた服の模様が、さんざしの花です。では皆さんで歌いましょう。

『この道』

司会：山花さんの声、のびやかで素晴らしいですね。

次の『バラはうたう』は山崎馨さんの作詞です。

アンネの薔薇にちなんだ曲です。

『バラはうたう』 『故郷』



●西部公民館との関わりについて、利用者さんのお話を聞きました

司会：後半は、これからの公民館を考えるためにも、今現在、西部公民館で活動している方々にお話を伺いたいと思います。4人の方に西部公民館とのかかわりをお話しいたします。

岳野勝治（宮の下囲碁同好会）：宮の下囲碁同好会は 35 年前に発足した囲碁サークルです。会員で囲碁を楽しみながら、子どもたち対象に囲碁体験教室をしてきました。今日は、ある少年との出会いについてお話しします。私は 67 歳の二度目の退職後、社会の生存競争に少し疲れ果てまして、今後どうやって生きていったらいいんだろうかと考えておりましたときに、囲碁の初心者講習会というのに参加させていただいて、講習会が終わった後も、囲碁サークルのメンバーに入らせていただきました。何年か経ちましたときに、下の児童館の館長さんに子どもたちに囲碁体験をさせてほしいと言われ、関わるようになりました。何人か教えました、子どもたちは学童クラブを卒業するとなかなか続かない。せっかく教えてようやくわかってきたかなと思うと来なくなるので残念に思っていたんですね。小学 4 年生の時に来ていた少年が、数年後のある日、中学生になっていて「当時教えていただいた先生にお目にかかりたい」と言っているというんですね。会っていろいろお話ししたんですけど、私より上級者になっていましたね。そのとき初めて、物事にすぐに結果を求めちゃいけないんだなということがよくわかりました。囲碁体験で教えてもその結果をすぐに見ることはできない。多分できないけれど、決して諦めてはいけないんだなというふうなことをつくづく思いました。囲碁以外のことでもそうなんだと考えられるようになったのは西部公民館囲碁初心者講座を設けていただいたからです。西部公民館で囲碁に出会ったことが私の第三の人生の始まりでした。

司会：これからもご自分のためにもですが、子どもたちのためにも頑張っていたきたいと思います。次は熊澤さんです。ピクルスの会は、ほぼ 40 年前から繋がってきました。人生の中で様々なことを乗り越えながら続けてこられた女性たちの活動だったのではと思います。



熊澤基子（ピクルスの会）：代表の熊澤です。昭和 58 年 7 月、西部公民館と共に設立されました。最初は保育付きの成人学級で、1 日 2 時間の学習。今は昼食をはさんで 4 時間半です。毎回次の会の内容をきちんと決めて帰ります。なかなか 40 年も公民館に関わっている人は少ないので、懐かしい方にお会いすると嬉しくなります。私は一番下の子が幼稚園の年長になった時、友達に誘われて「月 2 回だから、それも 2 時間ずつだから」と簡単に考えて参加、あげくに保育者としても 2 年間過ごしました。

ピクルスの会の活動は年 25 回ほど、年間テーマを持ち計画を立てます。最初の成人学級の時に言われた「単なる料理教室ではいけない。単なる料理教室ならカルチャーセンターや民間施設に行けばいい」という厳しい言葉を頭の隅に置き、一段上の学びができたという気持ちでやってきました。32 歳だった私もプラス 40 年になっていますので、子や孫のためにも食の安全性につい

て考えてきました。時に料理作りから離れ、市の出前講座を利用しての学習や介護のプロの講習、工場見学にも行きました。今年のテーマは「旬の食材を知って免疫力を高める」です。楽しく健康で学習していけるよう皆で意見を出し合っています。

司会：次は、時津直子さんです。調布ドキュメンタリー映画くらぶも西部の特色あるサークルの一つです。社会性のある作品など自分たちで選んだ作品をみんなで見て語り合っています。いくつかのサークルで長く公民館に関わってきた時津さん、お願いします。

時津直子（調布ドキュメンタリー映画くらぶ）：私は調布に引っ越してきたばかりのころ、子どもがまだ小さく、誰も知り合いがいなくて育児ノイローゼ気味で悶々としていたときにたまたま調布の駅前の中央公民館でお母さんのための連続講座があり、ちょっと覗いてみようかなってというのがきっかけでした。いろんなお母さんたちがいて子育てで悩んでいる、一人じゃないんだ、みんな子育てで悩んでいるんだっていうのを知りました。そのときにたまたま窓口で職員の鎮目さんに「公民館ってなんですか？」ってお聞きしました。そうしたら「自分の課題とか自分の周りを歩いていて気づいた地域の課題を解決するために、いろいろな学習をしていく場所なんだよ」というようなことを聞きました。公民館というのはそういう所なんだと知りました。それから、中央公民館がなくなり、いろんな課題が生まれました。多くの人に声をかけたり、いろんな集会を開いたりしてきました。たづくりに移転して状況は少しずつ変わってきています。それから、社会教育っていうものが少しづつ隅に押しやられている状況があるかなあっていうふうに思っています。3公民館はそれぞれの地域の中で周りの人といろんな方が今も頑張ってるのを見て、今後も続いてほしいと思っています。大それたことではなくて自分の足元の課題を一つ一つクリアしていけば、きっと若い人たちも見ているんじゃないかなと思います。それで、私は地域のことといえば、私にとってはゴミの問題が課題になっていました。ゴミ検討委員会に入り、燃えるごみは燃えるごみ、燃えないゴミは燃えないゴミということで、たいへんだけども分別するというを選んだそういう焼却場を作ることになりました。

それから成人学級で「教育フォーラム・のどらか」にも関わり、10年ぐらいいやりました。教育と子どものことは結局、社会の問題だよ、社会のありようが子どもたちにも反映するんじゃないかっていうことをいろんな先生から学んできました。ドキュメンタリー映画くらぶは2011年度に企画会をやり、2012年に4回の鑑賞会をやって、その後登録団体になりました。作品から、社会を映す鏡として監督のこだわりや社会への深いまなざしが見てとれます。非常に光のある作品を、毎回見ながらいろいろ勉強させていただいております。

司会：月に1回、いろんな作品を見ながら、時には監督もお呼びして、語り合いながら学んでいる特色あるサークルですね。時津さんと公民館との出会いや関わりについてもお話しいただきました。

最後は比較的新しいグループ、水彩画の美楽、栃下章子さんです。2015年8年前にスタートした、水彩画のグループです。



栃下章子（美楽）：歴史のあるサークルの後ですが、よろしくお願ひします。私の母親くらいの方たちといっしょに水彩画を学んでいるのですが、私は年配の方とお話するのは全然平気です。敬語のことは考えていると本音でなかなか話せないところがありまして、90歳の方もいらっしゃいますが、敬語は使わないで、最後に謝っています。最初は体験教室がありました。そこに集まった人たちで、その日のうちにサークルになりました。描く絵にはそれほど社会的な意味はないのですが、描く絵に自分が満足しているかどうか自分に納得できるかどうかだと思ふんです。真っ白い紙に最初に筆を降ろす時、冷や汗が出るくらいになりますが、えいやっと行かないと勢いのある線は描けないんですね。失敗してもいいんです。もし失敗したらリセットできますので。失敗は成功のもとですからね。やっぱりチャレンジ精神といいますかね、そういうのがないと失敗すらできないということになりますから、そういうふうにかけています。先生も自由であれば、おっしゃっていますし。絵というのは常に自分が出るし、だから常に満足がないんですね、一生の間に何枚位満足の行く絵が描けるだろうかとか、このやり方はこれでいいのかって常に天の声が「あなたはそれでいいの？この書き方でいいの？ここでやめていいの？」とかいろいろな声が降ってくるんです。だからほんとうに自分と向き合う、自分を映すような絵の結果が、隣の会場に展示されています。柔軟でしなやかさを失わず、自分の絵を求めていければいいと思っています。若い人が少ないのですが、私のように自由に発言させてくれる場があれば若い人は来られると思ふんです。

若いのに何言ってるの？という気持ちが伝わると、引っ込んじゃいますよね。自分の子どもに何言ってるのと思ひながらも話に耳を傾けることってあるじゃないですか。そういう雰囲気が公民館に必要ですよ。インターネットからの情報は多いですけど、若い人でも孤独な人が多いです。相談できないし、間違ったら思いっきり叩かれる風潮だからなかなか自分を出せない。離職率も高い。失敗してもいいんだよ、と笑い飛ばせるような年長者でありたい、失敗してもいいんだよと語りかけ、フォローするからいいんだよって言って、サークルが存続できるようにしたいと思っています。

●コロナ禍を乗り越えたサークル活動

司会：ありがとうございます。次の質問ですが、コロナで活動が中断したり、制限されたりした期間がありました。それを経て、どのような思ひか教えていただけますか。

岳野：囲碁に関しては、マスクをし、消毒もし、間隔も空けましたが、できるだけ通常通りに行いました。会員にとって日曜日みんなで囲碁をすることがそれだけ大事だったということですね。

熊澤：私たちは料理を作るサークルなので、実習室の定員が9名に減った時に、会員12名のうち3人ずつ順番に休んでもらいました。真冬でも3か所窓を開けて、マスクでの学習。寒くてコートを来て人参を切っていた人もいましたね。逆に夏は熱気が入ってきて大変。作ったものはその場では食わず、全部持ち帰っていました。文化祭は3年間、料理発表は行わず、展示や映像での形でした。今年は4年ぶりに部屋の制限もありましたが、30食出すことができました。私たちのサ

ークルは60代から90代まで学んでいますが、このコロナ禍で会員の体力が落ちてきたのか、以前のような80食はきついのこと。満足のいく内容で活動ができなかったのも痛手でした。ようやくかつての状況に戻った今、笑い声が増えました。マスク越しの声も大きくなりました。活動を通じてアドレナリンを出し、免疫力が上がってきたのでしょう。

コロナ禍で余った会費で、全員おそろいのエプロンを買うことができました。

時津：調布ドキュメンタリー映画クラブも、教育フォーラム・のどらかも、マスクしていればいいと考えて、それで活動を止めようということはありませんでした。淡々と続けていましたね。場所を変えたりしても語り合うことはやめなかったですね。

柄下：私たちも寒くても窓を開けて、できる限り続けていましたね。一人で絵を描くのとは違って、みんなに会いたいというのがあって集まっていたんだと思います。コロナでなくなったのは途中のおやつタイムでした。絵を描くとすごくお腹がすくんですけれどね。今、作品残しておこう、コロナを経ていつどうなるかわからないと思うと、描けるときに書いておきたいと思うようになりました。

司会：皆さん工夫して活動を続けてきたんですね。現在、活動している皆さんにお話しいただきました。山花さんいかがでしょうか。

山花：嬉しいですね。皆さん、長く活動している方も、今日初めてお目にかかった方も、西部公民館で生き生きと活動してくださっていて嬉しく思いました。私ね、すぐやる課、すぐミスる課を自認しているんです。でも、^{とやましげひこ}外山滋比古さんの言葉で、定年後が退屈になる原因は、「失敗する機会がないということだ」というのがあるのを思い出しました。ことばの小箱を開けて、今日の最後に大事なことをお話ししたいと思うんですけど、井上ひさしさんの「完璧な国などありません。早く間違いに気づいて、自分の力で乗り越えていくしか未来はない」んです。一人ひとりが一生懸命こうやって活動してくださることが平和につながる、とすごく嬉しく聞かせていただきました。

司会：最後に質問したいことがありましたら、どうぞ。

山花：私から聞きたいのですが、皆さんの健康法は？

稲留：私は51歳でけがをして1カ月ギブスをして入院したことがありまして、退院したら足の筋肉が全く落ちてしまってリハビリとかやったんですけど、それが契機になって、今は朝5時に起きたあと、4、50分間5キロのダンベルを持って足に2キロのおもりをつけて足を動かしたり、腹筋を30回やったりしています。食事はご飯を減らしておからのパウダーを食べたりしています。大事なものは継続ですね。

山花：私は忙しくてなかなかできないんですけど、15年間続けているのは、深大寺の森での朝7

時 15 分からの太極拳です。以前は歩いて行っていたんですけど、今は 6 時過ぎにバスに乗っています。それが健康法ですかね。そこで日曜日は朗読をさせていただいています。絵本や詩や、ちょっとした短い言葉であるとか、皆さん喜んでくださっているのですね。会のなかに石川さんという元音楽の先生がいらして、その方がふっと私をとらえて、「山花さんは人生に疲れていない人ね」って言ってくださったんですよ。私、面食らっちゃってね。でも私、日々疲れても、夜になると明日は何をしようって考えているってことは、やはり人生に疲れていないってことかなと思って、今年一番の嬉しい言葉のプレゼントをいただきました。(拍手！)

司会：その太極拳と朗読の話をお聞きして、思ったんですけど、それって「どこでも公民館」なんじゃないかと。建物がなくても、そこに集まった人たちで、何か始めて、さらに発展させて何か面白いこと、有意義なことをやっちゃおうっていうのは「公民館精神」だなと思いました。それでは最後に、現在の館長、福澤明公民館長からのご挨拶です。

●貴重なお話を受けて、おしまいに

福澤館長：山花さん、本当にありがとうございました。皆さんにとってもこのお話はとても興味深いものだったと思います。「動かなければ出会えない、語らなければ広がらない、聴かなければ深まらない」を心に置いて、これからやっていきたいと思います。加藤さんのヴァイオリンも、この部屋が一体になって、すごくほっこりしていったと思います。ほんとうにありがとうございました。最後に、今活躍している方のお話してから、そうだったんだなと気づかせてもらったことが多くありました。これからやっていく中でいろいろと考えさせていただけることだと思っています。ありがとうございました。山花さんがやっていらっしゃったことを、自分にやれと言われてもできません。その時のパワーとか熱意があって、皆さんも一緒に力をつけていったものだと思います。それに負けずというか少しでも近づけるように、一緒になって頑張っていきますので、これからもよろしく願いいたします。

司会：西部公民館のお庭で育てたお花を、成人学級ウエストガーデンきららの会員さんが花束にしてくれましたので、山花さんと加藤さんに贈呈させていただきます。そして岳野さん、熊澤さん、時津さん、栃下さん、今日来てくださった皆さん、ほんとうにありがとうございました。



開館40周年 音楽講座スペシャル

「レクチャーコンサート～チェロに魅せられて」

令和5年11月19（日）グリーンホール小ホール

日頃から公民館を利用していただいている方をはじめ、市民の方々への感謝と公民館を広く知っていただく機会として、西部公民館の音楽講座の講師小澤由佳氏、市立第五中学校卒のチェリスト江口心一氏、ピアニストの島田彩乃氏をお招きして、レクチャーコンサートを実施しました。小澤氏の解説とともに13曲を披露し、江口氏の情熱的な演奏は参加いただいた200人の市民を魅了しました。

当日プログラム



小澤由佳氏
日本での西洋音楽の始まりのお話とともに、演奏曲の解説をしてくださいました。

- | | |
|---------------|-------------------|
| ♪ J.S.バッハ | 「G線上のアリア」(チェロ編) |
| ♪ M.T.v.パラディス | 「シチリアーノ」(チェロ編) |
| ♪ G.フォーレ | 「夢のあとに」(チェロ編) |
| ♪ P.マスカーニ | 「間奏曲」(チェロ編) |
| ♪ アイルランド民謡 | 「ロンドンデリーの歌」(チェロ編) |
| ♪ F.ショパン | 「ノクターン」(ピアノ独奏) |
| ♪ E.エルガー | 「愛の挨拶 作品12」 |
| ♪ J.S.バッハ | 「無伴奏チェロ組曲」より「前奏曲」 |
| ♪ F.メンデルスゾーン | 「チェロとピアノのための無言歌」 |
| ♪ C.サン＝サーンス | 「動物の謝肉祭」より「白鳥」 |
| ♪ D.ポッパー | 「ハンガリー狂詩曲 Op.68」 |
| ♪ アンコール | A.グズノフ 「吟遊詩人の歌」 |
| | P.カザルス 「鳥の歌」 |



江口心一氏
心を揺さぶるチェロの音色、歩きながらのチェロ演奏も披露してくださいました。



島田彩乃氏
しっとりと叙情的なノクターンの演奏。トークではフランス留学のお話も。



40周年にちなんだ 青少年対象事業

子どもたちを対象にした記念事業も行いました。ほかにも「手話体験」や「囲碁体験」，恒例の「子ども科学教室」（全4回）も行いました。今後も子どもたちのワクワク体験を広げる講座を実施していきます。

「かがくじっけんで『もくもく』しちゃおう」 6/11, 17

◆講師 小沢洋一氏（仮説実験授業講師）

ドライアイスを使った実験で水分子とは何かを学びました。迫力ある実験に歓声が湧きました。



「段ボールで不思議なかかしをつくろう」 10/14, 15

◆師井栄治氏（調布美術研究所主宰）

段ボールと古布を使って，個性豊かなかかしを作りました。みんなで頭にかぶって，かかしに変身。作品は地域文化祭で展示され，好評でした。



親子自然観察会

「いきもの観察と竹のけん玉づくり」 8/23

◆北本自然観察公園指導員

植物や虫の観察とノコギリを使っての工作にもチャレンジしました。



「大人と子どもの天文学教室」 R6.1/12, 19

◆縣 秀彦氏（国立天文台准教授）

天文の魅力や不思議をわかりやすく解説してくれる人気講座。今年40周年にちなんで，国立天文台三鷹キャンパスの見学も行いました。



「すてきな春の和菓子を作って，お茶会を楽しもう」 R6.3/27

◆小宮 崇氏（つつじヶ丘今木屋）

蒼天会（協力：西部公民館登録団体）

人気講師の指導で，和菓子作りに挑戦。そのあとは和室でお茶会を楽しみました。



開館40周年リレー展示

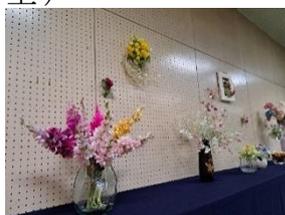
登録団体や市民の皆さんの作品を、ロビーで年間通して楽しんでいただこうと、リレー展示を行いました。思いがこもった力作に多くの方が見入り、新たな会話が弾む展示となりました。



プレ展示「春を呼ぶ～ひな祭り展示」 佐藤紀子(サークル会員)

【1】「やさしさを届ける～まゆの花」

吉田京子氏
(まゆの花講師・地域の方)
4/1(土)～4/15(土)



【2】「美楽 一人ひとり展」

美楽(登録団体)
4/26(水)～5/10(水)



【3】「墨で描く心の風景」

西雅会(登録団体)
5/18(木)～5/31(水)



【4】「絵手紙『彩の会』身近な四季を絵手紙に託して」

彩の会
6/1(木)～6/17(土)



【5】「調布野の花 写真展」

横山譲二氏

6/18（日）～6/30（金）



【6】「娘と母の刻 She know.&緒方ゆかり2人展」

緒方詩乃氏, 緒方ゆかり氏

7/1（土）～7/19（水）



【7】「四季の楽しみを折り紙に込めて」

奥田克枝氏

7/20（木）～8/9（水）



【8】「調布心身障害児・者親の会ぴいす展」

NPO法人調布心身障害児・者親の会

8/29（火）～9/10（日）



【9】「世界にひとつの手作り絵本展～西部公民館から始めました」

絵本と童話の会（元成人学級）

9/12（火）～9/29（金） 絵本と童話の会



【10】「段ボールで不思議なかかしを作りました」
西部地域文化祭実行委員会
 10/15（日）～10/25（水）



【11】「中川平一作品展～西部地域の風景を中心に」
中川平一氏
 11/10（金）～11/30（木）



【12】「西部公民館開館40周年地域文化祭を写真で振り返る」
 12/1（金）～R6.1/25（木）

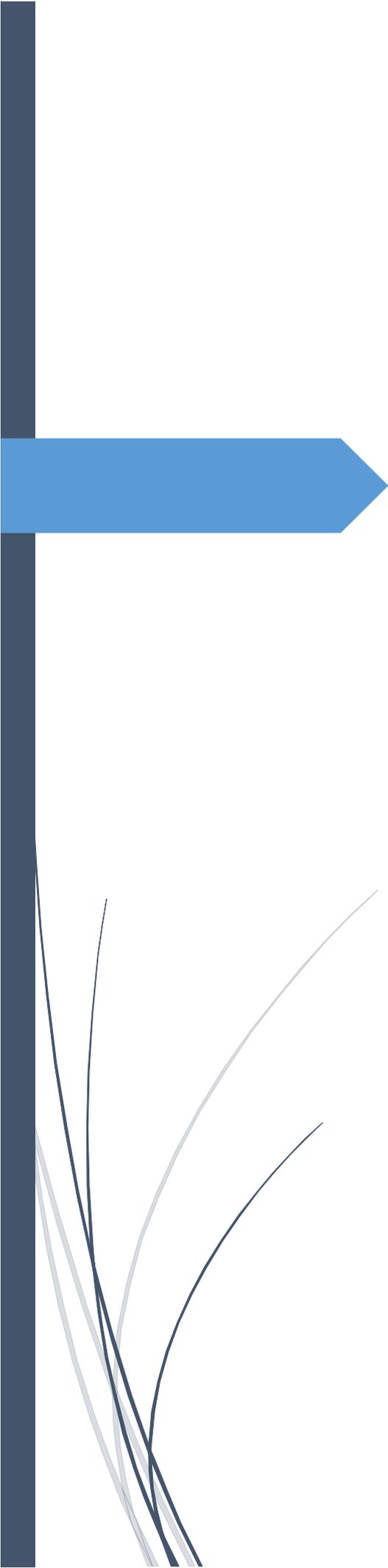


【13】「絵ンジェルの会作品展」
絵ンジェルの会（登録団体）
 1/26（金）～2/15（木）



【14】「鹿島学園高等学校調布キャンパスイラストゼミ作品展」
鹿島学園高等学校調布キャンパスイラストゼミ
 3/2（土）～3/15（金）





学び

- ・西部公民館10年間のあしあと
- ・子育てセミナー
- ・講師からのことば
- ・コロナ禍の公民館を振り返って

調布市西部公民館10年のあしあと～地域のみなさんと「100年に一度の感染症の危機」にも負けずにがんばりました～

事業名	内容及び講師
平成26年度 主催事業	
○講演会	
特別講演会	「フォトジャーナリスト安田菜津紀が捉えた世界、東北の希望」※文化会館たづくり映像シアター 安田菜津紀氏（フォトジャーナリスト）
○市民講座	
福祉講座	「盲導犬マリンとの暮らしでみてきたもの～涙と笑いの5年間」 ・犬との出会いから現在までの歩みについて 愛沢法子氏（調布市視覚障害者福祉協会会長）
歴史講座 （全3回）	「覗いてみよう！ 明治という世の裏・表」 ①「王政復古に伴う動き」②「東京遷都の裏・表」③「明治の世の大変革」 小平恭士氏（歴史研究家）
文学講座 （全2回）	「今、声に出して読むアンネの日記」 ①「アンネの生涯とその時代に思いをはせて」～解説と劇団たんぼぼによる朗読～②「作品が語りかけてくるものに耳を澄ませて」 山崎瑞江氏（たんぼぼ文庫）
音楽講座 （全3回）	「音楽の中のメッセージを読み解こう～ヴァイオリン協奏曲編」 ①「メンデルスゾーンの協奏曲」②「ブラームスの協奏曲」③「チャイコフスキーの協奏曲」 小澤由佳氏（音楽学者，芸術学博士）
環境講座Ⅰ	「気象のプロに聞く なぜ起こる異常気象」 野内修一氏（気象庁東京管区職員）
防災講座	「もしものときに備えて体験して学んでみませんか」 通報・初期消火・救出搬送・AED体験 調布消防署職員
市民企画講座	「声に出して愉しむ漢詩 李白・杜甫とともに悠久の世界へ」※文化会館たづくり学習室 荘魯迅氏（カルチャーセンター講師，吟遊詩人）
環境講座Ⅱ （全2回）	「私たちの大切な空気 大気汚染の現状を知ろう」 ①「大気汚染の基礎と日本の現状」②「大気汚染の影響と対策を知る」 松田和秀氏（東京農工大学農学部環境資料科准教授）
コミュニティカレッジ	「西谷修氏と考える沖縄と日本の未来」 西谷修氏（立教大学大学院文学研究科特任教授）
美術史講座 （全3回）	「スサノヲの表現を探る」“画家の目を通して見る美術史” ①「知る」—観賞する前に（画像を見ながら）②「見る」《スサノヲの到来—いのち、いかり、いのり》展を鑑賞※DIC川村記念美術館（千葉県佐倉市）③「考える」—それぞれのスサノヲ あなたのイメージするスサノヲとはどんな神？ 下向恵子氏（画家 美術教師）
健康講座	「痛める前に！腰痛予防運動」 金子岳史氏（健康運動指導士）
○高齢者対象	
シニア歴史散歩	「古代ハスと古墳をたどるさきたま歴史散歩」※埼玉県行田市（市のバス利用） ・古代ハスの里・さきたま古墳公園・史跡の博物館 伊佐九三四郎氏（旅作家）
シニア健康講座 （全2回）	「筋力トレーニングで転倒予防」※たづくり学習室 ①「バランスの良い姿勢のために（前編）」②「バランスの良い姿勢のために（後編）」 金子岳史氏（健康運動指導士）

事業名	内容及び講師
シニア講座 (全6回)	「学ぶ門には福来る！地域で生きる豊かさを求めて」 ①「調布のジオラマを囲んで話そう～調布の今昔」 立体模型ジオラマ製作者 ②「シニアをサポート・高齢者福祉について知ろう」 市高齢者支援室 高齢福祉担当課職員 ③「鍼灸マッサージ師から学ぶ、自分でできる身体のケア」 大沢則夫氏（蓬治療所院長） ④「“思い出のアルバム”の歌発祥の地と武者小路実篤記念館見学」 常楽院本多前住職、実篤記念館職員 ⑤「児童養護施設・二葉学園と子どもたちのことを知ろう」 小倉学園長 ⑥まとめの話し合い
シニア講座Ⅱ (全2回)	「春一番、シニアのためのポジティブカラー&メイクアップポイント講座」 ①「ポジティブカラーで輝こう」②「メイクポイントをおさえて魅力アップ！」 小林伸子氏（カラー・メイクアップアーティスト）
○市民文化教室	
体験教室Ⅰ (全2回)	「ちょっとお洒落なナチュラルフラワーアレンジ」 ①「四角い花器に生ける」②「丸い花器に生ける」 高部フミ子氏（日本フラワーデザイナー協会名誉本部講師）
体験教室Ⅱ	「墨の香りを感じながら草花や風景をはがきに描こう」 川崎孝一氏（水墨画教師）
体験教室Ⅲ	「見て聴いて詠む短歌～歌人・三原由起子さんとともに～」 三原由起子氏（歌人）
世界の料理教室	「イタリアマンマの夏の家庭料理」 ・パンツァネッラ・コラトゥーラのスパゲティ・なすのパルミジャーナ・パンナコッタ 宮本さやか氏（フードライター 料理教室講師）
パソコン教室 (全3回)	「昔の写真のデジタル化に挑戦！」※調布市立第五中学校 ①画像の基礎知識②画像の補正③簡単なアルバムの作成 日東商会職員
男の料理教室Ⅰ	「夏バテしないプチ薬膳にチャレンジ」 ・コーンと枝豆のチリコンカレー他 栗谷道代氏（料理研究家）
体験教室Ⅳ	「初心者のためのスマートフォン講座」 NTTドコモあんしんインストラクター
体験教室Ⅴ	「アレルギーのある子も楽しめるスイーツを作ってみよう」 兵頭英理子氏（料理講師）
男の料理教室Ⅱ	「おかずにもなる酒のつまみにもなる簡単メニュー5品つくろう」 ・肩ロースの煮豚・豚肉のカリカリ串焼き・野菜のツナディップ・ほうれん草のナムル・パルメザンチーズスティック 夏梅美智子氏（料理研究家）
体験教室Ⅵ (全3回)	「身近な画材で、絵のある生活」 色鉛筆、水彩絵の具等、手持ちの身近な画材を使って自由に絵を描いてみよう 師井栄治氏（調布市美術協会会員 調布美術研究所代表）
○学級	
成人学級 「絵本と童話の会」	①「今年度の制作課題を決める」②「紙芝居、文化祭の話し合い」③「紙芝居の制作」 ④「文化祭（共通テーマ）ラフ、展示について」⑤「絵本の推敲」⑥「今後の学習活動内容決め」 ⑦「文化祭について」⑧「文化祭展示について」⑨「文化祭準備」 ⑩「館外学習 “河鍋暁斎記念美術館” 見学」⑪「紙芝居の時代考証、内容について」 ⑫「文化祭の反省、館外学習の意見交換」⑬「たづくり展の企画について」

事業名	内容及び講師
	⑭「立体構成の絵本作りその①」⑮「立体構成の絵本作りその②」⑯「立体構成の絵本作りその③」 ⑰「一年間の反省」
成人学級 「教育フォーラムのどらか」	①「今年度の学習について」③「佐々木賢さんを囲んで勉強会」④「公開講座の検討」 ⑤「ピーター・メイヨー『グラムシとフレイレ』について」⑥『グラムシとフレイレ』序論について ⑦『グラムシとフレイレ』を通して学ぶ成人教育 里見実氏（國學院大學名誉教授） ⑧「イタリアの教育協同組合とマリオローディ」 ⑨「公開講座“グラムシとフレイレ”を通して学ぶ成人教育」 里見実氏（國學院大學名誉教授）※文化会館 たづくり学習室 ⑩「公開講座を終えて」⑪「館外学習について」⑫「これまでの学習とパウロフレイレの成人教育思想」 ⑬「日本人の心性」のある側面について」
成人学級 「ゆかり会」	①「自己紹介、役割分担について」②「お互いを知る」③「文化にふれる～浴衣の着付けを学ぶ」 ④「地域の農業を学ぶ～稲城市上原ぶどう園」 ⑤「秋の養生とツボについて」 内田安美氏（鍼灸治療院院長） ⑥「学習計画の検討会」⑦「多摩川クリーン作戦について打ち合わせ」⑧「多摩川クリーン作戦」 ⑨「災害対策を学ぶ話し合い」⑩「館外学習“江戸東京たてもの園”見学」 ⑪「ミーティング 今年目標」⑫「絵本の読み聞かせ」公開講座⑬「来年度について」 ⑭「家庭で伝えるいのちのはなし」⑮「今期のまとめと来期の予定」
高齢者学級 「粋生会」	①～⑥「課題川柳の検討」 ⑦公開講座「江戸川柳のいろいろ」1（全3回） 小松侶忠氏（江戸川柳研究家） ⑧公開講座「江戸川柳のいろいろ」2 ⑨公開講座「江戸川柳のいろいろ」3 落語「代書屋」月の家圓鏡(③特別ゲスト) ⑩⑪「課題川柳の検討」⑫「創作川柳句評会」⑬「館外学習、文化祭（当番）他」 ⑭「課題川柳の検討」⑮「文化祭関係」⑯「館外学習 房総の小江戸“大多喜”見学」 ⑰～⑳「課題川柳の検討」
○国際理解教育	
国際理解講座 （全2回）	「今、世界で何が起きているのか～紛争下の女性と子どもを中心に」 ①「知っていますか？～世界の紛争と人権状況」②「女性と子どもの権利～世界の事例を学ぶ」 山口薫氏（公益社団法人アムネスティインターナショナル日本キャンペーンコーディネーター）
○家庭教育	
子育てセミナー （全15回）	「仲間と出会い、子どもと自分を育てよう」 ①「自己紹介をしよう」②「市の子育て支援を知ろう」 調布市子ども政策課職員 ③「子どもの権利ってなに？」 梶原政子氏（DCI日本支部事務局長） ④「日常の子育てを見つめ直してみよう」 梶原政子氏（DCI日本支部事務局長） ⑤「話し合い」⑥「子どものいのちを守る」 武山ゆかり氏（医療ソーシャルワーカー） ⑦「支援の必要な子の親として」 進藤美左氏（たんぼぼの会） ⑧「手作り絵本の魅力」 成人学級「絵本と童話の会」会員 ⑨「足もとから考える環境」 調布ごみ市民会議会員 ⑩「ハンドベル音楽でつながろう」 ハンドベルデュオ ベリーラブ ⑪「話し合い」⑫「働くことで得たもの」 青山富美江氏（おたすけママ） ⑬「戦争のない平和な時代を」 山崎瑞江氏（たんぼぼ文庫代表） ⑭「感想を持ち寄ろう」⑮「みんなでクッキーを作ろう」
家庭教育講座 I （全2回）	「不安を信頼に変えるために西牧たかね先生と考えよう」 ①「子どもたちの通っている中学校は、今どうなっているの？」②「親子関係、学校との関係をより良くする方法ってあるの？」 西牧たかね氏（元中学校教師）

事業名	内容及び講師
家庭教育講座Ⅱ (全2回)	「子育て中の悩みを減らそう！ハッピーな子育てのためのコミュニケーション術」 ①「まずは自分を知る～これでいいの？私の子育て」②「他人を知って心を軽く～コミュニケーション力アップ術」 谷津かおり氏（表現教育講師・劇団主宰者）
○青少年対象	
子ども体験教室Ⅰ	「夏の花で染めるパンダナ染め体験講座」 マリーゴールドとローズマリー使った染め物体験 門傳千恵子氏（ハーブコーディネーター）
子ども料理教室Ⅰ	「夏休み親子そば打ち体験」 深大寺そば打ち倶楽部会員（調布市職員）
親子自然観察会	「いきもの観察と竹の水でつぼうづくり」※埼玉県北本自然観察公園（市のバス利用） 自然学習センター自然学習指導員
子ども体験教室Ⅱ	「盲導犬のおしごとってなあに」 愛沢法子氏（調布市視覚障害者福祉協会会長）
子ども料理教室Ⅱ	「野菜ってすごい！見て聞いて食べて知ってトクする講座」 ・野菜についての解説・野菜の飾り切り・野菜クイズ・賞状とプレゼント渡し 佐々木輝雄氏（日本獣医生命科学大学教授）と食品科学科の学生たち
子ども体験教室Ⅲ	「秋の味覚を収穫しよう！～さつま芋掘りとおイモの料理～」 （協力）市内農家 平田徳次郎氏 利用団体 ピクルスの会
子どもとおとなの天文学教室 (全2回)	「星の王子さまの天文レクチャー」 ①「はやぶさ2と一緒に太陽系を旅しよう」②「TMT望遠鏡が挑戦する宇宙での生命探し」 縣秀彦氏（国立天文台准教授）
子ども科学教室 (全4回)	「ものをこすり合わせると生まれる電気 静電気ってなに？」 ①「人間がはじめてみつけた電気はどんな？」電気を起こしてくらべてみよう ②「ものをこすり合わせるとできる電気とふつうの電気は同じなの？」電気をためる実験 ③「プラス電気とマイナス電気～空中クラゲをつくってみよう」 ④「静電気のはたらき・利用～実験あれこれ」 平林浩氏（仮説実験授業研究会会員）
子ども体験教室Ⅳ	「山田はるこさんとアート遊び カラフルジャングルをつくろう！」 山田はる子氏（造形作家、街のアトリエ主宰者）
○展示会	
ロビー展示	「西雅会ロビー展」（水墨画） 作品数15点 [子どもたちの小さな写真展] ～子どもたちが撮影した多摩川の風景～ 写真10点 布と紙の温もり 「あたたかな手作り作品を楽しむクリスマス展示」 ログ・キャビン（パッチワーク） 鈴木明美（折り紙サークル講師） 「かるたで調布の魅力再発見」 ・調布かるた・調布いろはかるた・ハロールンルンお仕事かるた
○フェスティバル	
平和フェスティバルⅠ	講演とミニコンサート 「戦争をするより、平和を守ることは勇気が必要です」 小平恭士氏（歴史講座講師） 飯吉真子氏（ヴァイオリニスト）
平和フェスティバルⅡ	「平和への思いを新たに」～東京大空襲戦災資料センターを訪ねる～ 竹内静代氏（元中学校教師）

事業名	内容及び講師
○コンサート	
ロビーコンサート	「初夏の風にのって 玉澤明人の歌とボイストレーニング」 「コーラス」 第五中学校合唱部 「ミニコンサート」 歌 玉澤明人氏（ボイストレーナー） ピアノ 荻野仁志氏 協力 西部ボイストレーニングサークル 西部公民館改修記念ロビーコンサート「ギターと合唱とリコーダーの素敵な音楽のプレゼント」 田中拓実氏（ギター） 富永和音氏（リコーダー） コーロ・ゼッフィロ（混声合唱）
○団体育成	
チェリーセージ公開講座	「ハーブいっぱいのできるケーキづくり」 ・ハーブを使用したケーキ作り・ハーブのブレンドティーでティータイム ハーブサークル「チェリーセージ」
ピクルスの会合同学習会	「人気の手作りタレ・ふりかけを作ってみませんか？」 焼肉のタレ，風味ふりかけ，わりした，こんにゃく 食材研究「ピクルスの会」
クッキングパパ公開料理教室	「初心者でもおいしい男の料理」 ・豚肉の油淋鶏風・ゴーヤと油揚げの豆腐あえ他 粟谷道代氏（料理研究家）
西部慢慢児の会公開学習会	「ゆっくり学ぶ健康太極拳」 ①楊名時太極拳の稽古 ②楊名時太極拳の稽古 室井昇氏（西部慢慢児の会講師）
ピクルスの会公開学習会	「寒仕込み味噌を作ろう」 ①材料渡しと説明 ②味噌仕込み 食材研究「ピクルスの会」

- ★ 今年の漢字 税
- ★ 流行語大賞 ダメよ～ダメダメ，集团的自衛権

平成27年度 主催事業

○講演会	
特別企画講演会	「世界の中の日本～平和・エネルギーの未来」※文化会館たづくり映像シアター 伊藤千尋氏（ジャーナリスト）
○市民講座	
歴史講座 (全3回)	「遠ざかる昭和の歩みを顧みよう」 ①太平洋戦争に至るまでの日本の歩み②太平洋戦争③終戦そして復興へ 小平恭士氏（元中学校教諭）
文学講座 (全2回)	「詩がある暮らし～吉野弘，金子みすず，まどみちおの詩に触れて」 ①「詩に触れてみましょう」②「詩を味わい，楽しみましょう」 官尾節子氏（詩人）
福祉講座 (全2回)	「心のバランスを崩した人に寄り添うための講座」 ①心を病むということを理解しましょう②コミュニケーションを練習してみましょう 松浦幸子氏（クッキングハウス代表）
音楽講座 (全3回)	クラシック入門「音楽ってどうしてできる？」 ①楽器や奏者は作曲家を惑わせる？②国旗を背負って，音楽で民族性を③王道のピアノの名曲・ピアノはいつからピアノだった？ 小澤由佳氏（音楽学者）

事業名	内容及び講師
コミュニティカレッジ (全3回)	「戦後70年を振り返り、希望を探る3人の視点」 ①子どもをめぐる様々な事件が問いかける戦後70年 青木悦氏 (教育ジャーナリスト) ②民衆の視点で読み解く戦後70年 安田常雄氏 (神奈川大学特任教授) ③世界から見える日本, その光と影 西谷修氏 (立教大学客員教授)
健康講座 (全3回)	「はじめてのヨガ&ピラティス」 ①呼吸と体幹, 体への気づき～はじめの一步②自分の体を知ろう～姿勢・体幹への意識を高める ③流れを感じながら動く～体と心の変化を感じる 工藤ゆかり氏 (ヨガ, ピラティス講師)
美術史講座 (全3回)	画家の目を通して見る美術史「となりの若林さん」～若林奮 飛葉と振動展を中心に～ ①「知る」—鑑賞する前に画像を見ながら講義②「見る」—「若林奮 飛葉と振動展」鑑賞 府中市美術館 ③「考える」—それぞれの若林さんを語る 下向恵子氏 (画家, 美術教師)
環境講座 (全2回)	「クマと森と人間～糞拾いから見えてきた環境の変化」 ①クマと人間をめぐる様々な関わり②クマと森との深い関わり 小池伸介氏 (東京農工大学大学院 講師)
○高齢者対象	
シニア講座 (全6回)	「学部門には福来る! 地域で生きる豊かさを求めて」 ①身体を整えてアクティブシニアをめざそう 高梨美奈氏 (明治大学講師) ②映画大好き～調布シネマクラブ会員の話を聞こう NPO法人調布シネマクラブ会員 ③考古資料をもとに, いにしへの調布に思いを馳せよう 市郷土博物館 郷土博物館学芸員 ④武蔵野の雑木林のルーツを見に行こう 埼玉県三芳町 伊佐九三四郎氏 (旅作家) ⑤自分事としての認知症～包括さんに聞いてみよう 地域包括支援センターせいじゅ職員 ⑥学習のまとめ
歴史散歩	「忠臣蔵ゆかりの地を訪ねる歴史散歩」※皇居東御苑・泉岳寺 伊佐九三四郎氏 (旅作家)
シニア健康講座 (全2回)	「楽しく動いて健康づくり～体の内側から温かく」 ①リズムに合わせて全身をのびのび動かそう②年代に適した体操で身心をバランス良く整えよう 山川容子氏 (鍼灸師, 健康運動指導士)
シニア健康講座Ⅱ	「気になる春先の皮膚トラブルと泌尿器系トラブルの話」 庭山由香氏 (杏林大学病院皮膚排泄ケア認定看護師)
○市民文化教室	
体験教室Ⅰ (全3回)	「春から始めるやさしい英会話」 ①まずは声を出して, 英語の歌詞を理解して歌ってみましょう②英語雑誌のちょっとおもしろい記事を読んでみましょう ③アメリカ人の考え方に触れてみましょう 津曲綾氏 (英語講師)
体験教室Ⅱ (全3回)	「かぎ針で編む 初夏のミニかごバッグ」 ①かごバッグづくり実習②かごバッグづくり実習③かごバッグづくり実習 三上早苗氏 (編み物講師)
体験教室Ⅲ	「やさしい英会話公開講座」 津曲綾氏 (英語講師)
体験教室Ⅳ	「アレルギーのある子も楽しめるちょっとうれしいランチを作ろう」 ・野菜いっぱい焼きビーフン・ベジブロスで作る温かシチュー 兵頭英理子氏 (料理教室講師)

事業名	内容及び講師
体験教室V (全3回)	「手編みでつくろう ふくろうのハンドウォーマー」 ①「ハンドウォーマーづくり 実習」②「ハンドウォーマーづくり 実習」③「ハンドウォーマーづくり 実習」 三上早苗氏 (手編み講師)
体験教室VI	「はじめての和菓子～桜餅にチャレンジしよう」 ・桜餅, フルーツ入り白玉 高津桂子氏 (料理教室講師)
パソコン教室 (全3回)	「ワードを使ってはがき作り」 ①「パソコンの基礎知識・基本操作」②「ワードを始めよう」③「ワードではがき作り」 日東商会株式会社職員
世界の料理	「イスラームの文化を感じながら, アラブの家庭料理を作ってみよう」 ・アラブのパン, ひよこ豆のコロッケ, デザート 有見次郎氏 (日本ムスリム協会副会長)
男の料理教室I	「キホンを学ぼう だしの取り方と魚のおろし方」I ・だし, つみれ汁, 鰹のお刺身 三橋詩乃氏 (元日本料理人)
男の料理教室II	「キホンを学ぼう だしの取り方と魚のおろし方」II ・だし, つみれ汁, 鰹のお刺身 三橋詩乃氏 (元日本料理人)
○学級	
成人学級 「絵本と童話の会」	①たづくり展について②絵本のラフスケッチの推敲, 紙芝居の仕上げ ③講師の先生によるラフスケッチの講評 水上比呂美氏 (絵本作家) ④たづくり展について⑤たづくり展を終えて (反省会等) ⑥四行詩の制作⑦文化祭に向けて⑧文化祭展示内容についての話し合い ⑨文化祭の反省, 今後の活動予定について⑩今後の予定とブックトーク ⑪鉛筆デッサンを学ぶ⑫調布の民話紙芝居 ロビーに展示準備 ⑬鉛筆デッサン講座, ロビーコンサート打ち合わせ ⑭絵本の学習会⑮絵本の製本講座 製本工房リーブル岡野氏 ⑯「今後の活動についての話し合い①」⑰「今後の活動についての話し合い②」
成人学級 「教育フォーラムのどらか」	①今年度の学習について, 公開講座について②公開講座について ③館外学習—教科書展示会 (中央図書館) ④公開講座について ⑤公開講座に向けての話し合い⑥公開講座の再検討と館外学習について ⑦文化祭展示内容の検討⑧館外学習「東京に沖縄があった—横田基地をウォッチング」 ⑨公開講座に向けての検討⑩公開講座に向けて⑪公開講座のポスター作り ⑫公開講座事前学習 ⑬「どうなる日本, どうする教育」連続公開講座①多様な教育機会確保法案ってなに? 中島浩篤氏 (法政大学講師) ⑭今後の学習について ⑮公開講座役割分担及び資料 ⑯「どうなる日本, どうする教育」連続公開講座②「主権者教育ってなに?」 池田賢市氏 (中央大学教授)
成人学級 「ゆかりの会」	①今年度の学習について, 公開講座・館外学習について②今年度の活動について ③農業を学ぶ～トマト農園訪問④9/18に実施の体にやさしい料理の打合せ ⑤「体にやさしい料理」ガパオライス・生春巻き他⑥公開講座, 館外学習に向けての話し合い ⑦公開講座「どならない子育て」 菊嶋水緒氏 (子ども家庭支援センターすこやか相談員)

事業名	内容及び講師
	⑧「子どもの幼少期からの親の心がけについてと特別支援学校について」 西牧たかね氏（元中学校教師） ⑨製造過程を学ぶ～サントリー武蔵野工場見学 ⑩学習のまとめ
高齢者学級 「粋生会」	①～⑥「課題川柳の検討」 ⑦「創作川柳句評会」 ⑧公開講座「入門江戸川柳」①（全2回） 小松侶忠氏（江戸川柳研究家） ⑨公開講座「入門江戸川柳」② 小松侶忠氏（江戸川柳研究家） 落語 三笑亭可龍師匠(②特別ゲスト) ⑩「課題川柳の検討」 ⑪「課題川柳の検討」文化祭展示句について ⑫～⑭「課題川柳の検討」 ⑮館外学習「玉川上水羽村取水堰，羽村市郷土博物館他」 ⑯「文化祭の反省他」 ⑰「創作川柳・百人一首文句取り・句評会」 ⑱「課題川柳の検討の検討」 ⑲～⑳「課題川柳の検討」
○国際理解	
国際理解講座 Ⅰ	「平和の宗教イスラームを知る～異文化との共存～」 有見次郎氏（日本ムスリム協会副会長）
国際理解講座 Ⅱ	「混迷続く中東 シリア情勢の今とこれから」 青山弘之氏（東京外国語大学大学院教授）
○家庭教育	
子育てセミナー (全16回)	「仲間と出会い，子どもと自分を育てよう」 ①自己紹介をしよう②市の子育て支援を知ろう 市子ども政策課職員 ③子どもの権利ってなに？ 梶原政子氏（元幼稚園園長） ④日常の子育てを見直してみよう 梶原政子氏（元幼稚園園長） ⑤子どものいのちを守る 武山ゆかり氏（医療ソーシャルワーカー） ⑥支援の必要な子の親として たんぼぼの会代表 ⑦話し合い⑧足元から考える環境 調布ごみ市民会議会員 ⑨戦争のない平和な時代を 山崎瑞江氏（たんぼぼ文庫） ⑩話し合い⑪手作り絵本の魅力 絵本と童話の会会員 ⑫働くことで得たもの 青山富美江氏（おたすけママ） ⑬自分を育てるとのこと ハンドベルデュオ・ベリーラブ ⑭感想を持ち寄ろう⑮自主企画を楽しもう⑯自主活動の目的と内容についての学習
家庭教育講座 Ⅰ	「中学生ってたいへん？保護者はどんな心の準備をすればいいの？」 西牧たかね氏（元中学校教師）
家庭教育講座 Ⅱ (全2回)	「もうすぐ1年生 親と子の心の準備をしよう」 ①幼児期から児童期へ～子どもの心と体の変化を知ろう②園から学校へ～新しい環境へ飛び込む子どもを支える 宮下孝広氏（白百合女子大学教授）
○青少年対象	
子ども体験講座 Ⅰ	「ドライアイスの科学実験『もくもく』であそぼう」 小澤洋一氏（科学教室講師）
子ども体験教室 Ⅱ	「ブルーベリー摘みとジャム&ドリンクづくり」 市内「中村園」でブルーベリー摘み 公民館でジャム&ドリンク作り

事業名	内容及び講師
子ども料理教室Ⅰ	「夏休み親子そば打ち体験」 深大寺そば打ち倶楽部（調布市役所職員）
親子自然観察会	「名栗湖の豊かな自然を観察しよう」 飯能市観光・エコツアーリズム推進課職員 飯能市エコツアーガイド
子ども科学教室 (全4回)	「結晶ってなんだろう」 ①結晶ってどんなもの？砂糖水の実験②結晶についての話、食塩の結晶を取り出す実験③みょうばんの結晶の樹をつくろう ④結晶模型をつくろう 平林浩氏（科学教室講師）
子どもとおとなのための天文学教室 (全2回)	「星の王子さまの天文レクチャー～宇宙と生命」 ①月と惑星の不思議（月の観望）②宇宙と生命 縣秀彦氏（国立天文台准教授）
子ども体験教室Ⅲ	「クリニカルアートを体験 色の冒険をしよう」 神山貴子氏（クリニカルアーティスト、舞台美術家）
子ども料理教室Ⅱ	「春色のワンプレートランチを作ろう」 平尾由希氏（フードコーディネーター）
○展示会	
ロビー展	「水墨画サークル西雅会ロビー展」額装した水墨画22点の展示 出展：西雅会（西部公民館利用登録団体） 市制施行60周年記念ロビー展示「私たちのまち調布を再発見」 フォトグループ写・写（西部公民館登録団体）の調布の自然、生活、風景作品20点 郷土博物館8点 「集まれinたなばた祭り」たんざく展示 西利連お楽しみ会のたんざく 50点 「絵手紙サークル彩の会作品展」 カレンダー、絵手紙 約50点 「成人学級絵本と童話の会作品展」 調布の民話の紙芝居 4点 平和ロビー展「写真で伝える東京大空襲」 東京空襲の写真パネル展示 23点
手作り絵本展	世界にたった1つの「おかあさんの手作り絵本展」※たづくり北ギャラリー 成人学級絵本と童話の会
○フェスティバル	
平和フェスティバルⅠ	「戦争を知らない子どもたちに、今、何を伝えますか」 第一部 沖縄の舞踏エイサー・大島おけさ 第五中学校ボランティア部 第二部 講演「戦後70年、子どもの本が伝える平和のメッセージ」 野上暁氏（児童文学者） 第三部 朗読「おかあさんの木」 山花郁子氏（児童文学者） 第四部 ミニコンサート 飯吉真子氏（ヴァイオリニスト） 金淵洋子氏（ハーブ演奏者）
平和フェスティバルⅡ	「朗読劇と音楽に平和への思いをのせて」 第一部 第五中学校合唱部による合唱 第二部 朗読劇「あの夏の日」（たんぼぼ文庫）と山崎瑞江さんの戦争体験談 第三部 ヴァイオリンとピアノのミニコンサート ヴァイオリン：波多野せい氏 ピアノ：相馬邦子氏
○コンサート	
ロビーコンサート	調布市制施行60周年・優良公民館表彰受賞記念「空飛ぶ笛・ギター・合唱を初夏の風に乗せて」 リコーダー 江崎浩司 ピアノ 伊藤一人 ギター 田中拓実 女性合唱団コル・ウ・オ・チェ

事業名	内容及び講師
	「音楽と紙芝居の心温まるひととき」 ハンドベルデュオ・ベリーラブ アマチュアバンド「調布デイズ」 紙芝居読み聞かせ「絵本と童話の会」
○団体育成	
ピクルスの会 合同学習会	「人気の手作り丸・ふりかけを作ってみませんか」 ・焼肉のたれ、風味ふりかけ、コンニャク作り ピクルスの会
クッキングパパ 公開講座	・カラッとした天ぷら・かき揚げ・おつまみ2種・天つゆと井のつゆ クッキングパパ
チェリーセージ 公開講座	「アップルミントでハーブのリースを作ろう」 ・ハーブを材料にしてのリースづくり チェリーセージ
ピクルスの会 公開学習会 (全2回)	「寒仕込み味噌を作ろう」 ①「材料渡しと説明」②「味噌仕込み」 食材研究サークル「ピクルス」
おやじの厨房 体験教室	「春だ！松花堂風弁当を作ろう」 料理サークル「おやじの厨房」 による料理体験
美楽体験教室	「春から始めよう！一緒に絵を描きませんか」 絵画サークル「美楽」 による絵画体験

- ★ 今年の漢字 安
- ★ 流行語大賞 爆買い、トリプルスリー

平成28年度 主催事業

○講演会

特別講演会	「夢を持つことをあきらめない～調布の子ども食堂・学習支援の今とこれから」※手話通訳つき ※たづくり映像シアター 細川真彦氏 （子ども食堂かくしょうじ代表） 西牧たかね氏 （市社会福祉協議会ここあコーディネーター） 赤石千衣子氏 （しんぐるまざあず・ふぉーらむ理事長） 田中拓実氏 （ギター演奏）
○市民講座	
福祉講座	「愛沢法子さんと盲導犬マリンに会いに来ませんか」 愛沢法子氏 （調布市視覚障害者福祉協会会長）
文学講座	「今、与謝野晶子とは ことばの美、明治女性の志」 今野寿美氏 （歌人）
歴史講座 (全3回)	「徳川家康が開いた江戸・東京の歴史探訪」 ①「家康試練の歳月」②「家康江戸の大地に立つ」③「江戸の建設と東京探訪」 小平恭士氏 （元中学校教師）
健康講座 (全3回)	「リラックスヨガとストレッチで心身ともにリフレッシュしよう」 ①「身体の声聞いて自分に合った方法で動こう」②「呼吸を観察、体の動きと合わせてみよう」 ③「身・息・心 全体のバランスを整えよう」 山川容子氏 （鍼灸師・健康運動指導士）
音楽講座 (全3回)	「作曲家の生涯から学ぶ人生論～つらい時、悲しい時、作曲家はどう乗り越えるのか」 ①「モーツァルトの生涯と“短調”の作品にこめられたメッセージ」②「ベートーヴェンの苦悩…音楽にこめられた想い」 ③「解説つきロビーコンサート～作曲家のメッセージを受け取ろう」 小澤由佳氏 （音楽学者）

事業名	内容及び講師
環境講座 (全2回)	「足もとから考える環境 ハエのチカラ, 人間のチカラ」 ①「嫌われ者を見直そう～ハエは地球の掃除職人」 倉橋弘氏 (国立感染症研究所客員教授) ②「生ごみは宝だ ごみを堆肥に, カエルプロジェクト」 調布ごみ市民会議
美術史講座 (全2回)	画家の目を通して見る美術史「藤田とFOUJITA 『造形する心』」 ①「知る」-鑑賞する前に(画像を見ながら)②「見る」-「藤田嗣治展-東と西を結ぶ絵画」を鑑賞(府中市美術館) 下向恵子氏 (画家, 美術教師)
コミュニテイ カレッジ (全2回)	「西谷修氏と考える ヨーロッパ・世界の分断, そして希望」 ①「アメリカ, ヨーロッパの変化をどう見るか」②「世界の中で, 日本はどこへ向かうのか」 西谷修氏 (立教大学特任教授)
防災・防犯講 座	「自分や家族が詐欺被害にあわないために」 ①消費者トラブルの事例紹介と対処方法 調布市消費者センター職員 ②詐欺事例と対処方法 調布市総合防災安全課職員
○高齢者対象	
歴史散歩	「大河荒川の魅力を探る歴史散歩」 葛西臨海公園大観覧車からの東京湾眺望～北区荒川知水資料館～見学船乗船 伊佐九三四郎氏 (旅作家)
シニア講座 (全5回)	「学ぶ門には福来る 地域で生きる豊かさを求めて」 ①「身体を整えてアクティブシニアをめざそう」 荒井有紀氏 (ストレッチサークル講師) ②「粋なシニアのためのカラー入門」 小林伸子氏 (カラーコーディネーター) ③「安心のために在宅医療について, 西田先生に聞こう」 西田伸一氏 (医師) ④「館外学習 もっと調布を知ろう “ここあ”と“カフェaona”」 市社会福祉協議会スタッフ, カフェaonaスタッフ ⑤「大切な人を喪うということ 新たな生き方を求めて」 半田たつ子氏 (響きの会代表)
シニア健康講 座 (全3回)	「転ばぬ先の杖 軽い筋トレとストレッチでロコモ予防」 ①「ストレッチと筋トレ①」②「ストレッチと筋トレ②」③「ストレッチと筋トレ③」 山川容子氏 (健康運動指導士)
○市民文化教室	
体験教室Ⅰ	「さわってみよう 初めてのスマートフォン体験講座」 ・スマートフォンの基本的な使い方を体験する NTTドコモ スマホ・ケータイ安全教室インストラクター
体験教室Ⅱ	「アレルギーのある子も楽しめるメニュー カエルのかわいい巻き寿司を作ってみませんか」 兵頭英理子氏 (家庭料理教室講師)
体験教室Ⅲ	「プロの職人さんから伝授 初夏の和菓子紫陽花のきんとんをつくってみよう」 小宮崇氏 (今木屋)
体験教室Ⅳ	「男の料理教室 夏だ!アウトドアでもできる本格チキンカレーを作ろう」 栗谷道代氏 (料理研究家)
体験教室Ⅴ (全3回)	「ウクレレ入門教室」 ①チューニング, 楽器の持ち方, 弦の押さえ方, 指の動かし方, コードの種類②コードフォーム, 運指, ストローク③曲の演奏 吉田健二氏 (ギタリスト)
体験教室Ⅵ	「プロの職人さんから伝授 春の和菓子 梅, うぐいす, 福寿草の練りきりを作ろう」 小宮崇氏 (今木屋)
体験教室Ⅶ	「男の料理教室 だしの取り方と魚のおろしかたを学ぼう」 三橋詩乃氏 (日本料理人)

事業名	内容及び講師
体験教室Ⅷ (全3回)	「帽子にもなるネックウォーマーとニットラリエットを編もう」 ①手編み実習②手編み実習③手編み実習 三上早苗氏 (手編み講師)
パソコン教室 (全3回)	「初心者パソコン活用～フォトムービーを作ろう」 ①「パソコン実習」②「パソコン実習」③「パソコン実習」 日東商会職員
世界の料理	「アメリカ人講師と作る ニューオーリンズの家庭料理」 シーフードガンボ ・コーンブレッドほか スチュアート・キャメロン氏 (料理講師)
○学級	
成人学級 「ゆかりの会」	①「今年度の学習内容の検討」 ②「もう一度学びたい、大人の社会科」 西牧たかね氏 (元社会科教師) ③「防災について学ぶ」館外学習 東京臨海広域防災公園の防災体験学習施設 ④「スケジュール打ち合わせ会」⑤「食の安全と健康」 市福祉健康部健康推進課職員 ⑥公開講座「ソーシャルワーカーと考えるよ 子どもの幸せとおとなの幸せ」 富永りか氏 (スクールソーシャルワーカー) ⑦今後についての話し合い⑧子育てと家族についての話し合い ⑨基本を学ぼう だしと魚のおろしかた 三橋詩乃氏 (日本料理人) 学習のまとめと記録作成
高齢者学級 「チャレンジクラブ未来」	①「お互いを知る」②「地域とつながる 電通大で飛行機づくり」 ③「地域とつながる 今後に向けて話し合い」 ④「自然と歴史を学ぶ」館外学習 町田薬師池公園 ⑤「調布のまちづくりについて学ぶ」 出前講座 調布市街づくり事業課職員 ⑥「平和について考える」話し合い ⑦「憲法について考える」 川上詩朗氏 (弁護士) ⑧「居宅サービス利用の介護と高齢期の住まいを考える」 ⑨「身体を動かそう～私の健康作り」 高梨美奈氏 (明治大学講師) ⑩「自然と歴史を学ぶ～横澤入と大悲願寺の散策」 ⑪「高齢者福祉についてゆうあい福祉公社から学ぶ」 調布ゆうあい福祉公社職員とボランティア ⑫公開講座「健康長寿のために知っておきたいホントの話」 梅津鋼氏 (特別養護老人ホーム施設長) ⑬「館外学習 新しい葬儀とお墓の話」 網代正孝氏 (延浄寺住職) ⑭「調布の子ども支援に関わって」 西牧たかね氏 (調布市社会福祉協議会ここあコーディネーター) ⑮「助けあい体験ゲームと運営についての話し合い」⑯館外学習「相模原市立博物館とJAXA見学」 ⑰「調布のボランティアについて学ぶ」 葛岡氏 倉重氏 (調布市社会福祉協議会) ⑱学習記録のまとめの話し合いと作業⑲来年度の活動についての話し合い
○国際理解	
国際理解講座 (全2回)	「今こそ知りたいアメリカという国～成り立ちとこれから」 ①「合衆国：エ・プルリプス・ウナム」公共を維持するダイナミズム～19世紀を中心に ②「非合衆国：自己実現・自己責任」・大量生産・大量消費、豊かさと個人の自由～トランプの偉大なアメリカ 金井光太郎氏 (東京外国語大学大学院総合国際学研究院教授)
○家庭教育	
家庭教育講座Ⅰ (全2回)	「わが子にお友達ができないかもしれないと心配な保護者のための講座」 ①「子どもの発達からみた友達ができるということ」 松尾直博氏 (東京学芸大学准教授) ②「いろいろな子どもたちに寄り添ってきて、今大人たちに伝えたいこと」 山中裕子氏 (カウンセリングステーションユウ)

事業名	内容及び講師
家庭教育講座Ⅱ (全2回)	「毎日の食事を考える 子どもに必要な栄養と頑張りすぎない手作りごはん」 ①「食べものから健康を考えよう～必要な栄養を知る」 調布市福祉健康部健康推進課職員 ②「基本のだしと調理実習」 栗谷道代氏(料理研究家)
子育てセミナー (全15回)	「仲間と出会い、子どもと自分を育てよう」 ①「自己紹介をしよう」②「市の子育て支援を知ろう」 市子ども政策課職員 ③「子どもの権利ってなに？」 梶原政子氏(元幼稚園園長) ④「日常の子育てを見直してみよう」 梶原政子氏(元幼稚園園長) ⑤「子どものいのちを守る」 武山ゆかり氏(医療ソーシャルワーカー) ⑥「支援の必要な子の親として」 進藤美左氏(たんぼぼの会代表) ⑦話し合い⑧「足元から考える環境」 調布ごみ市民会議員 ⑨「戦争のない平和な時代を」 山崎瑞江氏(たんぼぼ文庫) ⑩話し合い⑪「手作り絵本の魅力」 絵本と童話の会会員 ⑫「働くことで得たもの」 青山富美江氏(おたすけママ) ⑬「ハンドベル音楽でつながろう」 ハンドベルデュオ・ベリール ⑭「感想を持ち寄ろう」⑮「自主企画を楽しもう」
○青少年対象	
子ども体験教室Ⅰ	「じゃがいも堀りとじゃがいも料理体験」 ピクルスの会会員(西部公民館利用登録団体)
子ども体験教室Ⅱ	「クッキーにかわいいアイシングをしよう」 塚越奈月氏(アイシングクッキーアーティスト)
親子自然観察会	「夏休みの一日 親子で野鳥公園へ行こう」 東京都立東京港野鳥公園 公益社団法人日本野鳥の会レンジャー
子ども料理教室Ⅰ	「夏休み親子そば打ち体験」 深大寺そば打ち倶楽部会員(市職員)
子ども料理教室Ⅱ	「ふわふわ惣菜パンと春のデザートを作ろう」 ・ふわふわ惣菜パン・にんじんの春色ポタージュ・ぷるぷるいちごムース 栗谷道代氏(料理教室講師)
子ども科学教室	「ものようすが変わる～三態変化ってなに」 ①「いろいろなもので三態変化を調べてみよう」②「ものが三態変化するしくみ～金属はどうだろう」 ③「金属を溶かしてメダルをつくろう」 ④「ものが気体になると？」 平林浩氏(科学教室講師)
子どもと大人の天文学教室 (全2回)	「星の王子さまの天文レクチャー」 ①「宇宙を見る目 天体望遠鏡の歴史としくみ」②「宇宙をはかる 天体までの距離の求めかた」 縣秀彦氏(国立天文台准教授)
○展示会	
ロビー展	「水墨画サークル西雅会 ロビー展」 額装した水墨画19点の展示 出展：西雅会(西部公民館利用登録団体)
	「水彩画サークル美楽 ロビー展」 遠近法を意識した風景画等 18点の展示 出展：美楽(西部公民館利用登録団体)
	「漫画家斎藤邦雄の描く『戦後抑留生活』」 抑留体験を描いたかるたなど 64点の展示 協力：平和祈念展示資料館
○平和事業	
平和バス見学	「親子で考える平和～戦争中ひみつにされた研究所を見学しよう」※明治大学平和教育登戸研究所資料館見学 横山譲二氏

事業名	内容及び講師
平和フェスティバル	「暮しを大切にすることは、平和を守ること～雑誌『暮らしの手帖』に込めた戦後の思い」 安田常雄氏（神奈川大学特任教授） 飯吉真子氏（ヴァイオリニスト） 第五中学校ボランティア部
○コンサート	
コンサート	「新春ロビーコンサート マリンバの優しさに包まれて～箏と合唱のひとつとき」 箏友会（西部公民館登録団体） 女性合唱団コール・ヴォーチェ（西部公民館登録団体） 篠崎 陽子氏（マリンバ奏者） 大場章裕氏（打楽器奏者）
○共催事業	
ログ・キャビン体験教室	「ログ・キャビンパッチワーク体験教室」 ①「パッチワーク小物 タペストリー作り」②「パッチワーク小物 ミニポーチ作り」 パッチワークサークル ログ・キャビン（西部公民館利用登録団体）
ピクルスの会合同学習会	「便利なタレやふりかけを作ってみませんか」 焼肉のたれ・わりした・ふりかけ・こんにゃくを作る ピクルスの会（西部公民館利用登録団体）
英会話体験教室	「オリンピック・パラリンピックを目指して始めようやさしい英会話サークル体験」 やさしい英会話（西部公民館利用登録団体）
チャリティー映画会	「熊本地震復興支援 映画 『うつくしいひと』チャリティー上映会」 NPO法人調布シネマクラブ
武者小路実篤記念館共催「文学講座」	「今、武者小路実篤が問いかけてくるもの～新しき村を訪ねて」 ①「今、武者小路実篤が問いかけてくるもの」 伊藤陽子氏（武者小路実篤記念館学芸員） ②「新しき村見学」 福島さとみ氏（武者小路実篤記念館学芸員）
おやじの厨房体験教室	「初心者のための料理体験教室」 ・鯛のあら煮・ツナ入り卵の花煎り・すいとんの根菜汁 粟谷道代氏（料理サークル講師）

- ★ 今年の漢字 金
- ★ 流行語大賞 神ってる

平成29年度 主催事業

○講演会

特別講演会	「私たちは健康長寿を手に入れたのか戦後72年、いのちの未来を探ろう」※手話通訳つき講演会 ※たづくり映像シアター 星且二氏（首都大学東京名誉教授） 富永和音氏（リコーダー演奏）
-------	---

○市民講座

福祉講座	「パラリンピックに出場した秋元さんに聞いてみよう～ボッチャってどんなスポーツ？チャレンジして見えてきたこと」 秋元妙美氏（社会福祉士）
文学講座	「遠藤周作の『沈黙』のモデル、キアラ神父の墓碑を訪ねて」 コンプリ ガエタノ氏（サレジオ神学院神父）
歴史講座 (全3回)	「続・徳川家康が開いた江戸・東京の歴史探訪」 ①「江戸城・大奥、将軍たちの暮らし」②「江戸の町割り」と武士・庶民の暮らし」③「江戸と東京、歴史のつながりを知る」 小平恭士氏（元中学校教師）
健康講座 (全3回)	「子育て中の疲れを癒そう～ピラティスで身体メンテナンス」 ①「ピラティスって何？まずは自分の体を知る」②「身体と相談しながら動いてみよう」③「身体の変化を実感してみよう」 山路陽子氏（ピラティス講師）

事業名	内容及び講師
音楽講座 (全3回)	「作曲家の生涯から学ぶ人生論～望郷の想いを音楽に」 ①「ショパンの生涯と音楽にこめたポーランドの香り」②「リストの生涯と祖国ハンガリーへの想い」 ③「ドボルジャークの生涯とチェコへの想い」 小澤由佳氏（音楽学者，芸術学博士）
環境講座Ⅰ	「歩いて学ぶ河川の環境～関戸橋から多摩川を歩く」 宮内泰之氏（恵泉女学園大学准教授）
環境講座Ⅱ	「最新の研究を知る～ナッツの殻が地球温暖化を食い止める！？」 兼橋真二氏（東京農工大学大学院特任助教）
美術史講座 (全3回)	画家の目を通して見る美術史「見るも絵のうち～ゆっくりたっぷり熊谷守一作品」 ①「知る～鑑賞する前に画像を見ながら」②「見る～没後40年 熊谷守一生きるよるこび」鑑賞 ③「語る～それぞれの熊谷作品を語る」 下向恵子氏（画家，美術講師）
コミュニティ カレッジ (全3回)	「震災から7年，変わったこと変わらないこと～3人の視点で考える」 「明治150年，歴史のなかで捉え直す日本」 西谷修氏（立教大学特任教授） 「この大地，奪われし人々」 菊池和子氏（写真家） 「地球温暖化対策はどこまで来ているのか」 桃井貴子氏（NGO, NPO気候ネットワーク東京代表）
防災・防犯講座	「災害から身を守るために」 調布消防署職員
○高齢者対象	
歴史散歩	「江戸の名残りを歩く～『上野の西郷さん』から御茶ノ水へ」 伊佐九三四郎氏（旅作家）
シニア講座 (全5回)	「学ぶ門には福来る！地域で生きる豊かさを求めて」 ①「ヨガで身体を整えてアクティブシニアをめざそう」 正木千恵氏（ヨガ講師） ②「国宝白鳳仏と知っておきたい調布の歴史」 調布市郷土博物館学芸員 ③「館外学習 心の居場所，クッキングハウスを訪ねて」 松浦幸子氏（クッキングハウス代表） ④「104歳まで生きた詩人，まどみちおの詩が語りかけるもの」 宮尾節子氏（詩人） ⑤「学習のまとめ シニアの気持ちかたるたを作ろう」
シニア健康講座 (全3回)	「伸ばそう健康寿命！～動いて笑ってツボ押して」 ①「体と相談しながら動いてみよう」②「心と体の健康を意識してみよう」③「自宅でも継続するために」 山川容子氏（健康運動指導士，鍼灸師）
○市民文化教室	
体験教室Ⅰ	「初めてのタブレット体験講座」 スマホ・ケータイ安全教室KDDI認定講師
体験教室Ⅱ	「春のコーラス体験“歌うって気持ちいい”を一緒に」 ①「声を出して横隔膜を動かしてみよう」②曲にチャレンジ，歌ってみよう③みんなと私，声を合わせて歌ってみよう 岡田彩子氏（声楽家）
体験教室Ⅲ	「短歌スケッチ体験 ころろを描く」 三原由起子氏（歌人）
体験教室Ⅳ (全2回)	「初心者のためのアイシングクッキー教室」 ①「生地からのクッキーづくり」②「アイシングの基礎とデコレーション実習」 塚越菜月氏（アイシングクッキーアーティスト）
体験教室Ⅴ	「秋の和菓子を作ろう」 小宮崇氏（今木屋）

事業名	内容及び講師
体験教室Ⅵ	「夏の疲れを取るためにヨガ体験してみませんか」 正木千恵氏（ヨガ講師）
体験教室Ⅶ	「健康歌声サロン 楽しく歌って健康づくり」 ・季節のうた・脳トレ・うた体操 廣瀬めぐみ氏（うたごえ伴奏ピアニスト，音楽療法士）
体験教室Ⅷ	「新春健康歌声サロン」 ・季節のうた・脳トレ・うた体操 廣瀬めぐみ氏（うたごえ伴奏ピアニスト，音楽療法士）
調理合同学習会	ピクルスの会合同学習会「便利なタレやふりかけを作ってみませんか」 焼肉のたれ・わりした・ふりかけ・こんにやくを作る ピクルスの会（西部公民館利用登録団体）
男の料理教室	「“おやじの厨房”サークルおすすめのメニューを一緒に作りましょう」 栗谷道代氏（料理研究家）
世界の料理教室	「作ってみよう ベトナム料理」 ディン・ティ・ゴック・マイ氏（ベトナム料理研究家）
○学級	
成人学級 「ココラク」	①活動内容とスケジュール確認，担当決め②調理実習「作りおきおかず」③前回の振り返りの話し合い ④「もう一度学びたいおとなの社会科」 西牧たかね氏（ここあ学習支援コーディネーター） ⑤前回の振り返りの話し合い ⑥公開講座「子どもの発達について」 子ども発達センター言語聴覚士 ⑦今後の活動についての話し合い ⑧ピーズ手芸にチャレンジ 品川亜希氏（ココラク会員） ⑨前回の講座の振り返りと次回に向けての話し合い ⑩「おとなの社会科（第2回）」 西牧たかね氏（ここあ学習支援コーディネーター） ⑪前回の振り返りの話し合い ⑫「食を通じた心と身体の健康作り」 調布市健康推進課職員 ⑬「東京都移動講座 食品添加物」 澤木佐重子氏（派遣啓発員） ⑭前回の振り返りと今後の確認⑮館外学習「いわさきちひろ美術館」 ⑯「ひな祭りのお料理を学ぼう」 三橋詩乃氏（日本料理人） ⑰学習記録作成についての話し合い⑱次年度に向けての話し合い
高齢者学級 「チャレンジクラブ未来」	①自然保護について学ぶ館外学習 三浦市三崎町小網代の森自然ボランティアガイド ②中央図書館バックヤードツアー～図書館を知ろう③「図書館の利用と私の一冊，ミニ朗読会」 ④「児童虐待について」 園武友氏（チャレンジクラブ未来会員） ⑤児童虐待から子どもの現状を考える話し合い ⑥「被爆の実相を語り継ぐ」 調布市文化振興課出前講座 ⑦「今から始める介護予防」 調布市高齢福祉担当出前講座 ⑧「食の安全・有害化学物質について考える」 荒木千恵子氏（チャレンジクラブ未来会員） ⑨「昔の道具で思い出語り」 調布市郷土博物館学芸員 ⑩「続，食の安全・有害化学物質について考える」 荒木千恵子氏（チャレンジクラブ未来会員） ⑪「リニアモーター列車試乗報告」 中野一郎氏（チャレンジクラブ未来会員） ⑫「館外学習 鎌倉湖周辺散策」 荒天のため中止 ⑬「館外学習 三鷹天文台」 縣秀彦氏（国立天文台准教授） ⑭「身近な神社仏閣，史跡を訪ねて歴史を学ぶ」 北村直樹氏（チャレンジクラブ未来会員） ⑮公開講座「暮らしに生かしたい健康長寿のための習慣とは」 西田伸一氏（医師）

事業名	内容及び講師
	⑯「パラリンピック競技のボッチャを体験しよう」 秋元妙美氏（ロンドンパラリンピック日本代表） ⑰活動のまとめと学習記録のための話し合い⑱次年度の活動計画の検討
○国際理解	
国際理解講座 (全2回)	「笑顔と安らぎの国ラオス～その歴史と魅力」 ①「百万頭の象の国からラオス人民民主共和国へ」②「社会主義ブロックからアセアンへ」 菊池陽子氏（東京外国語大学大学院准教授）
○家庭教育	
家庭教育講座 I	「子どもの“やる気スイッチ”ってなんだろう」 ・「子どもの発達から見た“やる気スイッチ”とは」 松尾直博氏（学芸大学准教授） ・「おとなにもやる気が出なくて苦しい時がある、そんな時はどうしたらいいの？」 富永りか氏（スクールソーシャルワーカー）
家庭教育講座 II (全2回)	「知っておきたい児童期の子どもの心～どう接しどう見守る？」 ①「小学生の心の変化～友達、勉強、親との関係」 宮下孝広氏（白百合女子大学教授） ②「心も体も伸び伸び育てる～ツボ押しやマッサージを学ぼう」 山川容子氏（鍼灸師、健康運動指導士）
子育てセミナー	「仲間と出会い、子どもと自分を育てよう」 ①「まずはお互いに知り合おう」②「市の子育て支援を知ろう」 調布市子ども政策課職員 ③「子どもの権利ってなに？」 梶原政子氏（元幼稚園園長） ④「日常の子育てを見つめ直そう」 梶原政子氏（元幼稚園園長） ⑤「子どもの命にかかわって」 武山ゆかり氏（医療ソーシャルワーカー） ⑥「支援の必要な子の親として」 進藤美左氏（たんぼぼの会代表） ⑦「これまでの話から自分を振り返る」 ⑧「戦争のない平和な時代を」 山崎瑞江氏（たんぼぼ文庫） ⑨「子育て中の私にとっての自由」 ⑩「手作り絵本の魅力」 塩山さおり氏（絵本講師） ⑪「働くということ」 青山富美江氏（おたすけママ代表） ⑫「子どもの学習支援に関わって」 西牧たかね氏（ここあ学習支援コーディネーター） ⑬「ハンドベル音楽でつながろう」 ハンドベルデュオ ベリーラブ（演奏者） ⑭「感想文を持ち寄ろう」⑮まとめの話し合い
○青少年対象	
子ども料理教室 I	「夏休み親子そば打ち体験」 深大寺そば打ち倶楽部会員
子ども料理教室 II	「ブルーベリー摘みとふわふわパンケーキづくり」 栗谷道代氏（料理サークル講師）
子ども料理教室 III	「春の巻きずしと和菓子を作ろう」 栗谷道代氏（料理研究家）
子ども体験教室 I	「みんなで歌ってダンスもしちゃおうコンサート」 島田道生氏（歌手）ほか2人
子ども体験教室 II	「ペットボトルアートにチャレンジ」 金原京子（造形作家）
親子自然観察会	「夏休み親子自然観察会～親子で横浜自然観察の森へ行こう」 公益財団法人日本野鳥の会レンジャー
子ども科学実験	特別支援学級の子どもたち集まろう～科学じっけん「もくもく ドライアイスであそぼう」 小沢洋一氏（科学実験講師）

事業名	内容及び講師
子ども科学教室（全4回）	「宇宙への道～太陽系の宇宙」 ①「1千万分の1の地球ってどのくらいかな」②「月と太陽の大きさを地球とくらべてみよう」 ③「太陽の周りをまわる星たちの姿や大きさは？」④「太陽の周りをまわる星の模型作り」 平林浩氏（科学教室講師）
子どもと大人の天文学教室（全2回）	「星の王子様の天文レクチャー」 ①「太陽系の旅に出よう」②「宇宙生命の誕生を探ろう」 縣秀彦氏（国立天文台准教授）
○展示会	
ロビー展	「漫画家斎藤邦雄の描く『戦後抑留生活』」 抑留体験を描いたかるたなど 64点の展示 協力：平和祈念展示資料館
	「水墨画サークル西雅会 ロビー展」 額装した水墨画20点の展示 出展：西雅会（西部公民館利用登録団体）
	「江戸かるたと上方かるた」 かるた2点の展示 出展：小倉百人一首を楽しむ会（西部公民館利用登録団体）
	「ペットボトルアートが織りなすアートな世界～金原京子真冬のロビー展」 ペットボトルを材料にしたオブジェなど30点の展示 出展：金原京子氏（造形作家、画家）
	「水彩画サークル美楽 ロビー展」 水彩画11点の展示 出展：美楽（西部公民館利用登録団体）
○平和事業	
平和フェスティバル	「少女時代の日記をもとに、今伝えたい平和への願い」 半田たつ子氏（「思い出の日々に向き合う」著者） 「平和ミニコンサート」 飯吉真子氏（ヴァイオリニスト）ほか5人 「舞踊とハンドケア」 調布市立第五中学校ボランティア部
平和バス見学会	「親子で学ぶ平和～埼玉ピースミュージアムと吉見百穴を見学しよう」
○コンサート	
コンサート	解説つきロビーコンサート「たまには真面目にクラシック～ヴァイオリンの魅力」 解説：小澤由佳氏（音楽学者、芸術学博士） 演奏：柁島 大樹氏（ヴァイオリニスト） 銅銀 りら氏（ピアニスト）
コンサート	「江口有香 ニューージーランドからふるさと調布へ音楽の架け橋」※たづくり12階大会議場 江口有香氏（ヴァイオリニスト） 田島華乃氏（ヴァイオリニスト）
○団体育成	
サークル体験	パッチワークサークル ログ・キャビン体験教室 「クリスマスカラーのリースを作ろう」

★ 今年の漢字 北

★ 流行語大賞 インスタ映え、村度

平成30年度 主催事業

○青少年教育

子ども体験教室Ⅰ	「じゃがいも料理とじゃがいも掘り体験」 ピクルスの会会員（西部公民館登録団体）
親子自然観察会	「夏休みの一日、親子で野鳥公園へ行こう」 東京港野鳥公園レンジャー
子ども料理教室Ⅰ	「夏休み親子そば打ち体験」 深大寺そば打ち倶楽部会員

事業名	内容及び講師
子ども体験教室Ⅱ	「身近な材料で作ろう～エアークロケットと虹の万華鏡」 調布少年少女発明クラブ指導員
子ども体験教室Ⅲ	「車型ロボットを動かす プログラミング体験教室」 アドバンスデザインテクノロジー株式会社社員
子ども科学教室 (全4回)	「電磁波の探検」 ①ピピポケベルを使って、電磁波はどんな所にどんな時に出るのか探検しよう②電磁波ってなに？電磁波の性質を知ろう ③電子レンジはどんなものをあたためるのだろう～電子レンジと電磁波 ④電子レンジに金属を入れたら？電子レンジでポップコーンを作って食べよう 平林浩氏（科学教室講師）
子どもと大人の天文学教室 (全2回)	「星の王子さまの天文レクチャー」 ①膨張する不思議な宇宙②138億光年宇宙の旅 縣秀彦氏（国立天文台准教授）
○成人教育	
特別講演会	「誰もが幸せになれる未来を『下流老人』著者、藤田孝典さんと考えよう」※たづくり映像シアター 藤田孝典氏（聖学院大学客員准教授） 田中拓実氏（ギター演奏）
歴史講座 (全3回)	「江戸の生活を垣間見る～お江戸の面白もやま嘶」 ①多岐にわたるテーマでの江戸の面白もやま嘶Ⅰ②多岐にわたるテーマでの江戸の面白もやま嘶Ⅱ ③多岐にわたるテーマでの江戸の面白もやま嘶Ⅲ 小平恭士氏（元中学校社会科教師）
健康講座 (全3回)	「簡単ステップでカラダ引き締め」 ①気分爽快！シェイプアップ体操 ②ちょっとキツめの脂肪燃焼運動 ③FUN!FUN!エクササイズを楽しもう 山路陽子氏（健康運動実践指導者）
文学講座	「『遠野物語』の魅力～柳田国男は何を残したかったのか」 小田富英氏（柳田国男全集編集者）
福祉講座	「新しいパートナー盲導犬もみじとの毎日」 愛沢法子氏（調布市視覚障害者福祉協会会長）
音楽講座 (全3回)	「クラシック入門 バロック音楽の魅力～バッハとヴィヴァルディを中心に」 ①「バロック時代とはどんな時代？～ヴィヴァルディの四季を聴きながら」②「バッハの生涯とその魅力～バッハは神か人間か」③「同年生まれの二人の偉人、ヘンデルとバッハ～ヘンデルならではの魅力とは？「ハレルヤをたとえに」 小澤由佳氏（日本大学芸術学部講師） 演奏：神澤子氏（フルート奏者） 神瞳子氏（ピアニスト）
防災講座Ⅰ	「立川防災館に行って楽しみながら防災体験をしよう！」 立川防災館
防災講座Ⅱ	「防災についてちょっと考えてみませんか」 西部児童館遊戯室 境田誠氏（防災アドバイザー）（西部公民館利用団体連絡会・西部公民館共催）
コミュニケ カレッジ (全2回)	「平成から未来へ～希望を探る2人の視点」 ①「グローバル世界はどこに向かうのか」 中山智香子氏（東京外国語大学総合国際学研究院教授） ②「分断の先に未来はあるか」 西谷修氏（東京外国語大学名誉教授、立教大学特任教授）
美術史講座 (全3回)	画家の目を通して見る美術史「躍動する江戸絵画」 ①「知る」－鑑賞する前に画像を見ながら②「見る」－東京都美術館「奇想の系譜展～江戸絵画ミラクルワールド」鑑賞（館外学習）③「語る」－印象に残った作品をそれぞれの言葉で 下向恵子氏（画家、美術講師）

事業名	内容及び講師
環境講座 (全2回)	「正しく知ろう～気候変動と地球温暖化」 ①「地球温暖化の現在と未来～世界の動きと私たちの対策」平川良信氏（環境省地球温暖化防止エキスパート コミュニケーター） ②映画鑑賞と話し合い
体験教室Ⅰ	健康歌声サロン 廣瀬めぐみ氏（うたごえ伴奏ピアニスト，音楽療法士）
体験教室Ⅱ	「春の和菓子～桜，水鳥，青楓を作ろう」 小宮崇氏（今木屋）
体験教室Ⅲ (全4回)	「春から始める茶道」 ①茶の湯の歴史②点前の基礎③客の作法④茶の湯の道具 林田宗叡氏，杉山宗典氏，河村宗韻氏（茶道講師）
体験教室Ⅳ	「コール・ルピナスと一緒に歌いませんか」 岡田彩子氏（声楽家）
体験教室Ⅴ	「夏の窓辺に似合うハーバリウムを作ってみませんか」 岡田咲香氏（クラフト講師）
体験教室Ⅵ	「インテリアになる 和モダンなお正月かざりを作ろう」 小林あずさ氏（フラワーデザイン講師）
体験教室Ⅶ	「はじめての朗読～名作を声に出してみよう」せんがわ劇場・西部公民館共催 末永明彦氏（せんがわ劇場 演劇・市民参加・地域連携コーディネーター）
体験教室Ⅷ	キング・オブ・スポーツ「近代五種競技を知ろう」 黒須成美氏（近代五種競技 元日本代表）
世界の料理教室	「南米パラグアイ料理に挑戦」 斉藤ナンシー氏（パラグアイ出身）
料理教室	「おうちにあるサバ缶を，ちょっと自慢したくなるメニューに変身させよう」 粟谷道代氏（料理研究家）
成人学級 「ココラク」	①「子どもと読書」 調布市立図書館出前講座 ②・今年度の学習内容の検討 ・公開講座に向けての準備 ③公開講座「選挙って大事な？私たち子育て世代が考えたいこと」 西牧たかね氏（元社会科教師） ④チャレンジクラブ未来との合同学習「平和について語ろう」 学童疎開と東京大空襲の体験談を聞き，話し 合い ⑤「ネットトラブルについて知ろう」 調布市文化生涯学習課出前講座 ⑥今後の活動について話し合い⑦調理実習「中華まんじゅうと中華おこわ」 ⑧「ハザードマップを見ながら防災について話し合い」 ⑨館外学習「いわさきちひろ美術館へ行こう」※ちひろ美術館・東京 ⑩今後の活動について話し合い ⑪出前講座「スクールソーシャルワーカーに聞く子どもの話」 富永りか氏（スクールソーシャルワーカー） ⑫活動のまとめと来年度の計画づくり
成人学級 「シャインマ ム」	①今年度の活動について話し合い②「子どもと読書」 調布市立図書館出前講座 ③クラフト「安全で体に優しい虫よけを作ろう」 ④館外学習「南極・北極科学館」「サントリー武蔵野ビール工場」 ⑤今後の活動について話し合い⑥「低糖質メニューの料理を作ろう」 ⑦「書を学ぶ」 齋藤 恵彩氏（書道講師） ⑧公開講座「幼稚園や学校とのコミュニケーションを上手にとるコツってあるの？」 西牧たかね氏（調布市子ども・若者総合支援事業（ここあ）学習支援コーディネーター） 進藤美左氏（発達障害支援者）

事業名	内容及び講師
	⑨調理実習「和を楽しむ」 シャインمام会員 ⑩クラフト「ハーバリウムを作ろう」 岡田咲香氏（クラフト講師） ⑪学習記録作成に向けての話し合い
○高齢者教育	
歴史散歩	「日本の地質学発祥の地 長瀨を訪ねて」 伊佐九三四郎氏（旅作家）
シニア健康講座 （全2回）	「シニアのための秋バテ解消講座～摂りたい栄養とカラダの養生」 ①「食生活も衣替え～カラダをいたわる食事を学ぼう」 調布市健康推進課職員 ②「秋から冬への養生のツボと簡単体操を学ぼう」 山川容子氏（健康運動指導士、針灸師）
シニア講座 （全4回）	「学ぶ門には福来る！地域で生きる豊かさを求めて」 「楽しく健康づくり～はじめてのディスカターゲット」 調布市スポーツ振興課職員 「エンディングノートだけに頼らない、備えとしての遺言と成年後見」 宍戸孝至氏（NPO法人あんしんサポート代表） 「水木しげるさんのお墓のある覚證寺で、子ども食堂について知ろう」 細川真彦氏（覚證寺住職） 「シニアだからこそ読みたい、人生を語る絵本の世界」 山花郁子氏（絵本研究家）
高齢者学級 「チャレンジ クラブ未来」	①館外学習「都立多摩図書館見学」②グループワーク「私が望むこんな町、調布」 ③「国立歴史民俗博物館の見どころを学ぶ」 安田常雄氏（元歴史民俗博物館副館長） ④館外学習「国立歴史民俗博物館見学」⑤ココラクとの合同学習「平和について語ろう」 ⑥「ひだまりサロンを知ろう」 宍戸美穂氏（社会福祉協議会）ほか8人 ⑦公開講座「地球温暖化について知ろう、考えよう」 桃井貴子氏（気候ネットワーク東京事務所代表） ⑧「人生100年時代の『体の自立』を目指して」 春山文子氏（実践女子大名誉教授） ⑨文化祭準備と今後の活動の話し合い ⑩館外学習「武者小路実篤について知ろう」 武者小路実篤記念館学芸員 ⑪「日本のお城の特徴と見どころ」 調布市西部公民館職員 ⑫館外学習「深大寺探訪と国宝仏拝顔」 深大寺ボランティアガイド ⑬「音楽療法～懐かしい歌でアンチエイジング」 原真理子氏（音楽療法士） ⑭「AI, IOT, 5G通信時代について」 チャレンジクラブ未来会員 ⑮臨時総会「今年度の振り返りと次年度計画について」⑯話し合い「次年度の計画について」
○家庭教育	
家庭教育講座 Ⅰ	「子どものおこづかいどうしていますか～電子マネーやスマホ時代のお金教育」 岡本舞氏（キッズマネーステーション認定講師）
家庭教育講座 Ⅱ	「子どもの心の発達を知りかかわり方を考えよう～しなやかで折れない心を育む～」 渡辺弥生氏（法政大学教授）
家庭教育講座 Ⅲ （全2回）	「発達が気になる子どもとのつきあい方を山中裕子さんに聞いてみよう」 ①ちょっと気になる子どもの行動を考えよう ②こんな時どうしたらいいの？を考えてみよう 山中裕子氏（カウンセラー）
子育てセミナー （全15回）	「仲間と出会い、子どもと自分を育てよう」 ①まずはお互いに知り合おう②市の子育て支援を知ろう 調布市子ども政策課職員 ③子どもの権利ってなに？ 梶原政子氏（元幼稚園長） ④日常の子育てを見つめ直そう 梶原政子氏（元幼稚園長） ⑤子どもの命に関わって 武山ゆかり氏（医療ソーシャルワーカー） ⑥支援の必要な子の親として 進藤美左氏（たんぼぼの会代表） ⑦話し合い⑧戦争のない平和な時代を 山崎瑞江氏（たんぼぼ文庫代表） ⑨話し合い⑩手作り絵本を楽しもう 塩山さおり氏（絵本講師）

事業名	内容及び講師
	⑪働くということ 青山富美江氏（おたすけママ代表） ⑫子どもの学習支援に関わって 西牧たかね氏（調布市子ども・若者総合支援事業（ここあ）学習支援コーディネーター） ⑬ハンドベル音楽でつながろう ハンドベルデュオ・ペリーラブ（演奏者） ⑭感想文を持ち寄ろう⑮自主企画を楽しもう
○国際理解	
国際理解講座 （全2回）	「北欧最大の国、スウェーデンを知ろう」 ①「スウェーデンはどんな国？～風土、文化、人々の暮らし」②「日本との友好150年～交流の歴史」 児玉千晶氏（翻訳家、東京外国語大学オープンアカデミー講師）
○展示会	
ロビー展	「墨絵で描く心の風景」 水墨画20点の展示 出展：西雅会（西部公民館利用登録団体） 「絵手紙サークル『彩の会』作品展」 絵手紙120点の展示 協力：絵手紙サークル「彩の会」 「子どもたちからの人権メッセージ」発表者作文展 作文、書籍、パネルなど50点の展示 協力：多摩東人権啓発活動地域ネットワーク協議会、都人権啓発センター 「目で愉しむ、江戸かるた上方かるた、そして人一首」 かるた130枚の展示 協力：小倉百人一首を楽しむ会 『今日の日はさようなら』の歌碑紹介展示 パネル13点の展示 協力：今日の日はさようなら歌碑建立委員会
○コンサート	
コンサート	解説つきロビーコンサート「たまには真面目にクラシック～クラリネットの歴史と魅力～」 解説：小澤由佳氏（音楽学者、芸術学博士） 演奏：明妻若菜氏（クラリネット奏者） 藤巻舞氏（ピアニスト） 「時代を超えて、もっと自由に人間らしく 安達元彦ピアノ弾き語りコンサート」 演奏：安達元彦氏（ピアノ、歌） 秋山ちづる氏（ピアノ、歌）
平和事業	
平和フェスティバル	「小さな語り場・紅茶の時間から大きな願いを込めて」 ・講演：水野スウ氏（「紅茶の時間」主催者） ・舞踊：調布市立第五中学校ボランティアダンス部 ・演奏：飯吉真子氏ほか5人
平和バス見学会	「親子で学ぶ平和～東京空襲や戦中の暮らしを知ろう」 東京都慰霊堂、復興記念館、昭和館を見学
○団体育成	
サークル体験教室	「墨の香りを感じながら、草花や風景をはがきに描く」 西雅会会員
サークル体験教室 （全3回）	「ウクレレ体験教室～ウクレレ体験してみませんか」 ノアレア会員
サークル体験教室 （全2回）	「秋から始める茶道～体験してみませんか」 蒼天会会員
サークル体験教室	クラフトサークルfun体験教室「世界にひとつだけのマイリースを作ろう」 岡田咲香氏（クラフト講師）
サークル体験教室 （全3回）	小倉百人一首を楽しむ会 公開学習会「小倉百人一首の世界～歌と歌人を知り愉しむ」 ①「歌と歌人の解説」②「歌と歌人の解説」③「歌と歌人の解説」とかるた取り体験 稲留昌利氏（小倉百人一首を楽しむ会会員）

事業名	内容及び講師
サークル体験教室 (全2回)	手編みサークルRAM 体験教室 「あったかスヌードを編もう」 ①手編み実習②手編み実習 三上早苗氏 (手編みサークルRAM講師)

- * 今年の漢字 災
- * 流行語大賞 そだねー

令和元(平成31)年度 主催事業

○青少年教育

子ども体験教室Ⅰ	「車型ロボットを動かす プログラミング体験教室」 プログラミング教室ぽてつくスタッフ
子ども体験教室Ⅱ (全3回)	「英語っておもしろい～夏休み英語体験～」 ①写真やカードを使って、声を出してみよう②Whatを使ってみよう③「英語で会話してみよう」 藏本瞳氏 (英語講師)
子ども体験教室Ⅲ	「クリニカルアートを体験～色の冒険をして自分だけのアート作品を作ろう」 神山貴子氏 (クリニカルアーティスト、舞台芸術家)
子ども体験教室Ⅳ	「かがくじっけんでモクモクしちゃおう」 ※新型コロナウイルス対策のため中止 小沢洋一氏 (仮説実験授業研究会会員)
親子自然観察会	「夏休み親子自然観察会」 自然を守るマナーを学びつつ、丹沢の雄大な自然を体感する観察会
子ども料理教室Ⅰ	「旬のじゃがいも料理と収穫体験をしよう」 ピクルスの会会員 (西部公民館登録団体)
子ども料理教室Ⅱ	「夏休み親子そば打ち体験」 深大寺そば打ち倶楽部会員 (調布市職員共済会)
子ども科学教室	「音ってなんだ？音を調べて実験してみよう」 ①音が出るしくみを調べよう②音が聞こえるのは？③音の出方や伝わり方～おもちゃ『ギーギーゼミ』を作ろう ④聞こえる音、聞こえない音 平林浩氏 (仮説実験授業研究会会員)
子どもと大人の天文学教室 (全2回)	「星の王子さまの天文レクチャー」 ①はやぶさ2の不思議な冒険②見えないはずの姿をついに捉えた、ブラックホール 縣秀彦氏 (国立天文台准教授)

○成人教育

特別講演会	「『駅ピアノ』『世界ふれあい街歩き』の映像ディレクターが語る異文化との出会い」 ※新型コロナウイルス対策のため中止 尾崎竜二氏 (映像ディレクター) ハンドベルデュオ・ベリーラブ
歴史講座 (全3回)	「近代日本200年～激動のポイントを訪ねる歴史の旅」 ①近代日本の夜明けと世界の動向②明治から大正、日本の何が変わったのか③昭和の激動をふり返る 小平恭士氏 (元中学校社会科教師)
健康講座 (全3回)	「簡単バレエストレッチで体幹を鍛えよう」 ①正しい姿勢と呼吸を意識しよう②骨の並びを感じてみよう③体幹を鍛えて美しい姿勢に 山口晴子氏 (ダンスインストラクター)
福祉講座	「心を落ち着かせる瞑想マインドフルネスとコミュニケーションワーク」 松浦幸子氏 (NPO法人クッキングハウス会代表)

事業名	内容及び講師
文学講座	「昭和、そして平成の編集者に聞く『一冊の本ができるまでの物語』」 藤田三男氏（編集者）
音楽講座 （全3回）	クラシック入門「19世紀サロンで生まれる音楽～パリ・ウィーンを中心に」 ①ウィーンのサロンで大活躍～シューベルトの音楽②パリのサロンの申し子～ショパンの音楽 ③サロンのアイドルからホールスターへ～リストの音楽 ※生演奏あり 小澤由佳氏（音楽学者、日本大学講師） ③演奏：押見友花氏（ソプラノ歌手） 原久美子氏（ピアノ奏者）
コミュニケー カレッジ （全3回）	想像力という翼で、閉塞の時代を超える～3人の視点 「日本の社会とメディア状況をどう見るか」 西谷修氏（立教大学特任教授） 「戦時下の大衆文化『国策紙芝居』を通して」 安田常雄氏（国立歴史民俗博物館名誉教授） 「いのちの大切さを伝える～犯罪被害者の立場から」 鈴木共子氏（NPO法人いのちのミュージアム代表理事）
防災講座	「本所防災館に行ってみよう！楽しみながら防災体験をしよう！」 本所防災館
環境講座	「地球温暖化と私たちの未来～脱炭素社会へ向けて今できること」 江守正多氏（国立環境研究所地球環境研究センター副センター長）
美術史講座 （全3回）	「画家の目を通して見る美術史『静かな絵画』」 ※新型コロナウイルス対策のため③中止 ①「知る」鑑賞する前に（画像を見ながら）②「見る」東京都美術館「ハマスホイとデンマーク絵画」鑑賞 ③「語る」印象に残った作品を言葉で語ろう 下向恵子氏（画家、美術講師）
体験教室Ⅰ	「初夏の和菓子 あじさいと青楓をつくろう」 小宮崇氏（今木屋）
体験教室Ⅱ	「ゆかたで夏を楽しもう 子どもとおとなのカジュアル着付け教室」 山田みき氏（着付け講師）
体験教室Ⅲ （全2回）	「我が家の味でお正月～簡単でも見栄えする手づくりおせち」 ①ワンプレート盛り合わせおせち②一点豪華手間なしおせち 栗谷道代氏（料理研究家）
体験教室Ⅳ	「手話であいさつしてみませんか」 調布市社会福祉協議会出前講座
体験教室Ⅴ	「パラスポーツを知ろう『車いすバスケットボールお話しと体験会』」 ※新型コロナウイルス対策のため中止 三宅克己氏（パラリンピック元日本代表選手）
世界の料理教 室	「身体の中から温まる 韓国料理に挑戦」 康聖華氏（韓国食材店店主）
料理教室	「初めてでもできる簡単パン作り」 ※新型コロナウイルス対策のため中止 栗谷道代氏（料理研究家）
成人学級 「ココラク」	①「子どもをインターネットのトラブルから守るために」 金藤博子氏（都消費者啓発員） ②今後の活動についての話し合い ③公開講座「子どもたちの未来は大丈夫？今、環境について考えよう」 桃井貴子氏（NGO、NPO法人気候ネットワーク東京事務所代表） ④前回の公開講座の振り返り ⑤高齢者学級チャレンジクラブ未来との合同学習「子どもの育ちについて～児童虐待を考える」 チャレンジクラブ未来会員による講義と話し合い ⑥前回の振り返りと今後についての相談⑦調理実習「小籠包を作ろう」 ⑧館外学習「JAXA相模原で宇宙のことを学ぼう」

事業名	内容及び講師
	⑨「大人の社会科」 西牧たかね氏（調布市子ども・若者総合支援事業(ここあ)学習支援コーディネーター） ⑩「油を考える」 金藤博子氏（東京都消費者啓発員） ⑪今後の活動についての話し合い⑫次回の料理教室についての打ち合わせ ⑬簡単パン作りを楽しもう」 粟谷道代氏（料理研究家） ⑭学習記録作成 ⑮今後の活動についての話し合い ※新型コロナウイルス対策のため中止 ⑯今後の活動についての話し合い ※新型コロナウイルス対策のため中止
成人学級 「シャインマム」	①年間スケジュールの打ち合わせ ②「ハーバリウムのボールペン作り」 岡田咲香氏（クラフト講師） ③「読書の楽しさを伝えたい 子どもと読書」 調布市立図書館出前講座 ④館外学習「親子で行こう リスーピアと水の科学館」江東区有明リスーピアパナソニックセンター，都立水の科学館 ⑤「子育て，子どもの発達についてカウンセラーに聞いてみよう」 山中裕子氏（カウンセラー） ⑥調理実習「プロに習うお菓子作り」 小澤恵子氏（料理講師） ⑦「茶道体験をしよう」 調布市西部公民館職員 ⑧「簡単パン作り」 粟谷道代氏（料理研究家） ⑨「選挙について知ろう」 調布市選挙管理委員会出前講座 ⑩家庭教育講座に参加 ⑪学習記録作成 ※新型コロナウイルス対策のため中止
○高齢者教育	
シニア健康講座 （全3回）	「動いて脳トレ，踊って脳トレ～楽しく体を動かそう」 ①脳が喜ぶ動きをしよう②五感を使って歌おう，踊ろう③脳のアップデートで心も体もさらにイキイキ 山川容子氏（健康運動指導士）
シニア講座 （全4回）	学ぶ門には福来る！地域で生きる豊かさを求めて ①「身体を動かして心を軽くしよう」 加藤あい氏（体操講師） ②「90歳，人生を支えてくれた言葉の力」 半田たつ子氏（雑誌「We」元編集長） ③「小さな旅のすすめ～街角を曲がれば，旅」 伊佐九三四郎氏（旅作家） ④「地域の居場所『しばさき彩ステーション』に行ってみよう」 大木智恵子氏（しばさき彩ステーション代表）
歴史散歩	「あきる野の紅葉と五日市憲法発祥の地を訪ねる歴史散歩」 鈴木富雄氏（郷土史家）
高齢者学級 「チャレンジ クラブ未来」	①館外学習「石垣山一夜城と山中城見学」 西部公民館職員 ②共催講座「海に漂う見えないゴミ マイクロプラスチックを知っていますか」 高田秀重氏（東京農工大学教授）共催／ちょうふ環境市民会議 ③「マイクロプラスチックによる環境汚染と対策」 会員による講義と話し合い ④「児童虐待問題を考える」 会員による講義と話し合い ⑤「家庭科」という科目について～調理と食会～会員の指導による調理実習 ⑥成人学級ココラクとの合同学習「子どもの育ちについて～児童虐待を考える」 ⑦会員による講義と話し合い ⑧「うたごえ広場で健康づくり」 原真理子氏（音楽療法士） ⑨「文章の書き方を編集者に学ぼう」 藤田三男氏（編集者） ⑩「シニア世代の抱える諸問題について」 宍戸孝至氏（NPO法人あんしんシニアサポート代表） ⑪館外活動「多摩川のプラごみを拾って清掃しよう」 ⑫「社会教育との出会い」「男女平等と私の歩み」会員による講義と話し合い ⑬「ウォーキングエクササイズを確認してみよう」 春山文子氏（実践女子大学名誉教授） ⑭「新年の調布神社仏閣めぐり」（館外学習） ⑮「私の考えと生き方」会員による講義と話し合い

事業名	内容及び講師
	<p>⑯「マジックにチャレンジしよう」 岳野勝治氏（調布市奇術連盟会長）</p> <p>⑯「調布市の国際交流について」 調布市文化生涯学習課出前講座</p> <p>⑰学習記録作成 ※新型コロナウイルス対策のため中止</p> <p>⑱次年度の活動についての話し合い ※新型コロナウイルス対策のため中止</p>
○家庭教育	
家庭教育講座Ⅰ (全2回)	<p>「我が子の安全どう守る？～子どもの安全安心対策を学ぼう～」</p> <p>①「子どもの防犯、いまできること」保護者対象②「親子で学ぼう 防犯パワーアップ教室」・小学生と保護者対象</p> <p>武田信彦氏（安全インストラクター）</p>
家庭教育講座Ⅱ	<p>「中学生ってたいへん？保護者はどんな心の準備をすればいいか聞いてみよう」</p> <p>西牧たかね氏（調布市子ども・若者総合支援事業(ここあ)学習支援コーディネーター）</p> <p>進藤美左氏（自閉症スペクトラム診断士）</p>
子育てセミナー	<p>「仲間と出会い、子どもと自分を育てよう」</p> <p>①「まずはお互いに知り合おう」②「市の子育て支援を知ろう」 調布市子ども政策課職員</p> <p>③「子どもの権利ってなに？」 梶原政子氏（元幼稚園園長）</p> <p>④「日常の子育てを見つめ直そう」 梶原政子氏（元幼稚園園長）</p> <p>⑤「子どもの命に関わって」 武山ゆかり氏（医療ソーシャルワーカー）</p> <p>⑥「支援の必要な子の親として」 進藤美左氏（たんぼぼの会代表）</p> <p>⑦話し合い⑧「戦争のない平和な時代を」 山崎瑞江氏（たんぼぼ文庫代表）</p> <p>⑨話し合い⑩「手作り絵本を楽しもう」 塩山さおり氏（絵本と童話の会会員）</p> <p>⑪「子どもの学習支援に関わって」 西牧たかね氏（調布市子ども・若者総合支援事業(ここあ)学習コーディネーター）</p> <p>⑫「働くということ」 青山富美江氏（おたすけママ代表）</p> <p>⑬「ハンドベル音楽でつながろう」 ハンドベルデュオ・ベリーラブ</p> <p>⑭「感想文を持ち寄ろう」</p> <p>⑮「自主企画を楽しもう」</p>
○国際理解教育	
国際理解講座 (全2回)	<p>「揺れ動く世界の情勢を知る～中東とイギリスを中心に～」 ※新型コロナウイルス対策のため中止</p> <p>①「迷走する中東情勢と日本のエネルギー安全保障」 保坂 修司氏（(一財)日本エネルギー経済研究所中東研究センターセンター長）</p> <p>②「イギリスと欧州統合～EU離脱の意味と行方」 中村 英俊氏（早稲田大学政治経済学術院准教授）</p>
○展示会	
ロビー展	<p>「水彩画サークル美楽 ロビー展」水彩画10点の展示 出展：美楽(西部公民館利用登録団体)</p> <p>「墨絵で描く心の風景」水墨画サークル「西雅会」ロビー展水墨画17点の展示 出展：西雅会(西部公民館利用登録団体)</p> <p>「日々是好日」西和会のおけいこ展 書道サークル「西和会」ロビー展 書道作品10点の展示 出展：西和会(西部公民館利用登録団体)</p> <p>巡回企画展「世界から調布へラグビーポスター展」 ワールドカップポスター9枚、解説9枚のパネル展示</p> <p>「子どもたちからの人権メッセージ」発表者作文展 公民館巡回展示 緑ヶ丘小6年、染地小5年、北ノ台小4年、著名人による人権メッセージパネル、人権に関する図書の展示、閲覧</p> <p>「年末年始を彩る 絵手紙『彩の会』ロビー展」 絵手紙作品60点の展示16 協力：絵手紙サークル「彩の会」</p>

事業名	内容及び講師
	「野山の食卓～旅作家が出合った小さな自然の恵み」パネル18点の展示 ※新型コロナウイルス対策のためギャラリートークは中止 伊佐九三四郎氏（旅作家）
	平和ロビー展示「調布飛行場が遺した戦争の記憶」 解説パネルと写真など13点の展示 ※新型コロナウイルス対策のため中止 協力：武蔵野の森公園サービスセンター
出張展示	「広島平和派遣ピースメッセンジャーマッセージボード巡回展」展示15点 ※新型コロナウイルス対策のため中止 文化生涯学習課
○コンサート	
コンサート	子どもとおとなのための素敵なハンドベルコンサート」 ハンドベルデュオ ベリーラブ（ハンドベル奏者）
	解説つき新春ロビーコンサート「クラシックからジャズへ～サクスの魅力」 解説：小澤由佳氏（日本大学講師，音楽学者） 演奏：渡辺定路氏（サクソ奏者） 平田亜樹氏（ピアニスト）
○平和事業	
平和フェスティバル	「戦前戦後の『学び』に思いをはせて，平和について考えよう」 ・「ハンドマッサージと踊り」 調布市立第五中学校ボランティア部 ・講演「戦前戦後の『学び』に思いをはせて，平和について考えよう」 佐々木啓子氏（電気通信大学教授） ・演奏「ハーブとヴァイオリンデュオコンサート」 飯吉真子氏（ヴァイオリン演奏者） 金淵洋子氏（ハーブ演奏者）
平和バス見学会	「親子で学ぶ平和～浅川地下壕と八王子の戦争遺跡めぐり」 大和田橋焼夷弾跡，相即寺ランドセル地蔵，浅川地下壕など八王子市内の戦争遺跡を見学 浅川地下壕の保存をすすめる会会員
○団体支援	
サークル体験教室（全2回）	やさしい英会話体験教室「英会話サークル『やさしい英会話』の体験教室」 櫻井麻由氏（英会話講師）
サークル体験教室（全2回）	楽しく始めるウクレレ体験「ウクレレサークル『ノアレア』の体験教室」 吉田健二氏（ウクレレ講師）
サークル体験教室	「水彩で空を描こう」登録団体「美楽」の体験教室 師井栄治氏（登録団体「美楽」講師）
サークル体験教室	「夏バテに負けないさっぱり料理とおつまみを作ろう」登録団体「おやじの厨房」の体験教室 栗谷道代氏（料理サークル講師）
サークル体験教室	「心の風景を短歌に描いてみませんか」登録団体「短歌スケッチ」の体験教室 ※新型コロナウイルス対策のため中止 三原由起子氏（「日月」所属歌人）

★ 今年の漢字 令

★ 流行語大賞 ONE TEAM

令和2年度 主催事業

○青少年教育

子ども体験教室Ⅰ（全2回）	「英語っておもしろい～夏休み英語体験」 藏本瞳氏（英語講師）
子ども体験教室Ⅱ	「子ども科学じっけんでモクモクしちゃおう」 小沢洋一氏（仮説実験授業研究会会員）

事業名	内容及び講師
子ども体験教室Ⅲ	「ペットボトルでエコアートを楽しもう」 金原京子氏(造形作家)
子ども体験教室Ⅳ	「子ども科学じっけんでモクモクしちゃおう」 ※新型コロナウイルス対策のため中止 小沢洋一氏(仮説実験授業研究会会員)
子ども科学教室(全4回)	「空気の力 5メートルの長さのストローで水が飲めるかな」 ※新型コロナウイルス対策のため③④延期後実施 ①空気と水②水はどこまで上がるか③水はなぜ上がる④空気の力を調べる 平林浩氏(仮説実験授業研究会会員)
子どもと大人の天文学教室	「星の一生と宇宙のお話」 ※新型コロナウイルス対策のため延期, 再延期後実施 縣秀彦氏(国立天文台准教授)
○成人教育	
健康講座(全3回)	インナーマッスルを鍛える「簡単パレエ&ストレッチ」 ※新型コロナウイルス対策のため中止 ①「姿勢と呼吸を意識しよう」②「自分の体を知ろう」③「体幹を鍛えて美しい姿勢に」 山口晴子氏(ダンスインストラクター)
コミュニティカレッジⅠ(全3回)	「閉塞の時代に希望を求めて」 ①「哲学者が問う東日本大震災からの10年」 西谷修氏(東京外国語大学名誉教授) ②「インターネットの光と影～人権侵害はなくせるか～」 佐藤佳弘氏(㈱情報文化総合研究所代表取締役) ③「米中対立とコロナ危機をどう見るか」 西谷修氏(東京外国語大学名誉教授)
コミュニティカレッジⅡ(全2回)	「コロナ禍の先に希望を求めて」 ※新型コロナウイルス対策のため延期後実施 ①「コロナ禍の後, “公共”の復興を」 西谷修氏(東京外国語大学名誉教授) ②「考えよう食の未来 コロナ禍で見た食糧自給率37%の現実と問題点」 内田聖子氏(NPO法人アジア太平洋資料センター共同代表)
福祉講座	「共に生きる社会へ 盲導犬もみじと暮らして見えたもの」 愛沢法子氏(調布市視覚障害者福祉協会会長)
音楽講座(全3回)	「解説付き名曲鑑賞講座～感じてみよう音楽の力～」 ①「時代の禍を乗り越えて～歴史上の事変と音楽～」②「人生の禍を乗り越えて～作曲家の人生と音楽～」③「音楽で祈りを～パッパと彼に魅せられた作曲家～」 小澤由佳氏(音楽学者, 日本大学講師)
環境講座(全2回)	「自然との共生～日本庭園の魅力」 ①「日本庭園の歴史と植栽」②「多摩地域の自然が生み出した日本庭園」 宮内泰之氏(恵泉女学園大学准教授)
健康講座(全3回)	「心も体もリフレッシュ ストレッチ&筋トレ&ダンス」 ①「体をほぐして柔軟性アップ」②「体幹を鍛えてバランス力アップ」③「楽しく踊ってリズム感アップ」 山口晴子氏(ダンスインストラクター)
歴史講座(全2回)	「地域の歴史に触れる」 ※新型コロナウイルス対策のため中止 ①②とも・調布というところ・甲州街道と布田五宿・京王電気軌道が調布に運んできたもの 小野崎満氏(調布市郷土博物館元館長)
文学講座(全2回)	「市民の書齋, 図書館についてもっと知ろう楽しもう」 ※新型コロナウイルス対策のため中止 調布市立図書館宮の下分館職員
美術史講座(全2回)	「画家の目を通して見る美術史『目で楽しむ古事記の世界～天地開闢の神々～』」 ①「古今の作品で古事記を楽しむ」②「講師の作品で開闢の神々をたどる」 下向恵子氏(画家・美術教師)
市民企画講座	「映画監督 班 忠義氏から学ぶ 誰も知らなかったアジアの歴史」 ※新型コロナウイルス対策のため中止 班忠義氏(映画監督)

事業名	内容及び講師
体験教室Ⅰ	「いっしょに生きていくためのマインドフルネス講座」 松浦幸子氏 (NPO法人クッキングハウス会代表)
体験教室Ⅱ	「癒しの香りにつつまれて 青いお花のマリンボブリ作り」 小林あずさ氏(フラワーデザイナー)
体験教室Ⅲ (全2回)	「傾聴講座～温かな聴き手をめざして～」 澤村直樹氏 (アクティヴリッスン代表)
体験教室Ⅳ (全2回)	「見て楽しむ料理教室～かんたんパン作り～」 栗谷道代氏 (料理研究家)
体験教室Ⅴ	「愛沢法子さんと楽しむ『初めての生け花』」 愛沢法子氏 (双花式生け花講師, 調布市視覚障害者福祉協会会長)
体験教室Ⅵ	「江戸の伝統工芸 つまみ細工を体験」 風来氏(江戸つまみ細工講師)
世界の料理教室	「慈悲深き神の食卓 イスラムを『食』から見る」 ※新型コロナウイルス対策のため中止 八木久美子氏(東京外国語大学教授)
成人学級 「ココラク」	①活動計画の見直し②活動計画の確認と役割分担 ③「ごみの減量とリサイクルについて」 調布市ごみ対策課出前講座 ④「子どももおとなも幸せに生きるために」 山中裕子氏 (心理カウンセラー) ⑤前回の振り返りと今後に向けての話し合い ⑥「みんなで進める災害対策」 調布市総合防災安全課出前講座 ⑦「子育ての地図を持つ意味」 西牧たかね氏 (調布市子ども・若者総合支援事業(ここあ)学習支援コーディネーター) ⑧前回の振り返りと今後に向けての話し合い⑨「お正月飾りを作ろう」 会員の自主活動 ⑩「考えよう、こころ、からだ、関係」 調布市健康推進課出前講座 ※新型コロナウイルス対策のため中止 ⑪前回の振り返りと今後に向けての話し合い ※新型コロナウイルス対策のため中止 ⑫「みそ作りにチャレンジ」 自主活動 ※新型コロナウイルス対策のため中止 ⑬「食品ロスについて学ぼう」 東京都消費生活啓発員出前講座 ※新型コロナウイルス対策のため中止 ⑭学習記録作成のための話し合い ※新型コロナウイルス対策のため中止 ⑮学習記録作成 ※新型コロナウイルス対策のため中止 ⑯学習記録の印刷と製本, 次年度に向けての話し合い ※新型コロナウイルス対策のため中止
成人学級 「ぶくらム」	①今後の活動計画について ②防災についてトークディスカッション ③「刺繍の会 子どもの名札を作ろう」 会員の自主活動 ④「ネット世界の危険から子どもを守ろう」 鈴木伸子氏 (東京都消費者啓発員) ⑤「食品添加物を学ぼう」 東京都消費生活啓発員出前講座 ⑥「おとなも子どもも幸せになるために」 富永りか氏 (スクールソーシャルワーカー) ※新型コロナウイルス対策のため中止 ⑦学習記録作成 ※新型コロナウイルス対策のため中止
コンサート	「沖繩に思いをはせて～三線ロビーコンサート～」 タケシイ氏 (三線演奏者)
○高齢者教育	
シニア講座 (全4回)	①「学ぶ門には福来る 地域で生きる豊かさを求めて」 ②「気持ちよく暮らすために身体を動かそう」 加藤あい氏 (体操講師)

事業名	内容及び講師
	③「身近な絶滅危惧植物を知っていますか 神代植物公園からのお話」 堀江孝之氏（都立神代植物公園植物多様性センター長） 「孤立のない町をめざして 調布市社会福祉協議会の願い」 調布市社会福祉協議会職員 ④「シニアの不安を減らすために 調布ゆうあい福祉公社のお話」 調布ゆうあい福祉公社職員 「リコーダーミニ演奏」 富永和音氏（リコーダー演奏者）
シニア健康講座 (全3回) 各2回	「アスレティックトレーナーに学ぶ シニアに必要な運動のコツ」 ①「股関節編」～股関節をより動くようにしよう②「背中編」～背中の動きを改善させて腰痛予防③「腹筋編」～やわらか腹筋で転倒予防 加古円氏（アスレティックトレーナー）
高齢者学級 「チャレンジ クラブ未来」	①令和元年度学習記録の製本，活動計画の見直し ②マイチャレンジ 学級生の話に学ぶ③マイチャレンジ 学級生の話に学ぶ ④コロナ禍でのシニアの暮らしについて話し合い⑤水道民営化問題についてDVDを視聴，話し合い ⑥「水道は誰のものか？」 内田聖子氏（NPO法人アジア太平洋資料センター共同代表） ⑦マイチャレンジ 学級生の話に学ぶ ⑧マイチャレンジ 学級生の話に学ぶ ※新型コロナウイルス対策のため中止 ⑨マイチャレンジ 学級生の話に学ぶ ※新型コロナウイルス対策のため中止 ⑩マイチャレンジ 学級生の話に学ぶ ※新型コロナウイルス対策のため中止 ⑪マイチャレンジ 学級生の話に学ぶ ※新型コロナウイルス対策のため中止 ⑫学習記録作成 ※新型コロナウイルス対策のため中止 ⑬学習記録完成 ※新型コロナウイルス対策のため中止
○家庭教育	
家庭教育講座 I	「コロナ対策の夏，どんなことに気をつけたらいいの～小児科の先生に聞いてみよう」 根本しおり氏（しおり小児科院長）
家庭教育講座 II	「不登校について先輩ママを交えて話を聞いてみませんか」 合田潤子氏（看護師） 富永りか氏（調布市子ども・若者総合支援事業（ここあ）子ども・若者ソーシャルワーカー）
子育てセミナー (全15回)	「仲間と出会い，子どもと自分を育てよう」※新型コロナウイルス対策のため中止
○国際理解教育	
国際理解講座 (全2回)	「揺れ動く世界の情勢を知る 中東とイギリスを中心に」 「迷走する中東情勢と日本のエネルギー安全保障」 保坂修司氏（日本エネルギー経済研究所中東研究センターセンター長） 「イギリスと欧州統合～EUからの離脱，その意味と行方～」 中村英俊氏（早稲田大学准教授）
○展示会	
ロビー展	①水彩画サークル「美楽」 ロビー展 水彩画10点の展示 ※新型コロナウイルス対策のため中止 出展：美楽（西部公民館利用登録団体） ②「墨で描く心の風景」水墨画サークル「西雅会」ロビー展 水墨画17点の展示 ※新型コロナウイルス対策のため中止 出展：西雅会（西部公民館利用登録団体） ③「愛しきもの パート2」水彩画サークル「美楽」 ロビー展 水彩画13点の展示 出展：美楽（西部公民館利用登録団体） ④平和ロビー展示「調布飛行場が遺した戦争の記憶」 解説パネル，ポスターなど22点の展示 ギャラリートーク 市職員（調布市郷土博物館元学芸員） ⑤ペットボトルでエコアートを楽しもう 作品展示 令和2年12月19日開催の体験教室参加者の作品と講師金原京子氏の作品を展示

事業名	内容及び講師
	⑥「あの日から10年、陸前高田市の中学生からのメッセージ」 中学生の作文と絵画、ポスターなど40点を展示 岩手県陸前高田市立高田第一中学校
	⑦平和ロビー展示「次世代へのバトン～高校生が描く広島原爆の絵展～」 原爆の絵19点と平和関連の絵本20点を展示 広島平和記念資料館
出張展示	「広島平和派遣ピースメッセンジャーメッセージボード巡回展『つながる』」 パネル及びポスター20点の展示 調布市文化生涯学習課
○平和事業	
平和フェスティバル	「講演とコンサート『音楽とともに平和を願うひととき～祈りの冬から希望の春へ～』」 ※新型コロナウイルス対策のため延期後実施 講師：小澤由佳氏(音楽学者) 演奏：波多野せい(ヴァイオリン) 相馬邦子(ピアノ)

- ★ 今年の漢字 密
- ★ 流行語大賞 3密

令和3年度 主催事業	
○青少年教育	
親子自然観察会	「野川公園で夏の自然観察」 ※新型コロナウイルス対策のため中止 自然観察園見学, 自然観察センター展示見学, バッタランドで虫とり体験 山田陽子氏(パークレンジャー)
子ども体験教室Ⅰ(全2回)	「英語っておもしろい～夏休み英語体験」 瀧澤瞳氏(英語講師)
子ども体験教室Ⅱ(同内容2回)	「かがくじっけんでモクモクしちやおう」 小沢洋一氏(仮説実験授業研究会会員)
子ども体験教室Ⅲ	「日本の伝統文化にふれてみよう 水引で作るしおり・ストラップ」 村井玲子氏(水引講師)
子ども科学教室(全4回)	「もしも原子が見えたなら」 ①「もしも原子が見えたら空気はどんなふうに見えるか」②「空気を一億倍にしたら」③「空気をつくる原子, 分子」④「空気をつくる原子分子の模型作り」 ※新型コロナウイルス対策のため延期後実施 平林浩氏(仮説実験授業研究会会員)
子どもと大人の天文学教室	「星の王子様の天文レクチャー～2022年宇宙の旅～」 縣秀彦氏(国立天文台准教授)
○成人教育	
市民企画講座	「映画監督 班忠義氏から学ぶ『誰も知らなかったアジアの歴史』」 班忠義氏(映画監督)
健康講座(全3回)	「初心者向け 簡単エアロビクスでリフレッシュ」 ①「元気になる簡単エアロビクスを学ぼう」 ②「楽しく脂肪燃焼! いつまでも」 ③「リズムに乗って気分爽快」 山川容子氏(スポーツインストラクター, 健康運動指導士)
環境講座(全3回)	「いま, 植物のチカラで心豊かに」 ①「学んで楽しもう 植物との長いおつきあい」 都立神代植物公園植物多様性センター職員 ②「目が見えなくてもできる生け花の魅力」 愛沢法子氏(生け花講師) ③「自然との共生 中国雲南省の旅から見たもの」 伊佐九三四郎氏(旅作家)

事業名	内容及び講師
福祉講座 (全2回)	「心のバランスを崩した人に寄り添うための講座」 ①「安心言葉とほめ言葉のワーク」②「注意サインのワークと聴くワーク」 松浦幸子氏 (NPO法人クッキングハウス会代表)
音楽講座 (全3回)	「華麗なる宮廷音楽～作曲家にとって宮廷とは～」 ※新型コロナウイルス対策のため延期 ①「音楽史の中での宮廷音楽の始まり」②「『雇われ作曲家』の安定した生活は何を生み出す？」③「宮廷に生涯振りまわされたモーツァルト」 小澤由佳氏 (音楽学者, 日本大学講師)
音楽講座 (全2回)	「華麗なる宮廷音楽～作曲家にとって宮廷とは～」 ※新型コロナウイルス対策のため延期後(全3回)を(全2回)で実施 ①「宮廷音楽のはじまりと音楽史への影響～宮廷における音楽の存在とは？」②「宮廷文化の全盛期に登場した音楽～モーツァルトを中心に」 小澤由佳氏 (音楽学者, 日本大学講師)
歴史講座 (全2回)	「地域の歴史に触れる～西部地域を中心に」 ※新型コロナウイルス対策のため延期 ①②とも調布というところ, 甲州街道と布田五宿, 京王電気軌道が調布に運んできたもの 小野崎満氏 (調布市郷土博物館元館長)
歴史講座 (全2回)	「地域の歴史に触れる～西部地域を中心に」 ※講師の体調不良のため中止 ①②とも調布というところ, 甲州街道と布田五宿, 京王電気軌道が調布に運んできたもの 小野崎満氏 (調布市郷土博物館元館長)
歴史講座 (全2回)	「近代日本 戦争の歴史」 ※新型コロナウイルス対策のため中止 ①「日本の近代化と日清・日露戦争」②「満州事変から日中戦争, そして世界戦争へ」 山田朗氏 (明治大学教授)
防災講座 (全2回)	「安心感をアップ! いざという時, 慌てないための防災講座」 ※新型コロナウイルス対策のため延期 調布市総合防災安全課職員ほか
防災講座 (全2回)	「安心感をアップ! いざという時, 慌てないための防災講座」 ①「知って納得, 避難所でできること, できないこと」②「マイタイムラインを作ってみよう」 調布市総合防災安全課職員ほか
歴史講座	「旅作家 伊佐 九三四郎が語る『忠臣蔵』」 伊佐九三四郎氏 (旅作家)
文学講座 (全2回)	「市民の書齋, 図書館を知ろう, 楽しもう」 ①「図書館についての基礎知識」②「おとなも読みたい児童書の紹介」 調布市立図書館宮の下分館司書
特別講演会	「コロナ後の地球の未来を探る～SDGsの視点から」 ※新型コロナウイルス対策のため中止 伊藤千尋氏 (ジャーナリスト) ハンドベルデュオ・ベリール (ハンドベル演奏者)
環境講座 (全2回)	家庭菜園やガーデニングに利用できる「生ごみ堆肥」を学ぼう ※新型コロナウイルス対策のため①延期後実施 ①「生ごみ堆肥化のメカニズムと実施例の話および実習」②「堆肥のチェックと質疑応答, 意見交換」 会田節子氏 (有機農産物普及・堆肥化推進協会事務局長)
コミュニティー カレッジ (全2回)	「2022年 福島と沖縄から考える 日本のこれから」 ①「写真家菊池和子が見つめた 東日本大震災からの11年」 菊池和子氏 (写真家) 室井三紀氏 (琵琶演奏者) ②「コロナ禍の下で, 復帰50年の沖縄が問いかけるもの」 西谷修氏 (東京外国語大学名誉教授)
美術史講座 (全2回)	「画家の目を通して見る美術史 日常の美をみつめて～『民藝の100年』をベースに」 ※新型コロナウイルス対策のため②延期後実施 ①「『民藝』の活動の広がりを知る」②「柳宗悦のデザイン力とフォークアートを見る」 下向恵子氏 (画家・美術教師)
世界の料理教室	「羊を食べつくすイスラーム教徒～中国回族の暮らしとハラール料理」 澤井充生氏 (東京都立大学助教)

事業名	内容及び講師
体験教室Ⅰ	「初めてののための スマートフォン操作体験教室」 KDDI認定講師
体験教室Ⅱ (全2回)	「秋から始めるガーデニング講座」 ①「ガーデニングの基本と土づくり実践」②「花の植え付けと寄せ植えづくり」 こばやしあずさ氏(日本園芸協会庭園デザイナー, フラワーデザイン講師)
体験教室Ⅲ 同内容2回	「見て楽しむ料理教室 憧れのふわふわシフォンケーキ」 栗谷道代氏(料理研究家)
体験教室Ⅳ 同内容2回	「パラリンピック元日本代表秋元妙美さんと楽しむ はじめてのボッチャ」 秋元妙美氏(パラリンピック元日本代表)
体験教室Ⅴ (全2回)	「和のクラフト 水引で作るお正月飾り」 ①「水引の由来と基本の結び」②「お正月飾り仕上げ」 村井玲子氏(水引講師)
成人学級 「ココラク」	①昨年度の活動の振り返り②今年度の活動についての話し合い ③「暮らしのなかのヨガ」 加藤あい氏(健康体操講師) ④「夏休みの過ごし方と文化祭についての話し合い」 ⑤「カウンセラーに聞く、子どもへの寄り添い方」 山中裕子氏(カウンセラー) ⑥公開講座「おとなの社会科『私たちの声は届くの?』」 西牧たかね氏(調布市子ども・若者総合支援事業(ここあ)学習支援コーディネーター) ⑦「クリスマスワッグとミツロウラップ作り」⑧今年度の学習記録の作成のための話し合い ⑨「地域の子どもの食堂について学ぶ」 細川智香子氏(子ども食堂かくしょうじ役員) ※新型コロナウイルス対策のため中止 ⑩今年度の学習記録の作成
成人学級 「ぶくらム」	①今年度の活動についての役割分担②今年度の計画と次回に向けての話し合い ③「ママから伝えるいのちとからだのおはなし」 森珠美氏(日本思春期学会認定講師) ④「文化祭と今後の活動についての話し合い」 ⑤「ヨガで体を整えよう」 八幡美貴氏(ヨガ講師) ⑥公開講座「思春期の心とからだのことを話そう」 森珠美氏(日本思春期学会認定講師) ⑦「子どもの幸せ、おとなの幸せについて考えよう」 富永りか氏(ソーシャルワーカー) ⑧話し合い ⑨「デッサンに挑戦しよう」 ※新型コロナウイルス対策のため中止 ⑩今年度の学習のまとめ ※新型コロナウイルス対策のため中止
コンサート	「桜に愛を込めて～映画『薄墨の桜』上映とリコーダーコンサート～」 富永和音氏(リコーダー演奏者)
平和フェスティバル	①講演とコンサート「テレジン収容所から～命のメッセージと平和への願い～」 演舞 市立第五中学校ボランティア部(14人) 講演 当初「子どもたちの絵が語るもの～今、なぜテレジン収容所か」 野村路子氏(ノンフィクション作家) 変更「テレジンの絵は語り続ける」(NHKこころの時代より) ピアノと朗読のコンサート 「テレジンの子どもたちの命のメッセージ」 林晶彦氏(ピアニスト) 林智子氏(音楽家) ②ワークショップ 五感を刺激するアートワークショップ「ちょうちょになったらどこに行きたい?」 テレジンを語りつぐ会府中 ③「平和への祈り～魂の歴史家 アレクシェーヴィチからのメッセージ」 ※新型コロナウイルス対策のため中止 沼野恭子氏(東京外国語大学大学院教授)

事業名	内容及び講師
○高齢者教育	
シニア講座 (全2回)	「いつもの暮らしから一步前進『キャッシュレス』と『薬とのつきあい方と食』について学ぼう」※新型コロナウイルス対策のため延期 ①「キャッシュレス社会に強くなろう」 調布市消費生活相談員 ②「薬との上手なつきあい方と食の話」 常谷紀子氏(薬剤師)
シニア健康講座 (全3回) 各2回	「アスレティックトレーナーに学ぶ シニアに必要な自宅トレーニングのコツ」 ①②「骨盤と股関節の動きを確認しよう」 ③④「良い姿勢は背中からの改善から」 ⑤⑥「転ばないための腹筋とは」 ※新型コロナウイルス対策のため⑤⑥延期後実施 加古円氏(アスレティックトレーナー)
シニア講座 (全2回)	「いつもの暮らしから一步前進『キャッシュレス』と『薬とのつきあい方と食』について学ぼう」 ①「キャッシュレス社会に強くなろう」 調布市消費生活相談員 ②「薬との上手なつきあい方と食の話」 常谷紀子氏(薬剤師)
高齢者学級 「チャレンジ クラブ未来」	①マイチャレンジ 学級生の話に学ぶ②マイチャレンジ 学級生の話に学ぶ ③マイチャレンジ 学級生の話に学ぶ④学習記録の製本と閉級式
○家庭教育	
家庭教育講座 I	「学校に行きづらい子どもの日常をどうしたらいいの?一緒に考えてみませんか」 平澤和哉氏(NPO法人ちょうふ子どもネット理事長) 富永りか氏(調布市子ども・若者総合支援事業(ここあ)子ども・若者ソーシャルワーカー)
家庭教育講座 II	「赤ちゃんを楽しむ はじめての英語体験」 瀧澤瞳氏(英語講師)
子育てセミナー (全15回)	「仲間と出会い、子どもと自分を育てよう」 ①お互いに知り合おう②「市の子育て支援について知ろう」 調布市子ども政策課職員 ③「子どもの権利ってなに?」 梶原政子氏(元幼稚園園長) ④「日常の子育てを見つめ直そう」 梶原政子氏(元幼稚園園長) ⑤「つながるということ」 進藤美左氏(たんぼぼの会代表) ⑥「戦争のない平和な時代を」 山崎瑞江氏(たんぼぼ文庫代表) ⑦「子どもの学習支援に関わって」 西牧たかね氏(調布市子ども・若者総合支援事業(ここあ)学習支援コーディネーター) ⑧「ハンドベル音楽でつながろう」 ハンドベルデュオ・ベリーラブ ⑨「手作り絵本を楽しもう」 塩山さおり氏(絵本と童話の会会員) ⑩「働くということ」 青山富美江氏(おたすけママ代表) ⑪話し合い⑫自主企画「一緒に作ろう 手作り絵本」⑬自主企画「お料理にチャレンジ」 ⑭自主企画「生け花にチャレンジ」⑮感想文を持ち寄ろう
○国際理解教育	
国際理解講座 (全2回)	「コロナ禍の人権と民主主義～世界の今を知る」 ※新型コロナウイルス対策のため②延期後実施 ①「コロナ禍 民主主義のゆくえ」 阿古智子氏(東京大学大学院教授) ②「今考える 私たちの人権」 シムカート ビョルン氏(アムネスティインターナショナル日本キャンペーンコーディネーター)
○展示会	
ロビー展	①「あの日から10年、陸前高田市の中学生からのメッセージ」 中学生の作文と絵画、ポスターなど40点を展示 岩手県陸前高田市立高田第一中学校 ②「自分のテーマにチャレンジ」 水彩画サークル「美楽」 ロビー展 水彩画10点の展示 (その他ラフ10点) 出展:美楽(西部公民館利用登録団体)

事業名	内容及び講師
	③谷川俊太郎訳 わかりやすい「世界人権宣言」ポスター展 ※新型コロナウイルス対策のため期間短縮 谷川俊太郎のやさしい日本語とイラストで描かれたポスター27点と関連図書11点の展示
	④「墨で描く心の風景」水墨画サークル「西雅会」ロビー展 水墨画20点の展示 出展：西雅会(西部公民館利用登録団体)
	⑤「テレジン収容所の幼い画家たち展」 テレジン収容所の子どもたちが描いた絵のレプリカと解説のパネル32点の展示
	⑥「年末年始を彩る『水引アート展』」 出展：村井玲子氏(水引講師)
	⑦「パラアート展2021作品展示」 絵画, 立体作品など38点の展示 出展：市内福祉作業所
	⑧「鹿島学園高等学校調布キャンパス・イラストゼミ展示会」 イラスト, オブジェ, デッサンなど24点の展示 出展：鹿島学園高等学校調布キャンパス・イラストゼミ
出張展示Ⅰ	小林グレイ愛子 写真展 「グアテマラの女性たちの暮らしと布〜グアテマラ」 調布市男女共同参画推進課
出張展示Ⅱ	「ちょうふピースメッセンジャー2021 メッセージボード巡回展『つながる』」 パネルおよびポスター20点の展示 調布市文化生涯学習課
○連携事業	
東京都共催事業 A, B同内容	「シニア向けスマートフォン相談会」A ※新型コロナウイルス対策のため延期後実施 「シニア向けスマートフォン相談会」B 東京都委託によるスマートフォン専門アドバイザー
東京都共催事業 A, B同内容	「シニア向けスマートフォン講習会」A ※新型コロナウイルス対策のため延期後実施 「シニア向けスマートフォン講習会」B 東京都派遣のスマートフォン講師
○団体支援	
体験教室Ⅰ (全2回)	体験教室「弾けたらうれしいウクレレ」 ※新型コロナウイルス対策のため延期後実施 吉田健二氏(ウクレレ講師) 利用登録団体「ノアレア」
体験教室Ⅱ (全2回)	体験教室「一度やってみたい太極拳」 ※新型コロナウイルス対策のため延期後実施 室井昇氏(太極拳講師) 利用登録団体「西部慢慢児の会」
体験教室Ⅲ (全3回)	「小倉百人一首の世界 歌と歌人とその時代」※新型コロナウイルス対策のため②③は令和4年度に延期 ①「歌と歌人のエピソード, 時代背景を学ぶ」②③ 稲留昌利氏(小倉検定協会初代長者)

- ★ 今年の漢字 金
- ★ 流行語大賞 リアル二刀流/ショータイム
- ★ 公民館5大ニュース
 - ①コロナ禍でも文化祭! くつろぎコンサートに大きな拍手、オンラインで三館連携も大成功。
 - ②地道な花いっぱい活動スタート! 花や苗が次々届き、みんなの笑顔の花が咲く。
 - ③木曜午後は移動販売車、シェアサイクルも備わって、暮らしの便利さアップ!
 - ④真剣さと楽しさで盛り上がった防災講座～地域のパワーを実感。
 - ⑤自販機からペットボトルよ、サヨウナラ。環境問題に取り組むスタートに。

事業名	内容及び講師
令和4年度 主催事業	
○青少年教育	
親子自然観察会	「戦国の山城 滝山城跡と八王子城跡に行こう」 ※悪天候のため中止 調布市職員
子ども体験教室Ⅰ	「かがくじっけんでモクモクしちゃおう」 小沢洋一氏（仮説実験授業研究会会員）
子ども体験教室Ⅱ （全3回）	「集まれ！イラスト大好き中高生～イラスト体験教室」 三上郁子氏（鹿島学園高等学校調布キャンパスイラストゼミ講師）
子ども体験教室Ⅲ （全4回）	「集中力を養う！ はじめての囲碁体験教室」 岳野勝治氏（宮の下囲碁同好会代表）ほか会員3人
子ども体験教室Ⅳ （全2回）	「ねん土で作るボックスティッシュカバー」 ①形を作る②色付けをする 孫田純子氏（粘土教室講師）
子ども体験教室Ⅴ （全2回）	「英語っておもしろい～夏休み英語体験」 瀧澤瞳氏（英語講師）
子ども科学教室 （全4回）	「自由電子が見えたなら」 ①電気をよく通すもの②自由電子がいっぱいあるもの③自由電子のはたらき④自由電子がなくても電気がとおるもの 平林浩氏（仮説実験授業研究会会員）
子どもと大人の天文学教室 （全2回）	「星の王子さまの天文レクチャー」 ①太陽系の歴史を探る 地球誕生の謎②天の川銀河の歴史を探る 生命誕生の謎 縣秀彦氏（国立天文台准教授）
○成人教育	
特別講演会	「ウクライナ侵攻とコロナ禍の今、地球の未来を探る～SDGsの視点から～」 伊藤千尋氏（ジャーナリスト） ハンドベルデュオ Belly Love(ハンドベル演奏者)
健康講座 （全3回）	「人と暮らしと地球の『健康』を考える講座」 ①今からでも遅くない 私の健康は私がつくる 春山文子氏（実践女子大学名誉教授） ②暮らしの『健康』を防災の視点で考えてみよう 金原昌子氏（明治安田生命保険相互会社新宿支社教育・育成課長） ③私たちの地球は『健康』なの？気候変動について知ろう 桃井貴子氏（NGO・NPO法人気候ネットワーク東京事務所）
歴史講座 （全3回）	「近代日本 戦争の歴史」（オンライン受講） ①日本の近代化と日清②日露戦争・満州事変から日中戦争へ③三国同盟から世界戦争へ 山田朗氏（明治大学教授）
健康講座 （全3回）	「ウィークデーの疲れを癒す 女性のための週末リトリートヨガ」 上美知代氏（ヨガインストラクター）
環境講座	「カーボンニュートラルと植物のチカラ」 渡辺誠氏（東京農工大学准教授）
福祉講座 （全2回）	「知って安心 楽しく学ぼう 認知症予防講座」 ①認知症は予防できるの？できることから始めましょう②自分の人生を振り返り、これからを考えましょう 片山文氏（明治安田生命保険相互会社新宿支社チーフ・コンシェルジュ）
音楽講座	「音楽の国 イタリア～イタリア音楽の魅力に迫る」（全3回） ①歌うイタリア～歌曲の魅力②旋律美のイタリア～ヴァイオリンの魅力③イタリアに魅せられる作曲家たち 小澤由佳氏（音楽学者・日本大学講師）

事業名	内容及び講師
文学講座	「今を生きる人へのメッセージ～写真家 星野道夫の言葉の贈りもの」 濁川孝志氏（立教大学名誉教授）
コミュニティカレッジ（全3回）	「世界と足元を見つめる目を～3人の視点から～」 ①今、世界はどうなっているのか 西谷修氏（東京外国語大学名誉教授） ②介護保険20年、これからの介護はどうなる 小竹雅子氏（市民福祉情報オフィス・ハスカップ主宰） ③外国籍女性支援の現場から～痛みと共生～ 新倉久乃氏（和光大学講師）
美術史講座（全2回）	「画家の目を通して見る美術史『李禹煥の世界』～国立新美術館開館15周年記念『李禹煥』展を中心に」 ①平面作品を中心に②彫刻作品を中心に 下向恵子氏（画家・美術教師）
世界の料理教室	「ウクライナ出身の留学生と楽しむ ウクライナの家庭料理」 アナスタシア・ポリシュチク氏（早稲田大学大学院博士課程在籍）
体験教室Ⅰ	「作ってみよう 憧れのふわふわシフォンケーキ」 ①小学生と大人②大人 粟谷道代氏（料理研究家）
体験教室Ⅱ	「歌ってリフレッシュ～岡田彩子さんと『アメージンググレイス』を歌おう」 岡田彩子氏（声楽家）
体験教室Ⅲ	「秋の和菓子3種～ 紅葉と菊の花をつくろう」 小宮崇氏（今木屋4代目）
体験教室Ⅳ（全3回）	「声を出して伝える楽しさを～はじめての朗読体験教室」 ①まずは声を出してみよう②表現を工夫してみよう③自分の好きな文章を朗読してみよう 矢崎麻弥氏（フリーアナウンサー）
体験教室Ⅴ	「みんなで折り紙！子どもも大人もいっしょに作ろう『おひなさま』」 奥田克枝氏（折り紙愛好者）
成人学級「ぶくらム」	①年間の学習計画についての話し合い②会員による学習「茶道を楽しむ」 ③子どもの遊び場情報のシェアと公開講座準備④会員による体験学習「刺繍を楽しもう」 ⑤子どもへの声かけを考えよう⑥会員による学習 ⑦公開講座「発達に凹凸のある子に寄り添うためにママたちと学ぼう」 進藤美左氏（自閉症スペクトラム診断士） ⑧フィットネスを通じて身体をリフレッシュしよう 八幡美貴氏（ヨガ講師） ⑨女性のための健康づくり栄養講座 片山文氏（明治安田生命保険相互会社新宿支社チーフ・コンシェルジュ） ⑩今年度の冊子の担当割り振り&子どもと一緒にできるボードゲームを楽しもう ⑪暮らしたいって思えるまちって？ 竹中裕子氏（NPO法人ちょうふ子育てネットワーク・ちょこネット理事長） ⑫今年度の学習記録の作成
成人学級「ウエストガーデンきらら」	①学習計画の話し合いと花壇の整備②「夏秋花壇の植え付け作業」③「除草、花がら摘み、補植作業」 ④「館外学習、文化祭についての話し合いと花壇の整備」⑤「駄温鉢のリメイク」 ⑥「文化祭についての話し合い・花柄摘みと切り戻し」 ⑦館外学習「三鷹市花とみどりの広場・クリーンプラザふじみ」 NPO法人花と緑のまち三鷹創造協会 ⑧公開講座「秋の寄せ植えと花壇メンテナンス」 小林あずさ氏（フラワーデザイン講師） ⑨「花苗の植付けと文化祭の反省」⑩「冬春花壇の植付け」 ⑪「お正月飾りを作る」 小林あずさ氏（フラワーデザイン講師） ⑫「花壇のメンテナンス」⑬「花壇のメンテナンスと話し合い」 ⑭公開講座「ぷっくりかわいい多肉植物の寄せ植え」 谷村伴子氏（コミュニティーガーデンアドバイザー） ⑮「花壇メンテナンスとバイオネットについての学習」

事業名	内容及び講師
成人学級 「いのちの楽校」	<p>⑩「年間学習記録と来年度に向けての話し合い」</p> <p>①年間計画の検討と作成</p> <p>②身近な自然を知る 多摩川自然情報館で自然観察を学ぶ 石川和宏氏（多摩川自然情報館解説員）</p> <p>③日常生活での健康維持 春山文子氏（実践女子大学名誉教授）</p> <p>④調布市の防災対策全般について学ぶ 調布市総合防災安全課職員</p> <p>⑤要支援者のための地域の助け合いを考える 調布市福祉総務課職員ほか</p> <p>⑥館外学習「動植物について学び環境について考える」 多摩動物公園解説員</p> <p>⑦公開講座「家族を助けるための防災講座～災害時に生きる知恵」 長田香氏（防災士）</p> <p>⑧公開講座「自分ごととして考えてみませんか～在宅介護の現状とこれから」 小竹雅子氏（市民福祉情報オフィス・ハスカップ主宰）</p> <p>⑨社会的孤立を考える 坂本祐樹氏（調布市社会福祉協議会地域福祉コーディネーター）</p> <p>⑩地震のメカニズムから発生後のための備蓄や行動について 林中亜貴子氏（明治安田生命保険相互会社新宿支社コンシェルジュ）</p> <p>⑪みんなで歌を楽しもう、今年度の振り返りと今後を話し合う</p> <p>⑫今年度の学習記録の作成</p>
コンサート	<p>「解説付きロビーコンサート『歌のよろこび ささまざまな想いをメロディーにのせて』」</p> <p>解説：小澤由佳氏（日本大学講師，音楽学者） 演奏：押見友花氏（ソプラノ） 原久美子氏（ピアノ）</p>
平和フェスティバル	<p>①「平和への祈り 魂の歴史家アレクシエーヴィチからのメッセージ」</p> <p>講演：沼野恭子氏（東京外国語大学教授） 演奏：ニュー・グロリア・スウィング・オーケストラ（西部公民館登録団体）</p> <p>②「音楽とブックトーク『絵本と音楽で平和を願うひととき～通い合う心が奏でる平和のハーモニー～』」 山花郁子氏（児童文学作家） 且田泰代氏（ピアノ奏者）</p> <p>③「写真と3Dモデルから探る 沖縄の戦争遺跡」</p> <p>中田均氏（元都立高校教師）</p>
○高齢者教育	
シニア講座 (全3回)	<p>「もっと知りたい調布の魅力～多摩川の自然，福祉作業所，水木しげるさんの眠る覚證寺～」</p> <p>①もっと知ろう～身近な自然や生きものたち～ 石川和宏氏（多摩川自然情報館解説員）</p> <p>②おいしい楽しい個性いろいろ～調布の福祉作業所～ 大澤宏章氏（NPO法人羽ばたく会 めじろ作業所施設長）</p> <p>③生誕100周年 水木しげるさんの眠る覚證寺を訪ねよう 細川真彦氏（覚證寺住職）</p>
シニア健康講座 (全3回)	<p>「自分のカラダは自分で守る～健康なカラダづくりのための体操を学ぼう」</p> <p>①簡単ストレッチと筋力アップ運動②身体の血行を良くしよう③からだをリラックス</p> <p>山川容子氏（健康運動指導士）</p>
歴史散歩	<p>「春を探しに～深大寺歴史散歩」</p> <p>長瀬出氏（調布市郷土博物館学芸員）</p>
○家庭教育	
家庭教育講座 I	<p>「スマホを持つ子どもをネット世界の危険から守ろう」</p> <p>鈴木伸子氏（市消費生活相談員）</p>
家庭教育講座 II	<p>「お話と実技で学ぶ『子どもの心とからだを育む運動あそび』」</p> <p>石沢順子氏（白百合女子大学准教授）</p>
子育てセミナー (全15回)	<p>「仲間と出会い，子どもと自分を育てよう」</p> <p>①まずはお互いに知り合おう②市の子育て支援を知ろう 調布市子ども政策課職員</p> <p>③子どもの権利ってなに？ 梶原政子氏（元幼稚園園長）</p> <p>④日常の子育てを見つめ直そう 梶原政子氏（元幼稚園園長）</p> <p>⑤つながるということ 進藤美左氏（たんぼぼの会代表）</p> <p>⑥話し合い⑦戦争のない平和な時代を 山崎瑞江氏（たんぼぼ文庫代表）</p> <p>⑧話し合い⑨手作り絵本を楽しもう 塩山さおり氏（絵本と童話の会会員）</p>

事業名	内容及び講師
	⑩働くということ 青山富美江氏 (おたすけママ代表) ⑪ハンドベル音楽でつながろう ハンドベルデュオ・ベリーラブ ⑫話し合い⑬子どもの学習支援に関わって 西牧たかね氏 (調布市子ども・若者総合支援事業 (ここあ) 学習コーディネーター) ⑭感想文を持ち寄ろう ⑮自主企画「プラバン作りと親子リトミック」
○国際理解教育	
国際理解講座 (全2回)	「ウクライナの歴史と社会を知る」 ①ソ連の民族政策とウクライナ国家②クリミア編入以後のロシア・ウクライナ関係 鈴木義一氏 (東京外国語大学教授)
○展示会	
ロビー展	「美楽の味楽展」水彩画サークル「美楽」ロビー展 水彩画11点 出展：美楽 (西部公民館登録団体) 短歌で綴る「心の風景」 短歌10点 出展：短歌スケッチ (西部公民館登録団体) 「墨で描く心の風景」 水彩画26点 出展：西雅会 (西部公民館登録団体) 「平和を考える絵本展」 絵本24点の展示 「ねん土で作るボックスティッシュカバー」作品展示 令和4年7月30日、8月6日開催の体験教室参加者の作品16点を展示 「パラアート展2022 at西部公民館」 調布市パラアート展2022に出品されたアート作品26点の展示 「春を呼ぶ雛祭り手作り展」 吊るし雛や折り紙など市民が制作した作品15点を展示 「鹿島学園高等学校調布キャンパスイラストゼミの作品ロビー展」 高校生のイラスト作品11点を展示 「写真と3Dモデルから探る 沖縄の戦争遺跡」 写真と説明文29点の展示 出展：中田均氏 (元都立高校教師)
地域連携展示	郷土博物館巡回展「国史跡下布田遺跡と深大寺城跡にってみよう」 パネル, 写真, 説明文48点の展示 出展：調布市郷土博物館
出張展示 I	「ピースメッセンジャー・ピースメッセンジャージュニア メッセージボード巡回展」 出展：調布市文化生涯学習課
○連携事業	
地域連携事業 講演会	「遺跡調査から見た調布市～西部地域を中心に」 調布市郷土博物館学芸員
東京都共催事業	「シニアのためのスマートフォン講習会」 東京都委託スマートフォン専門講師 「シニアのためのスマートフォン相談会」 東京都委託スマートフォン専門アドバイザー 「シニアのためのスマートフォン体験会」 東京都派遣のスマートフォン専門講師 「シニアのためのスマートフォン相談会」 東京都委託によるスマートフォン専門アドバイザー

事業名	内容及び講師
○団体支援	
体験教室Ⅰ (全2回)	体験教室「小倉百人一首の世界 歌人とその時代」 稲留昌利氏(小倉検定協会初代長者) 登録団体「小倉百人一首を楽しむ会」
体験教室Ⅱ	「書道を楽しむひととき『西和会』体験教室」 小川みよ子氏(書道講師)
体験教室Ⅲ	「Let's speak English『やさしい英会話』体験教室」 津曲綾氏(英語講師)
体験教室Ⅳ	「和太鼓って気持ちいい!～子どもも大人もいっしょに体験しませんか～『たま川太鼓』体験教室」 鈴木勝雄氏(たま川太鼓会員)
体験教室Ⅴ	「秋の夜長のおつまみとおかず作り『おやじの厨房』体験教室」 栗谷道代氏(料理研究家)
体験教室Ⅵ	「秋を楽しむ女子会ランチ『クッキングママ』体験教室」 栗谷道代氏(料理研究家)
体験教室Ⅶ	「秋の夜長のおつまみとおかず作り『クッキングパパ』体験教室」 栗谷道代氏(料理研究家)
体験教室Ⅷ	「干支のうさぎを墨で描いてみませんか『西雅会』体験教室」 川崎孝一氏(水墨画講師)

- ★ 今年の漢字 戦
- ★ 流行語大賞 村神様
- ★ 公民館重大ニュース 金 文化祭で去年の約2倍の参加人数に!地域の輪が広がりました
- 銀 あの日、あの時をいつまでも!映像の0.4世紀目 文化祭記録
- 銅 リベンジ成功!関野吉晴講演会2年越し開催!

令和5年度 主催事業

○40周年記念

コンサート	「西部公民館開館40周年 音楽講座スペシャル レクチャーコンサート～チェロに魅せられて」 小澤由佳氏(音楽学者・日本大学講師) 江口心一氏(チェロ) 島田彩乃氏(ピアノ)
西部地域文化祭実行委員会 工作ワーク ショップ (全2回)	「段ボールで不思議なかかしを作ろう」 西部児童館とのコラボによる工作ワークショップ 師井栄治氏(調布美術研究所主宰)
西部地域文化祭実行委員会 トークイベント	開館40周年トークイベント「初代館長 山花郁子さんと語る 西部公民館のこれまでとこれから」 山花郁子氏(西部公民館初代館長)

○青少年教育

親子自然観察会	「親子で自然を楽しもう～いきもの観察と竹のけん玉づくり」 埼玉県自然学習センター自然学習指導員
子ども体験教室Ⅰ	「かがくじっけんで『もくもく』しちやおう」 普通学級の児童対象 小沢洋一氏(仮説実験授業研究会会員) 「かがくじっけんで『もくもく』しちやおう」 特別支援学級・学校の児童生徒対象 小沢洋一氏(仮説実験授業研究会会員)
子ども体験教室Ⅱ (全3回)	「手話にチャレンジしてみよう」 ①「手話ってなに」②「手話であいさつ、自己紹介してみよう」③「手話コーラス『さんぽ』にチャレンジ」 金井富美子氏(手話通訳士)

事業名	内容及び講師
子ども体験教室Ⅲ (全2回)	「沖縄の守り神 シーサーを作ろう」 ①「粘土で形をつくる」②「色付けをする」 孫田純子氏 (粘土講師)
子ども体験教室Ⅳ (全2回)	「かがくじっけんで『もくもく』しちゃおう」 小沢洋一氏 (仮説実験授業研究会会員)
子ども体験教室Ⅴ	「すてきな春の和菓子を作ってお茶会を楽しもう」 小宮崇氏 (今木屋) 蒼天会 (西部公民館登録団体)
子ども科学教室 (全4回)	「磁石のふしぎ」 ①いろいろな磁石と磁石の性質～極ってなに？②針金磁石を作る～磁石はどうして決まった方向を向いて止まるのかな？ ③磁石が北と南を向くのはなぜか～やじろべえ方位磁針を作る④鉄やニッケルはどうして磁石にくっつくの？～分子磁石のなぞ 平林浩氏 (仮説実験授業研究会会員)
子どもと大人の天文学教室 (全2回)	「星の王子さまの天文レクチャー」 ①西部公民館学習室・館庭②国立天文台三鷹キャンパス 縣秀彦氏 (国立天文台准教授)
○成人教育	
歴史講座 (全3回)	「参謀本部と登戸研究所による対中国謀略 ～アジア太平洋戦争期(1941-1945)を中心に」 ※講師都合により全2回で実施 ①「日中戦争の泥沼化と謀略の始まり」(オンライン受講)②「中国において実施された経済謀略活動」③「通貨戦争-最終手段としての偽札工作」(オンライン受講) 山田朗氏 (明治大学教授)
健康講座	「ズバリ教えます！がんについて知っておきたいこと」 (前半)講演「ズバリ教えます！がんについて知っておきたいこと～知識、予防、情報」 岸田徹氏 (NPO法人がんノート代表理事) (後半)ゲーム感覚で見て学ぶコーナー&質疑応答
環境講座	「地球沸騰化の時代 この危機をどう乗り越えるのか考えよう」 桃井貴子氏 (NPO法人気候ネットワーク東京事務所・所長)
福祉講座	「見えないからできないのではなく、見えなくてもできる3つのこと～盲導犬と暮らして～」 愛沢法子氏 (調布市視覚障害者福祉協会会長)
音楽講座 (全3回)	「雑楽のススメ！フランス音楽の魅力に迫る～フランス人はどんな音楽が好き？」 ①「フランスの音楽の歴史」②「19世紀パリで生まれた音楽」③「近代フランス」と言われる時代 小澤由佳氏 (音楽学者・日本大学講師)
文学講座 (全2回)	「脳トレにもなる言葉遊び～回文『たけやぶやけた』を作ってみよう」 ①誰でもできる回文づくり～まさかさかさ？②もっともっと言葉遊び～すもももももものうち ながたみかこ氏 (言葉遊び作家)
コミュニティーカレッジ (全3回)	「平和はつくれるか～世界と足元を見つめて」 ①パレスチナ最終戦争から見る～世界の今 西谷修氏 (東京外国語大学名誉教授) ②平和は本当につくれるのか～憲法9条と日米同盟 伊勢崎賢治氏 (東京外国語大学名誉教授) ③心の居場所から平和へ～対話の可能性 松浦幸子氏 (NPO法人クッキングハウス会代表)
美術史講座 (全2回)	「スペイン・ポルトガルの世界遺産をめぐる旅」 ①アルタミラからアルハンブラへ②大航海時代からガウディの時代へ 久米順子氏 (東京外国語大学准教授)
市民企画	「『調布野の花めぐり』の横山先生が語る 植物のこと 平和のこと」 横山譲二氏 (牧野植物同好会会員)
世界の料理教室	「甘辛酸っぱいが魅力のタイ料理をつくろう」 シースリン・ソムポーンティップ氏 (タイ料理店店主)

事業名	内容及び講師
体験教室Ⅰ	「繭玉から作ってみよう～『まゆの花』」 吉田京子氏（フラワーデザイン協会繭花講師）
体験教室Ⅱ	「初夏の和菓子3種～バラとあじさいと青楓を作ろう」 小宮崇氏（今木屋）
体験教室Ⅲ	「手づくりを楽しむひととき モミの香りのクリスマスリース」 小林あずさ氏（フラワーデザイン講師）
成人学級 「ウエスト ガーデンきら ら」	①「夏秋花壇に向けて」②「花壇のメンテナンス」 ③「農園見学とラベンダースティック作り」 関森道子氏（農産物生産者） ④「花壇のメンテナンスと話し合い」⑤「花壇のメンテナンスと種の袋詰め」 ⑥「文化祭の作業計画と缶フラワーづくり」⑦公開講座「ドライフラワーの缶詰め」クラフト体験 ⑧「冬春花壇植え付け、ブーケ作成」 ⑨「クリスマスリース制作」 小林あずさ氏（フラワーデザイン講師） ⑩「花壇のメンテナンス」⑪「花壇のメンテナンスと看板製作」 ⑫花壇のメンテナンスと話し合い ⑬館外学習「江戸東京たても園と水再生センター見学」
成人学級 「いのちの楽 校」	①「地域で働く喜びと難しさについての話し合い」 ②「暮らしの中での健康法」 石本工氏（スポーツインストラクター） ③「関森農園見学」 関森道子氏（農産物生産者） ④「地域の農業について知ろう」 関森正義氏（農産物生産者） ⑤「地域の子どもたちの学習支援について」 坂本祐樹氏（調布市子ども・若者総合支援事業ここあ） ⑥「介護を文化に～『介護ラボしゅう』のチャレンジを聞く」 中浜崇之氏（介護ラボしゅう代表） ⑦公開講座「災害から家族を守る知恵～煙体験もしよう」 長田香氏（防災士、看護師） ⑧「ジェンダーギャップを考える」⑨「音楽の楽しみ～トーンチャイムにチャレンジ」 ⑩館外学習「江戸東京たても園と水再生センター見学」
成人学級 「まるふおー と」	①「今後の予定について話し合い」 ②「家庭でできるお灸、つぼについて学ぼう」 内田安美氏（鍼灸師） ③「館外学習についての話し合い」④公開講座「家族写真の撮り方講座」 市川毅氏（写真家） ⑤「子どもの遊び、おもちゃについての学習」 ⑥公開講座「保護者と暮らせない子どもの生活～あなたも里親について知ってみませんか」 多摩フォスター ング機関職員、里親当事者 ⑦「簡単クリスマスパーティーメニューを作ろう」 ⑧「小児科医と考える子どものあれこれ」 井上史也氏（小児科医） ⑨館外学習「子どもの遊び施設見学 ASBOON」
平和フェス ティバル	講演と音楽のひとつ「平和はつくれるか 『紛争解決請負人』と言われた伊勢崎賢治氏に聞こう」 伊勢崎賢治氏（東京外国語大学名誉教授） 市立第五中学校ボランティアダンス部 飯吉真子氏（ヴァイオリン演奏者）ほか
○高齢者教育	
シニア健康講 座 (全3回)	「楽しくストレッチ～セルフケアのコツ」 ①「ストレッチの基本」②「ツボを意識してストレッチ」③「曲に合わせてストレッチ」 山川容子氏（健康運動指導士）
シニア講座 (全2回)	「もっと知りたい調布の魅力～新たなチャレンジをしている2人に聞こう」 ①介護を文化に「介護ラボしゅう」のチャレンジ 中浜崇之氏（株式会社Salud代表取締役） ②安心して話せる、つながる居場所を「ふふ富士見」 宍戸美穂氏（ふふ富士見代表）
歴史散歩	「ノスタルジーを探しに～東京下町谷中界隈めぐり」 中澤伸弘氏（都立高校国語科教員・國學院大学兼任講師）

事業名	内容及び講師
○家庭教育	
家庭教育講座Ⅰ (全2回)	「アロマテラピーとツボ押しで自分も家族もリフレッシュ」 ①「アロマの基本とマッサージオイル・アロマスプレー作り」 小俣千春氏(AEAJアロマテラピーインストラクター) ②「自分にも子どもにも！自宅のできるセルフケアのツボ」 山川容子氏(針灸師)
家庭教育講座Ⅱ	「子どもが自分の物語をつくっていくために 悩みながら見守る知恵」 松尾直博氏(東京学芸大学教育学部教授)
子育てセミナー (全15回)	①「まずはお互いに知り合おう」②「市の子育て支援を知ろう」 調布市子ども政策課職員 ③「子どもの権利ってなに？」 梶原政子氏(元幼稚園園長) ④「日常の子育てを見つめ直そう」 梶原政子氏(元幼稚園園長) ⑤「つながるということ」 進藤美左氏(自閉症スペクトラム診断士) ⑥「話し合い」⑦「戦争のない平和な時代を」 山崎瑞江氏(たんぼぼ文庫代表) ⑧話し合い(台風で中止)⑨「手作り絵本の魅力」 塩山さおり氏(絵本と童話の会会員) ⑩「働くということ」 青山富美江氏(おたすけママ代表) ⑪「世界を広げる・世界が広がる」 西牧たかね氏(調布市子ども・若者支援総合事業学習コーディネーター) ⑫話し合い⑬「ハンドベル音楽でつながろう」 ハンドベルデュオ・ペリーラブ ⑭「感想文を持ち寄ろう」⑮自主企画「話し合いとクリスマスリース作り」
○国際理解教育	
国際理解講座 (全2回)	「中国新時代 コロナ後の動向と日本との関係」 ①「コロナ後の中国経済」②「コロナ後の中国の若者たち」 阿古智子氏(東京大学大学院教授)
○展示会	
ロビー展	「やさしさを届ける～まゆの花～」 蘭花18点の展示 吉田京子氏(フラワーデザイン協会蘭玉講師)
	「美楽～一人ひとり展」 水彩画サークル「美楽」ロビー展 水彩画20点の展示 出展：美楽(西部公民館登録団体)
	「墨で描く心の風景」 墨絵作品20点の展示 出展：西雅会(西部公民館登録団体)
	「身近な四季を絵手紙に託して」 絵手紙62点の展示 出展：彩の会(西部公民館利用団体)
	「横山譲二 調布野の花写真展」 写真100点と解説文の展示 出展：横山譲二氏(元中学校理科教師)
	「娘と母の刻She know.& 緒方ゆかり 2人展」 イラスト作品とクラフト作品など30点 出展：緒方ゆかり氏(西部公民館利用者) 緒方詩乃氏(イラストレーター)
	「四季の楽しみを折り紙に込めて」 出展：奥田克枝氏(折り紙愛好者)
	「NPO法人調布心身障害児・者親の会びいす作品展」 出展：NPO法人調布心身障害児・者親の会びいす
	「世界にひとつの手作り絵本展～西部公民館から始まりました」 出展：絵本と童話の会
	「楽しく学ぶ、正しい文字～三小習字教室作品展」 小学生から大人までの書道作品20点 出展：三小習字教室
	調布市郷土博物館共催事業「中川平一作品展～西部地域の風景を中心に」 中川平一氏の作品32点を展示 出展：中川平一氏、調布市郷土博物館

事業名	内容及び講師
	「世界にひとつの手作り絵本展～西部公民館から始めました」 出展：絵本と童話の会
	「段ボールで不思議な『かかし』を作りました」 西部地域文化祭実行委員会事業 工作ワークショップ
	絵ンジェルの会作品展 出展：絵ンジェルの会（西部公民館登録団体）
	鹿島学園高等学校調布キャンパス イラストゼミ作品展 出展：鹿島学園高等学校調布キャンパス イラストゼミ
○連携事業	
東京都共催事業	「シニアのためのスマートフォン体験会」 東京都委託によるスマートフォン専門講師
	「シニアのためのスマートフォン相談会」 東京都委託によるスマートフォン専門アドバイザー
	「シニアのためのスマートフォン体験会」 東京都委託によるスマートフォン専門講師
	「シニアのためのスマートフォン相談会」 東京都委託によるスマートフォン専門アドバイザー
○団体支援	
サークル体験Ⅰ (全2回)	「描けたら楽しい～初めての水彩画『美楽』体験教室」 師井栄治氏（調布美術研究所主宰）
サークル体験Ⅱ (全2回)	「癒しの音色～ウクレレを奏でてみませんか『ノアレア』体験教室」 吉田健二氏（ウクレレ講師）
サークル体験Ⅲ (全2回)	「声を出すって気持ちいい！声トレ・のどトレ・歌トレしませんか？『西部ボイストレーニング』体験教室」 玉澤明人氏（ボイストレーナー）
サークル体験Ⅳ (全2回)	「初心者も一緒に 小倉百人一首体験『小倉百人一首を楽しむ会』体験教室」 小倉百人一首を楽しむ会（西部公民館登録団体）
サークル体験Ⅴ	「大人も子どもも一緒に！イチから始める囲碁体験『宮の下囲碁同好会』体験教室」 宮の下囲碁同好会（西部公民館登録団体）
サークル体験Ⅵ	「秋のイタリアンランチ『クッキングママ』体験教室」 粟谷道代氏(料理研究家)
サークル体験Ⅶ	「今夜のおつまみは？『おやじの厨房』体験教室」 粟谷道代氏(料理研究家)
サークル体験Ⅷ	「心の風景を短歌で描いてみませんか『短歌スケッチ』体験教室」 三原由紀子氏（歌人）
サークル体験Ⅸ	「かぎ針で編む 冬のリバーシブルニット帽『手編みサークルRAM』体験教室」 三上早苗氏（手編み講師）

- ★ 今年の漢字 税
- ★ 流行語大賞 アレ（A. R. E.）
- ★ 公民館重大ニュース 金 「動かなければ出会わない、話さなければ広がらない、聞かなければ深まらない」
(初代館長山花さんの記念トークより)

銀40周年セレモニー大盛況。次の時代へGO！

銅 誰でもトイレがパワーアップ。オストメイトも付きました。

家庭教育講座

子育てセミナー『仲間と出会い、子どもと自分を育てよう』(全15回)

第67回文部科学省優良公民館表彰をいただきました。

幼い子どもを育てている母親を対象に、子どもの人権、平和、社会とのつながりなどをテーマに、先輩女性の話をもとに互いに学びあう講座を保育付きで行いました。参加者からは「今までどれだけ狭い世界で生きてきたのかを知りました。新しい世界に触れて少しだけ成長できた気がします。」「引っ越してきて知り合いもなく子育てしていたけれど、地域に仲間ができてうれしい。」などの感想がありました。講座終了後に毎年自主サークルが誕生したことは大きな成果でした。子どもたちの成長を保育者とともに喜び合えたことも貴重でした。

地域で子育てをする保護者のために、今後も新たな形で企画していきます。

調布市西部公民館 子育てセミナー2023 全15回・保育あり

育休中でも、楽しく子育てしたいあなたに…

仲間と出会い、

子どもと自分を育てよう

第67回文部科学省優良公民館表彰を受けた講座です。

育児や家事に追われる毎日、子どもと離れて話をしたいと思ったことはありませんか？「回数は長いし、難しいテーマだと思ったけれど、だんだん休みたくなかった」という声が毎年聞かれています。保育を必要としないママも歓迎です。参加をお待ちしています。

子育てと自分の生き方を見つめ直してみませんか？
毎回金曜の午前、保育付き講座です。

【日程と内容】

①	6月2日(金)	まずはお互いに知り合おう
②	6月9日	市の子育て支援を知ろう 市子ども政策課
③	16日	子どもの権利ってなに？ 梶原政子さん(元幼稚園園長)
④	23日	日常の子育てを見つめ直そう (同上)
⑤	30日	つながるといふこと 進藤美左さん(自閉症スペクトラム支援士)
⑥	7月7日	話し合い
⑦	14日	戦争のない平和な時代を 山崎瑞江さん(たんぼぼ文庫)
⑧	9月8日	話し合い
⑨	15日	手作り絵本の魅力 塩山さおりさん(絵本と童話の会)
⑩	22日	働くということ 青山富美江さん(おたすけママ)
⑪	29日	世界が広がる・世界を広げる 西牧たかねさん(市子ども・若者支援事業ここあ学習コーディネーター)
⑫	10月6日	話し合い
⑬	13日	ハンドベル音楽でつながろう ハンドベルデュオ・ペリーラブ
⑭	20日	感想文を持ち寄ろう
⑮	11月10日	自主企画

時間 午前10時～正午(毎回金曜) 定員 申込み順15人 費用 無料

対象 子育て中の方(1歳未満のお子さんは同伴でご参加ください。)



保育あり 1歳以上就学前まで10人 ※おやつ代は15回分600円
 (保育料エンタージョン: 5月26日(金)午前10時から親子で要出席)

申込み 4月21日(金)午前9時から 電話またはメールで受け付け
 Eメール: seibuk@city.chofu.lg.jp



調布市西部公民館 〒182-0035 調布市上石原3-21-6 ☎ 042-484-2531

子どもたちが、豊かな人生を創っていくことを願って

子ども科学教室講師 平林 浩

調布市西部公民館での科学教室で授業をやるようになって、もう何年になるでしょうか。ずいぶん長いことやってきていますが、毎年たのしいです。

20人ほどの子どもたちが、毎年授業をたのしんでいるのを全身で感じるからです。新しいことを知り、それまで考えたこともなかったことも考えられるようになり、新しい世界がひらけていくのをたのしんでいるのが、よくわかります。

「授業で先生から教わる」とよく言います。そういうこともあるでしょう。でもほんとうは先生がみんなに示した《問題》から教わるのです。《問題》の実験の結果がどうなるか考え、予想をたてる。みんながどんな予想をたてたか出し合う。ほかの人たちはどんなふうに考えているか、考えを出しあっていくと、さらに考えが進んでいきます。

予想したことがほんとうかどうかは、実験が教えてくれます。自分の予想が実験の結果とちがっているか、それとも合っているか、ハラハラ、ドキドキします。そして実験の結果が予想どおりだと嬉しい。予想どおりでないと、「そうか、ちがっていたか、なぜだろう」と考えます。当たっても外れても心が動き、やる気になります。心がはげしく動き、感動して、知っていきます。

考えること、知ることはたのしいって思えるようになるのです。

だから、先生から教わるのではなく、《問題》や授業をいっしょにやる人から教わっているのです。先生はみんながそうやって楽しく授業ができるよう、いちばん良い《問題》を作ったり、分かりやすい実験を用意するのが大切なだとわたしは思っています。

一生、学ぶことをたのしんでいきたいです。

子どもたちが、公民館での授業でやったことを少しでも身につけて、豊かな人生を送って、いや「創って」くれることを願っています。



開館 40 周年に寄せて

忘れがたき「音楽のふるさと」 ～感謝を込めて～

音楽講座講師 小澤 由佳

「兎追いし彼の山 小鮒釣りし彼の川 夢は今も巡りて 忘れがたき故郷」

皆様ご存知の唱歌「故郷（ふるさと）」の1番の歌詞です。

2013 年から 10 年以上担当させて頂いている西部公民館の夏の音楽講座は、「クラシック音楽を少しでも身近に」をテーマに始めた講座です。「音楽解説講座」は、今では珍しいものではありませんが、10 年前には少なかったかと思います。

毎年、必ず6月になると公民館から「小澤さん、今年は何をやりましょうか？」というメッセージが届き、私は「ああ、今年もその季節が来たな」と感じると同時に、受講生さんたちの顔を思い出し、「〇〇さんはお元気かしら？」「今年は何を話そうかしら？」とソワソワし、一年ぶりの登壇に胸が高鳴ります。ここ数年は、演奏家さんを招聘しての「解説付きロビーコンサート」も定番となり、皆さんのおかげで「人気講座」と言われるまでになりました。そして「いつか演奏家さんと並んでステージに立ち、解説を入れたコンサートを作りたい」というのが私の夢でした。それを叶えてくれた場所が西部公民館であり、私にとって公民館は育ててくれた「音楽の家」であり、出会った受講生さんたちに育てて頂いたと心から感謝しております。

「夢は今も巡りて 忘れ難き故郷」…西部公民館は私の「音楽のふるさと」です、

2023 年 11 月には 40 周年を記念して調布市グリーンホール（小ホール）で、調布市出身の人気チェリストの江口心一さんをお招きしてのコンサートも実現し、大盛況となりました。

ところで、「故郷（ふるさと）」の3番は、「志を果たして いつの日にか帰らむ」という歌詞ではじまります、公民館は、私の音楽活動の原点。これからも、私は西部公民館の講座にきっと「帰る」と思います。このような想いを抱ける場所との出会いがあることは幸せです。

西部公民館にいつまでも音楽が鳴り響きますように祈りを込めて。



コロナ禍の公民館を振り返って

令和2年初頭より猛威を振るった新型コロナウイルス感染症について、公民館では市の感染拡大防止ガイドラインに沿って、感染防止に努めました。自主事業の中止から貸館事業の中止、さらに公民館の閉館と続き、その間はサークルさんも活動を自主的に中止されました。

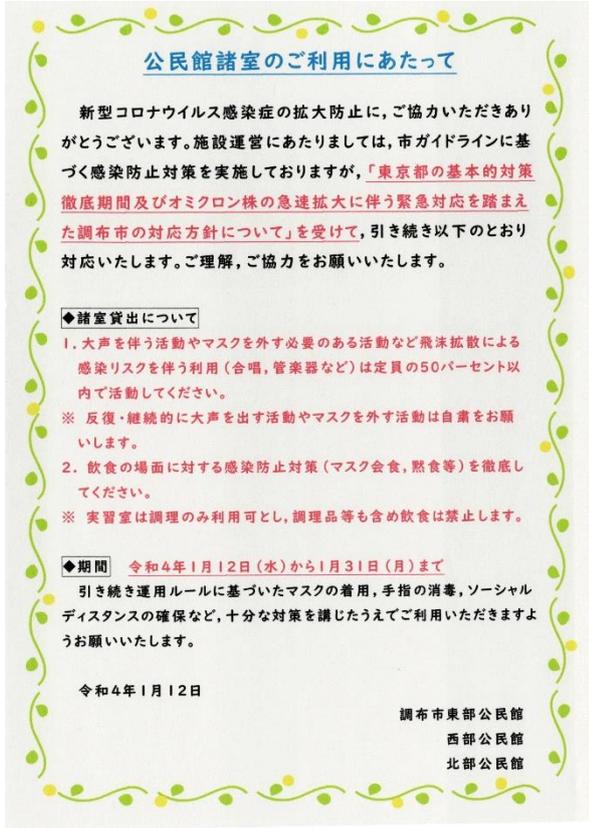
その後、活動人数や時間の制限などの段階を経るとともに、利用者の皆さんをはじめ市民の皆さんのご理解ご協力をいただき、感染防止対策（検温、手指消毒、換気、マスク着用等）を徹底し、事業や活動が再開されました。

- ・ 令和2年2/26～ 主催事業中止
- ・ 3/28 貸館事業と主催事業中止，閉館時間繰上げ
- ・ 6/2 定員の50%で開館，調理室音楽練習室等使用不可
- ・ 6/20～ 調理室使用再開
- ・ 11/10～ 定員100%に。ただし感染リスクが高い利用は50%

- ・ 令和3年1/9～3/21 緊急事態宣言により夜間貸し出し休止，諸室50%
- ・ 3/23～ 緊急事態宣言解除 諸室50%以内
- ・ 4/12～5/11 まん延防止等重点措置に基づき夜間区分新規受付停止
- ・ 4/25～5/11 緊急事態宣言に基づき主催事業および貸館を中止
- ・ 5/12～5/31 緊急事態宣言延長に基づき夜間区分の使用停止，全区分調理室調理不可，定員50%
- ・ 6/1～6/20 緊急事態宣言再延長に基づき諸室50%，夜間20時まで，全日調理不可
- ・ 6/21～7/11 まん延防止等重点措置 諸室50%，夜間20時まで，実習室夜間使用停止
- ・ 7/12～8/22 緊急事態宣言 同上
- ・ 8/23～8/31 緊急事態宣言延長 諸室50%，夜間20時まで
- ・ 9/1～9/12 緊急事態宣言再延長 同上
- ・ 9/14～9/30 緊急事態宣言再々延長 諸室50%，夜間20時まで，調理とマスクを外す活動不可，主催事業中止
- ・ 10/1～10/24 リバウンド防止措置期間につき合唱やマスクを外す活動50%，マスク会食黙食
- ・ 10/25～11/30 基本的対策徹底期間

- ・ 令和4年1/12～都の基本的対策徹底およびオミクロン緊急対策期間 合唱管楽器50%，マスク会食黙食
- ・ 1/21～2/13 まん延防止等重点措置 大声管楽器活動自粛，その他50%以内実習室飲食禁止，夜間21時まで
- ・ 2/14～3/8 まん延防止等重点措置延長
- ・ 3/7～3/21 まん延防止等重点措置再延長
- ・ 3/22～4/24 リバウンド警戒期間 大声系50% マスク会食黙食
- ・ 4/25～5/22 リバウンド警戒期間延長
- ・ 5/23～ リバウンド警戒期間後の調布市の対応方針について 大声系50%，マスク会食黙食
- ・ 7/12～ 感染者数が1万人を超えたが，8月に減少傾向に転じた。

- 11/28～ 調布市の感染拡大防止の対応方針について 大声系50%, マス会食黙食
- 令和5年1月～ 感染者数が減少
- 3/13～ マスクの着用は自己判断に
- 5/8 新型コロナが、季節性インフルエンザ並みの5類に移行



【公民館告知用ポスター】

【感染拡大防止チェックリスト】

●主催講座について

事業を再開した当初は、3密（密閉，密集，密接），を避けることを前提に，定員を減らし，人との距離を取って座席を配置したり，アクリル板などで遮蔽したりしながら開催しました。さらに自宅にいても参加できるようにオンラインセミナーを実施しました。そうした講座への参加をきっかけにオンラインセミナーができるようになったという市民の方の声も聞かれました。コロナ禍がオンラインへの一歩を踏み出すきっかけになりました。その一方で対面での講座で講師と直接やり取りする良さを再確認したという意見もありました。子育て中の母親たちからは親子で参加できる事業や施設がなく，公民館の講座への参加はワラをもすがる思いだったという声もありました。

●登録団体のサークル活動について

閉館を経て、公民館の利用が再開した際には、会員の方たちには会場の利用人数の制限や検温、手指消毒の徹底などをお願いしました。自主的に休む方もいたものの、感染予防に努めながら活動を続けたいというサークルが大半でした。自宅でこもり続けることで孤立感を味わったという方も多く、人と関わるのが生活の中でいかに大切かを実感したという声を多く聞きました。とはいえ、合唱やダンス、料理など感染リスクが高い活動については休みにせざるを得ない期間もありました。自宅で個人練習をしたり、リモートで合唱練習をしたりしたサークルもあり、各サークルが努力と工夫をしながらこの時期を過ごしていました。

●施設予約について

毎月原則6日に、施設使用を希望する団体が集まって行っていた施設予約申請については、3密を避けるため、郵送またはポストへの投函など事前申請の方法に変更しました。

●地域文化祭について

公民館と実行委員会の方針として、感染リスクのある活動は行わず、令和2年度は展示を中心に実施しましたが、次年度からはくつろぎコンサート、体験教室、お茶会、料理発表を順次復活させていきました。コンサートでは大きな拍手に包まれ、令和5年度に4年ぶりに行った料理発表では久しぶりに腕を振るったサークルの料理にご好評をいただきました。

実行委員会では、何をどのように行うか何度も議論を重ねました。各年度の地域文化祭は、実行委員をはじめ利用者の皆さんの「コロナ禍に負けない」という願いが込められて開催されました。

【テーマ】

令和2年度「変わる世に 変わらぬ絆 公民館」

展示中心、体験教室は初の試みとしてリモート中継を実施

令和3年度「文化の灯、守り続ける西部の絆」

くつろぎコンサートが復活

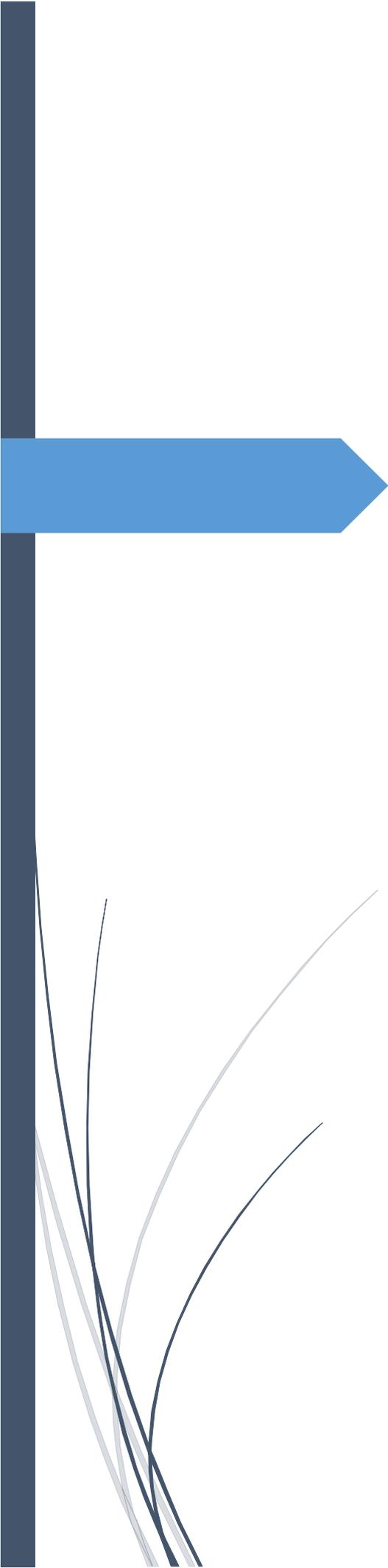
令和4年度「平和の祈り 文化の翼にのせて」

料理サークルの体験教室、お茶会が復活

令和5年度「開館40周年！文化でつなごう笑顔の輪」

4年ぶりに料理発表を実施

※コロナ禍においての市民の皆様のご理解ご協力に改めて感謝いたします。



つながり

- ・学級と登録団体の紹介
- ・西部公民館利用団体連絡会の活動紹介
- ・公民館川柳

学級・登録団体の紹介

学 級			
No	学 級 名	内 容	活 動 日
1	いのちの楽校	いのち防災環境	毎月 第3(木) 10:00~12:00
2	ウエストガーデンきらら	ガーデニング・環境	毎月 第4(金) 10:00~12:00
3	まるふおーと	子育て	毎月 第3(土) 10:00~12:00

利用団体			
No	団 体 名	内 容	活 動 日
1	エアロビクス・ダンシング	エアロビクス	毎週 (水) 9:30~10:40
2	絵ンジェルの会	絵画(デッサン)	毎月 第1・3(木) 14:00~16:00
3	小倉百人一首を楽しむ会	百人一首カルタ	毎月 第2・4(水) 13:30~16:30
4	おやじの厨房	料理	毎月 第3(土) 9:30~12:30
5	クッキングパパ	料理	毎月 第1(土) 10:00~13:00
6	クッキングママ	料理	毎月第3(木)14:00~/18:00~(2部制)
7	コール・ルピナス	発声法と合唱	毎月 第1・3(火) 13:30~15:30
8	コーロ・ゼッフィロ	混声合唱	毎週(金)または(土) 10:00~12:00
9	西雅会	水墨画	毎週 (水) 10:00~12:00
10	西部ボイストレーニング	ボイストレーニング	毎月 第2・4(火) 17:00~18:30
11	西部慢慢児の会	健康太極拳	毎週 (木) 10:00~11:30
12	西和会	書道一般	毎月 第2・4(火) 14:00~16:00
13	蒼天会	茶道	毎月 第1・3(水) 10:00~12:00
14	箏友会	箏	毎月 第1・3(水) 13:00~15:30
15	陽光寿 琴の会 「花水木」	大正琴	毎月 第2・4(水) 13:00~16:00
16	たま川太鼓	和太鼓	毎月 第1・3(日) 13:00~16:00
17	短歌スケッチ	短歌	毎月 第3(火) 14:00~16:00
18	調布狛江合唱団	混声合唱・和太鼓	毎 週(火・木・土 ほか) 18:00~20:30
19	調布deシャンソン	シャンソン	毎月 第1・3(木) 13:30~15:30
20	調布ドキュメンタリー映画くらぶ	映画鑑賞	毎月 第4(木) 13:30~16:30
21	調布ハーモニカサークルふるさと	ハーモニカ	毎月第1・3(火) 17:30~21:00
22	手編みサークル「RAM」	手編み	毎月第2・4(木) 10:00~12:00
23	ニュー・グロリア・スウィング・オーケストラ	ジャズ演奏	毎週(水)第3(日) 19:00~21:00
24	ノアレア	ウクレレ演奏	毎月第2・4(火) 14:00~16:00
25	ハッピーダンス	社交ダンス	毎月 2・4(木) 13:30~15:30
26	ピクルスの会	食の研究	毎月 第2・4(金) 10:00~14:30
27	宮の下囲碁同好会	囲碁	毎週 (日) 13:00~16:00
28	美楽	絵画	毎月 第2・4(水) 13:00~16:00
29	やさしい英会話	英会話	毎月 第1・3(火) 10:00~12:00
30	ヨガサークル スタート	ヨガ	毎月 第2・4(土) 14:00~15:30
31	レザークラフト「夢工房」	レザークラフト	毎月 第2・4(金) 13:30~16:00
32	わくわく金曜ストレッチ	ストレッチ	毎月第1・2・4(金) 10:00~11:30

【成人学級】

いのちの楽校

・・・・・・・・・・・・・・・・令和4年5月設立
毎月第3木曜午前

どんな学習？

令和4年度の「人と暮らしと地球の健康を考える講座」に参加したメンバーが集まって、健康と防災、環境について楽しく学ぶ「いのちの楽校」をスタートしました。学習会は毎月1回。防災、健康のほか、介護、地域の農業、自然、子どもの学習支援、ジェンダーなど会員の関心をもとに、公開講座も行いながら幅広く学習してきました。話を聞くだけでなく、ていねいに話し合う時間がとても貴重な活動になっています。



コロナ禍の活動

コロナ禍では、講師にはアクリル板の仕切りを使用，ソーシャルディスタンスを確保したり，換気の実行，マスク着用，手指・椅子などの消毒の徹底をしました。重症化リスクのある仲間もいたため，お互いに慎重に配慮しました。また自然と親しむ学習，気持ちを合わせて演奏するトーンチャイムなどは結果的に免疫力を上げることになり，一人でなく皆で学ぶことの楽しさ，大事さを実感することとなりました。

ウエストガーデンきらら

・・・・・・・・・・・・・・・・令和4年5月設立
毎月第4金曜午前

どんな学習？

植物に親しみ，花に囲まれた生活がしたい…そんな思いを持つ仲間が集まり，ガーデニングを楽しみながら，植物の特性や花壇の維持管理について学習しています。



現在12名のメンバーで月ごとの学習テーマを決め，親睦を図りながら活動しています。SDGsを意識した地球環境に優しい循環型花壇を目指して，バイオネスト(腐葉土・堆肥作り)にも挑戦，植物や庭に関する情報交換の場として，充実した相互学習にすることを目標にしています。

花壇作り以外にも，植木鉢のペイント，育てた花を使ったブーケやドライフラワー作り，また外部の講師を招き，季節の植物などの寄せ植え，クリスマスリースやお正月飾り作りなど学習内容は多彩です。

コロナ禍の活動

外での活動が中心なので，影響は少なかったと思いますが，メンバーで「お茶を飲みながら語らう」という楽しみはお預けになりました。コロナ中にも花壇のメンテナンスをすることが癒しの時間にもなりました。

まるふおーと

・・・・・・・・・・・・・・・・令和5年5月設立
毎月第3土曜午前

どんな学習？

令和4年度の子育てセミナーに参加したメンバーで学習グループを作りました。「子育て、母親の人生を良くする」を大きなテーマに掲げ、子どもの健康、食育、子育てなどについて学習や情報交換を行ってきました。公開講座は「家族写真の撮り方講座」と「保護者と暮らせない子どもとの生活～あなたも里親について知ってみませんか」を実施、館外学習にも出かけました。他にメンバー同士で手芸など得意なことを教えあったり、ともに新しいことを学んだりしました。



コロナ禍の活動

働いているメンバーが多いため、保育付きで月1回土曜午前に活動してきました。コロナ禍で出産育児をしてきたため友達を作るのも難しかったので、公民館での活動を通じて地域に信頼できる仲間ができました。悩みを共有したり、子供たちの成長を喜びあったりできるようになり、忙しい中でも話し合いや学習を続けることができたことは貴重なことでした。



まるふおーと公開講座
「里親について知ってみませんか」



いのちの楽校・ウエストガーデンきらら合同
「関森農園見学」



いのちの楽校公開講座
「災害時に家族を守る知恵」



ウエストガーデンきららが手入れしている公民館の花壇

【登録団体】

エアロビクス・ダンシング (エアロビクス)

昭和58年6月設立

毎週水曜日 9:30～10:40

.....

どんなサークル？

エアロビクスサークルも公民館と同じ40周年を迎えました。

40年ずっと、岡崎洋子先生にストレッチとダンスを教えて頂いています。

現在20名の会員が、毎週水曜日の午前中にいい汗かいて運動をしています。日頃の〇〇を笑いで吹き飛ばして、楽しくリフレッシュしています。



コロナ禍の活動

第1学習室を使用していますが、人数も多く密になるので、2部制になりました。何より、マスクをしての運動は息苦しさもあり、それ以上に先生は声を出しながらのレッスンになりますから大変だったと思います。

当たり前の日常が当たり前でなくなるという経験をして、みんなで共有できる楽しい時間があることに感謝しています。

絵ンジェルの会 (デッサン)

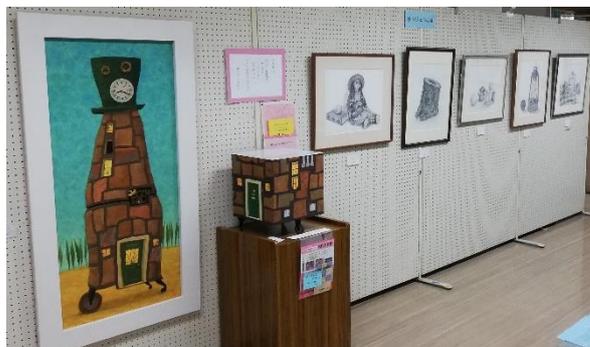
平成17年11月設立

第1・第3木曜日 14:00～16:00

.....

どんなサークル？

普段は、水彩・油彩等、色々な画材で絵を楽しんでいる会員達ですが、やはり「基本はデッサン力」だということで、月2回、講師の川部先生の御指導のもと、鉛筆デッサンを学んでいます。



コロナ禍の活動

コロナ最盛期は完全に活動を休止した期間もありましたが、参加可能な会員だけで自主練習会を再開し、徐々に通常の活動を取り戻しました。

少ない人数でも続けてこられたことが、退会者を一人も出さない結果につながったと思います。



令和4年度地域文化祭正面展示
会員共同で制作しました

小倉百人一首を楽しむ会（小倉百人一首カルタ）

平成11年11月設立

第2・第4水曜日 9:30～10:40

.....

どんなサークル？

月2回、百人一首カルタ取りの練習をしております。競技カルタの様に、取った枚数を競うのではなく、ルールもお手付きのお咎めは無し、取った札の枚数も数えません。また、1対1ではなく、2対2や2対3など、複数的人数でカルタ取りを行っています。専らカルタ取りを楽しむ事を念頭にしているサークルで、例会ではいつも笑顔が絶えません。



コロナ禍の活動

人数制限はありましたが、カルタの読み上げはゲーム機と小型スピーカーを使っていたので、必要最小限の会話以外のお喋りはほとんどなく、コロナ禍でもマスクの着用の上、ほぼ通常通りの例会を行うことができました。ただ、身体に不安のある方は参加できず、出席人数は少なくなりました。

コロナ禍に、当公民館からの感染拡大などがなかったのは本当に良かったと思っております。今後は、共催事業などを実施して参加者を募り、入会された方が例会に楽しく参加されるように工夫を凝らしたいと思います。

おやじの厨房（料理）

平成7年4月設立

毎月第3土曜日 9:30～12:30

.....

どんなサークル？

男性の料理教室です。料理研究家栗谷道代先生のご指導で料理の実習を行い、会員相互の親睦を図っています。毎年秋の西部地域文化祭の喫茶部門に男の手料理で(コロナ禍の3年間を除いて)参加し、多くの市民に好評を得ています。また、8月に暑気払い、1月に新年会を行い、親睦を図っています。



これからの高齢化社会では、料理ができることは生活の基本です。また、地域社会との関わり方も大切です。料理を作りながら楽しい語らいのひとときを一緒に過ごしてみませんか。

コロナ禍の活動

調布市のコロナ感染予防対策に則って、実習室使用可能時は、参加者人数を調整し、料理実習を行い、会食なしでお持ち帰りにした。

普段は話しながらの調理だが、コロナ禍ではできるだけ黙し、会食時も黙食で静かな会であった。今後は、会員の確保(募集)と高齢化対策が課題である

クッキングパパ（料理）

平成8年4月設立

毎月第1土曜日 10:00～13:00

.....

どんなサークル？

公民館主催の男の料理教室からサークルとなり、メンバーの入れ替わりはあるものの、27年間継続して活動してきました。講師の栗谷先生の指導のもと、毎回4品から5品を調理して試食・講評し合っています。先生に同じことを注意されることもしばしばですが、仲間と楽しみながら学んでいます

食事は健康の基本。男にも料理の知識が必要不可欠。先生にさじを投げられない限り、これからも継続していきたいと思っています。



コロナ禍の活動

コロナ禍は実習室の使用ができない期間もあり、やむなく休会の時期もありました。部屋の使用が可能になってからも試食は不可の期間が長く続き、料理は持ち帰り、仲間との語らいができなかったのは大変寂しいものでありました。今年の文化祭から、また以前のように料理発表ができるようになり、今後も美味しい料理を提供できるように頑張りたいと思っています。

クッキングママ（料理）

平成7年4月設立

毎月第3木曜日 14:00～17:00/18:00～21:00

.....

どんなサークル？

発足当時は30代40代の会員が、今はほとんどがお孫さんのいる世代になりましたが、いつも元気の源になる様な活動をしています。

料理を作ることは、頭を使い、上手に工夫する訓練にもなると思っています。

体験教室を重ねて、新規入会者も増え、楽しい活動をしています。特に毎回のメニューは全て新しい物で、ワクワクしながらクッキングしています。



コロナ禍の活動

実習室の入室人数の制限があり、本来は夜間の活動でしたが、昼と夜にメンバーを二組に分けて、先生には2回講義をしてもらいました。

飲食ができなくなり、皆で試食をしながらの感想など、楽しいおしゃべりができず残念でした。

コロナ禍に昼の時間帯の教室を設けた事で、新規入会者が増えました。

コール・ルピナス（合唱）

平成30年7月設立

第1・3火曜日 1:30～3:30

.....

どんなサークル？

発声方法と音取りからの合唱練習に励み、クラシックから日本歌曲、ポップスなど様々な曲に取り組んでいる。講師の岡田彩子先生は、いつもユーモアを交えて指導下さり、笑いの絶えない楽しい雰囲気の中、会員一同懸命に練習している。一昨年11月の練習再開後、新しい会員も加わり、サークル創立以来初めて昨年の文化祭のくつろぎコンサートに出演した。



コロナ禍の活動

声を出さないと活動ができず、活動停止以来、2022年11月実施の「歌ってリフレッシュ～コーラス体験」に至るまで全ての活動を休止していた。体験教室が活動の再開の契機となった。体験教室参加者の中から入会される方が少なからずいたが、それとほぼ同数の以前からの会員が復帰できなかった。22年度中はマスクを着けたまま発声した。新しい会員の積極的な姿勢によりサークルが活性化している。

コーロ・ゼッフィロ（混声合唱）

平成7年年7月設立

毎週土曜日または金曜日

.....

どんなサークル？

「ゼッフィロ」は、「西風の神…春風の使者」の意。西部公民館の『西』に因み、公民館と共に歳を重ね、来年30歳を迎える混声合唱団です。「詩の心を美しいハーモニーで奏でる」を目指し和やかな雰囲気の中、楽しく活動しています。



コロナ禍の活動

2020年2月から18ヶ月続く活動停止。発声を伴う活動は厳しく規制され、通常の活動を取り戻すことができたのは、更に時を経た2022年3月末。団員数は激減。けれど、18ヶ月振りに集まった仲間と、先生方の指揮・ピアノに合わせ、練習会場に再び歌声を響かせた時の感動は、今も熱く胸に蘇ります。コロナ禍で合唱する自由を奪われ、仲間と共に歌えることが、人生のいかに貴重な、大きな喜びであるか、改めて知りました。合唱が禁じられていた時期、オンライン活動の道を開いてくださったのは倉岡先生。タイムラグのため一緒に歌うことは叶わずでしたが、週一回、画面越しに仲間と出会い、ソルフェージュを学びながら音楽の繋がりを継続することができました。

そして今、新しい団員を迎え、新たなゼッフィロの歌声を求め、歌い続けることができています。これからも、コロナ禍で経験した、『当たり前ではない「共に歌える」幸せ』を忘れずに、活動を続けていきたいと思えます。

西雅会（水墨画）

昭和58年12月設立

毎週水曜日 10:00～11:30

.....

どんなサークル？

定例会は第1, 2, 3, 4水曜日, 午前10時から11時30分まで行っています。

5月の公民館ロビー展・市民文化祭出品, 西部地域文化祭参加が発表の場となり, 制作は各自自由作品です。各自描きたいものを持ってきて, 自由に話をし合い, 和気あいあいと活動しています。春のお花見は近隣の公園で楽しく過ごしています。



コロナ禍の活動

コロナ蔓延中にはお休みする会員もいましたが, 公民館が開館している限り, 会として休みにすることはなく, 毎週活動していました。

公民館に来て, 仲間と共に自由に描く時間は, 規制の多いコロナ禍での癒しの時間, そして元気のもらえる時間でした。活動内容が絵の制作なので, 他の団体にくらべ, 困ることが少なかったように思います。

西部ボイストレーニング

平成24年4月設立 (ボイストレーニング)

第2・第4火曜日 17:00～18:30

.....

どんなサークル？

月2回第2, 第4火曜日に活動しています。軽く体操をしてリラックス。ウ・イ・ア・ウンと口を大きく動かしてから, 発声, 音階練習など声を出すための基礎トレーニングをしています。皆で楽しく歌っています。

声を出すのは健康にいい! 喉を鍛えて, 健康寿命を延ばそう。誤嚥防止にもなっています。



コロナ禍の活動

コロナ禍, マスクを着用して活動していたが, 一時休会し, 令和4年4月から再開。会員が減少して存続の危機になったが, 体験教室を実施して会員が増加し継続することができた。皆で歌うことの楽しさを実感している。今後も西部公民館で楽しく続けて行きたい。継続は力!!

西部慢慢児の会（健康太極拳）

平成26年12月設立

毎週木曜日 10:00～11:30

.....

どんなサークル？

慢慢児(まんまる)はゆっくりという意味です。講師の室井昇先生の口癖は「何事もあせらずゆっくり」「技は覚えなくて良い」「上手下手はありません」「人とも比べず自分のペースで」…太極拳は中国古来の武術に端を發しますが、我々の稽古は自由で楽しい雰囲気があります。発足して今年でちょうど10年になります。会員は70歳代が中心ですが、老若男女誰にでも門戸開放しています。会員にはゆっくりリズムの波長が合っているようで、びっくりするほど元気で若々しい、それに転倒予防効果も加わります。「健康太極拳」の名がついている所以です。



コロナ禍の活動

4年前、コロナの不安で世の中に自粛ムードが蔓延。当会も暫くの間、活動を見合わせることにしました。しかし、シルバー世代に必要な日課の散歩もままならず、家に引きこもりがちな生活では運動不足になる。週1回の稽古でも身体を動かすことで日常生活を取り戻したいとの思いも強く、会員の中で早い再開が求められました。マスク着用、一定の距離を保つ、消毒励行を徹底させることで2か月後の6月からの活動が実現しました。その後一人の感染者も出さずに稽古を続けられ、現在に至っています。

西和会（書道）

平成13年4月設立

第2・第4火曜日 14:00～16:00

.....

どんなサークル？

書道一般です。かなを書きたい人、漢字や大きな書体で書きたい人など、自分のやりたい方向へ先生が導いてくださいます。静まりかえってシーンとしているのではなく、話し声も笑い声もあり、楽しい中で練習しています。また、一年に一度の公民館の文化祭が近づくと書きたい書体を選んで成果を發揮できるよう頑張っています。



12月には次の年の干支をハガキに書いて公民館でお披露目しています。

コロナ禍の活動

公民館が閉館しない限りサークル活動は続けました。無理強いせず、来ることができる人だけで、1人～2人で活動する時もありました。コロナ禍の前は、お茶やお菓子なども用意して和気あいあいとしていましたが、全てできず、話もあまりしないようにして何とか乗り切ってきました。今では笑顔も戻り、楽しい2時間を過ごしています。筆を持ったことがない人も、小学校以来50年ぶりという人も、少しでもやってみてほしい人は是非いらしてください。

蒼天会（表千家茶道）

平成30年6月設立

第1・第3水曜日 10:00～12:00

.....

どんなサークル？

表千家の茶の湯を2人の優しい先生から学んでいます。全員が初心者からのスタートでしたが、6年が経過し、お点前もでき、着物も自分で着られるようになりました。

先生方が丁寧に惜しみなくご指導して下さるので、茶道の奥深さに触れてはまる人が続出しています。お稽古中は静粛に、終了後は和気あいあいと過ごしています。

コロナ禍の活動

4か月の活動自粛期間もありましたが、緊急事態宣言明けは活動を再開しました。公民館が定員半分での活動、マスクの着用、飲食は禁止となり、お稽古は前半後半で人数を分け、お点前はエアーで行い、お菓子は持ち帰りなどの工夫をしました。

「慌ただしい毎日の中でもお茶の時間だけはホッと心が安らぐ一時であって欲しい」と、コロナ禍も先生方がお稽古を継続して下さい、そのお陰で文化祭でのお茶会を3年ぶりに開催することができました。先生から教えて頂いた「お客様をおもてなしする気持ち」を少しはお伝えできたかと、お客様の笑顔を見て感じました。今後も『茶の湯の心』を大切に、先生方のご指導のもと、お稽古に精進してまいります。



箏友会（箏）

平成11年設立

第1・第3水曜日 13:00～15:30

.....

どんなサークル？

25年前、公民館主催の箏体験教室（全10回）の参加者で自主サークルになりました。

経験者未経験者さまざまですが、皆で力を合わせ合奏曲を練習しています。

お互い教え合ったりしながら、中西先生のご指導のもと、年一回の地域文化祭でのくつろぎコンサートに欠かす事なく参加しています。

月2回、第1第3水曜日の午後がお稽古日です。皆様のご参加お待ちしております。



コロナ禍の活動

箏の演奏なので、活動自体はコロナの影響も少なく済みました。コロナ中は外出を控えていたので、サークルに来ることが唯一の楽しみでした。マスク生活は苦しかったのですが、皆でサークルの中で発散しました。

陽光寿琴の会「花水木」(大正琴)

平成15年4月設立

第2・第4水曜日 13:00~16:00

.....

どんなサークル?

大正琴(琴伝流)を学ぶグループです。初心者から上級者まで幅広く生涯学習を目指しています。

「楽器を持ったら音楽家」の心意気で幅広いジャンルの曲をアンサンブルで楽しんでいます。「調布市文化祭・大正琴発表会」「西部地域文化祭・くつろぎコンサート」「琴望会・発表会」「西部地域福祉センター・ふれあい祭り」等、各地の発表会、また琴伝流の「全国大会」「東京大会」等に参加出演しています。



コロナ禍の活動

コロナ禍に於いても大正琴は原則的な注意事項をしっかりと守りながら、活動を休むことなく続けてまいりました。発表の機会は縮小しましたが、教室での自主発表を行うなどの工夫をいたしました。西部公民館の大きな協力のお陰だったと思います。コロナ禍では施設訪問などのボランティア活動が出来ませんでした。

たま川太鼓(和太鼓)

平成8年7月設立

第1・第3日曜日 13:00~16:00

.....

どんなサークル?

たま川太鼓では、和太鼓や民舞、玉すだれなどの郷土芸能を練習し、年に数回地域の発表会に出演しています。指導者の鈴木勝雄さんは、調布市を含む全国で指導経験があり、海外演奏も豊富です。

楽しいお話とわきあいあいとしたレッスンで、サークルに温かさがあり、初心者でも自分のペースで楽しめる環境です。



コロナ禍の活動

太鼓や踊りは掛け声も伴い、時には汗をかく運動量があります。コロナ禍でのマスク着用は苦しく不便でしたが、換気などに気を配りながら練習を続けられました。

コロナを経て、定期的に集まり、気兼ねなく話せる仲間と場所の尊さを再認識しました。

短歌スケッチ（短歌）

平成25年3月設立

毎月第3火曜日 14:00～16:00

.....

どんなサークル？

毎月第3火曜日の午後に歌会を開いています。事前に各自二首提出して頂き、全作品を作者名を伏せて一覧にし、先生と会員に返送してコメントを考えておいて頂きます。

当日は一人一首ずつ読み上げてコメントした後、作者が作品の背景や意図を話し、会員と先生とで活発なディスカッションをして、より良い作品に仕上げていきます。先生のご意見に従うというよりは、みんなで考えるという雰囲気です。



コロナ禍の活動

コロナ禍で歌会が開けなかった間、お手紙歌会という形で続けました。郵送やメールで、作品とコメントのやり取りをしたのです。対面ではないので多少のもどかしさはありませんでしたが。最後に「コロナ禍の一年」という小さな歌集にまとめました。

毎月短歌二首を作るのは、多少の努力が必要ですが、その時に自分がどう考え、どう感じていたのかを言葉で残す楽しみもあります。

調布狛江合唱団（合唱部・郷土部）

昭和39年2月設立

毎週火・木・土曜日 18:30～20:30

.....

どんなサークル？

「歌声は平和の力」「祖先が育てた郷土芸能を大切に」を合言葉に活動を続け、『創立60周年』を迎えました。20代から90代まで、多世代の会員がいます。合唱部の60周年記念のコンサートはグリーンホール大ホールで開催しました。「日本のうたごえ祭典」にも都の代表として選ばれ、令和3年度は銅賞を受賞しました。和太鼓と民舞を学んでいる郷土部「跳鼓舞（ちょうこま）」は60周年記念演奏会を令和6年8月10日(土)に文化会館たづくりで行います。



コロナ禍の活動

コロナ禍も休会はずに活動しました。パーテーションを置いたり、こまめに換気をするなどして感染防止に注意を払いました。活動場所がなかなか確保できず、多摩川の河原でも練習しました。

現在は以前のように歌えるようになり、90代の団員のお元気な姿は、他の団員のお手本となり、楽しい雰囲気の中で練習しています。毎週集い、心をこめて皆で歌えることの大切さをしみじみ味わっています。

調布deシャンソン（シャンソン）

平成21年11月設立

第1第3木曜日 13:30～15:30

・・・・・・・・・・・・・・・・

どんなサークル？

公民館主催のシャンソン教室をきっかけにピアニスト・作曲家の脇田陵太郎氏を講師としてスタートしました。シャンソン、カンツォーネ、スクリーンミュージック等を日本語で歌唱します。年一回開催のソロ歌唱する「おさらい会」も16回を終え、レパトリーは300曲を超えました。当初30名程の会員が現在20名程となり、新会員を募集しています。新たな目標にチャレンジ！



コロナ禍の活動

2020年2月、コロナ拡大により2, 3, 4, 5月と休会、2021年も1, 2, 3, 5, 6月と休会が続き、練習も会費徴収もできず、困難な運営となりました。2021年8月には公民館が歌での使用不可となり、またしても練習ができない状況に。このような状況でもおさらい会は実現！コロナ禍の役員は苦労の連続でした。今もマスクの着用と消毒は実行し、歌い難い状況は変わりません。そんな中でも新しいメンバーも増え、楽しい時間をさらに作り上げようと団結スタートしております。

調布ドキュメンタリー映画くらぶ

平成24年4月設立（ドキュメンタリー映画鑑賞）

毎月第4木曜日 13:30～16:30

・・・・・・・・・・・・・・・・

どんなサークル？

30周年記念時には発足して間もなかった私達のサークルも、その後活動を積み12年目に入りました。月1回の定例会では、映像の視聴とディスカッションをおし、社会や環境・人権などについての問題意識を高めてきたところです。例会で培ったこれらは、地域文化祭参加上映のなかで、キラリと光る味のある作品として、参加者の共感を得ていると受けとめています。

さらに、文化会館たづくりでの自主上映会は回を重ねる毎に好評で、集客数とともに地域のなかでの認知度が高まってきたと感得しています。

コロナ禍の活動

コロナ禍中の数カ月は例会も開催できず、予定していた映画監督の講演も延期を繰り返しながら、ようやく実施できたという経過を思い出しました。平常時に当たりまえに使えていた公民館の施設利用のありがたさに思い至りました。

ドキュメンタリー映画に特化した当サークルの活動は、調布地域において貴重な存在と目されてきました。今後とも、活動の幅と質をさらに高め、地域社会のなかに根付かせていきたいと考えています。



令和4年度地域文化祭での展示

調布ハーモニカサークルふるさと

平成9年4月設立 (ハーモニカ演奏)

第1・第3火曜日 17:30～21:00

.....

どんなサークル？

発足当初よりの目標は「会員同士の絆を固く結び元気で楽しく活動続けること」だったのですが、それをモットーに現在会員は11名。総合福祉会館で毎週木曜日、自主練習として西部公民館で月2回火曜日に練習を行っています。

長らくご指導頂いていた先生が残念ながらご逝去され、昨年より新しく先生をお迎えし、増々明るく楽しい内容の練習となっております。また、くつろぎコンサート含め、年3回の発表の場に向け、より一層の向上を目指し頑張っております。



コロナ禍の活動

コロナ禍は、より換気のできる部屋を確保し、マニュアルに沿った工夫で気持ちを切らさず、練習の場があることに感謝しながら乗り越えました。

今後もメンバーの高齢化にも配慮しながら、まずは健康に留意して活動しようと思います。以前不定期に行っていた老人ホームの慰問等も再開し、共に楽しい幸せな時間を過ごせたら良いなと思っております。

手編みサークルRAM(手編み)

平成29年4月設立

第2・第4木曜日 10:00～12:00

.....

どんなサークル？

公民館主催の手編み教室からスタートした私達の活動も7年目を迎えました。

年に1回の地域文化祭に向けて作品を仕上げるため、月2回の例会を行っています。先生が個々のペースに合わせて指導して下さいますので、毎回楽しんで充実した時間を過ごしています。



コロナ禍の活動

コロナ禍は公民館が閉館した期間は活動ができませんでしたが、それ以外は休会することなく、いつもの楽しいお喋りを控えて活動を続けました。メンバーはおかげさまで、無事に何とか乗り切り、現在は予防を兼ねてマスクを着用して、おしゃべりしたり笑ったりしながら、楽しい時間を共有しています。

ニュー・グロリア・スウィング・オーケストラ（ジャズ演奏）

昭和40年4月設立

毎週水曜日/第3日曜日 19:00～21:00

.....

どんなサークル？

我々は、1965年から半世紀以上にわたり調布を基盤に活動しているジャズバンドです。元々はグロリアバンドと呼ばれる調布市在住の青年6人からなるバンドでしたがその後ニューグロリア・スウィング・オーケストラと改名しました。地域の方々に喜ばれるバンドを目指し毎週水曜日と月1回の日曜日に練習しています。

西部公民館での「くつろぎコンサート」をはじめ、都内でのジャズフェスティバルや年末に行っている定期コンサートに向けて日夜励んでいます。

コロナ禍の活動

コロナ期間中は全てのコンサート活動が中止になり目標がなくなってしまい、それに伴って恒例の合宿も中止しましたが、練習だけは公民館が使用できる時は自由参加とし、5～6人で続けてきました。一昨年「くつろぎコンサート」が久しぶりの本番で、全員張り切って演奏したのは記憶に新しいところです。

今年も5つの本番を予定しています。更に良い演奏ができるように頑張りたいです。



ノアレア（ウクレレ）

平成28年10月設立

第2・第4火曜日 14:00～16:00

.....

どんなサークル？

毎月第2第4火曜の午後に、老若男女の“永遠の初心者”達が集まっています。

ハワイアンから歌謡曲、テレビで耳にする有名な曲など、自分達の弾きたい曲をカンタンなコードで演奏できるように練習しています。皆で弾くメリットは、自分が苦手なコードでも誰かが音を出してくれること！

4本弦のかわいい楽器は弾く人も聴く人も癒してくれます。

コロナ禍の活動

自分で歌いながら曲を奏でるウクレレですが、コロナ禍はそれが制限されたので、クラシック曲などに挑戦しました。何人かずつ演奏パートを分けての合奏は、普段のウクレレとはまた違った雰囲気となり、地域文化祭でも皆さんに楽しんでいただけました。



ハッピーダンス（社交ダンス）

平成16年4月設立

第2・第4木曜日/第3日曜日 13:30～15:30

.....

どんなサークル？

社交ダンスのレッスンをしています。
ハッピーダンスの会はその名前のように、ただ社交ダンスのレッスンをするだけでなく、楽しむ交流の場として、健康にダンスで体を動かし、ダンスの後にはなごやかにお茶会も楽しんでいます。



コロナ禍の活動

コロナ禍では活動を休まざるを得ない時もありましたが、マスク着用と消毒に気を付け、お互いに組まないで、足形だけの練習をするなど工夫しました。
人と人との交流を断たれたコロナ禍で、地域の公民館はつながりの場として大切な場所だと感じさせられました。

ピクルスの会（食の研究）

昭和58年7月設立

第2・第4金曜日 10:00～14:30

.....

どんなサークル？

「食生活を考える」をテーマに昭和58年設立、保育付き成人学級として7～8年。
初代「山花館長」のもと、講師がいなくても会員相互の力で学習を組み立てられるよう続けています。全員が役職をかかえ、4月に立てる年間学習計画(25回)に基づき次回の学習は細かく決められていきます。学習時間も2時間から、今は4時間半。市の出前講座を利用して…、テーマに添った調べものを全員宿題…なんてことも。学習の成果は印刷されて皆の宝物に。平均年齢が上がる中、良い学習方法をさぐりながら進めます。



コロナ禍の活動

コロナ禍で実習室の定員9名に合わせるため、順番に休んでもらい人数調節。休みの人にはハガキ等で次回の内容を連絡。学習時は3か所の窓や扉を開ける。寒い時には上着を羽織っての事も。水分は口にすることも、作った料理は全部持ち帰り。帰ってからのレンジでチンは味気無い。休会も何度か。その時の余りの会費で持ち帰り容器やお揃いのエプロンを買った。（グッドアイデア！）全員揃った時は賑やかで楽しい。そして、できた昼食を囲むようになってアツアツウフフ。

宮の下囲碁同好会（囲碁）

昭和63年1月設立

毎週日曜日 13:00～16:00

・・・・・・・・・・・・・・・・

どんなサークル？

同好の者が性別年齢を問わず，会員相互の尊重と棋力の向上，そして親睦を旨として，年3回の囲碁大会を含めて，毎日曜午後に活動しています。初心者が親しみやすいよう，夏休みを含め，年に数回，公民館と共催で市民を募っての体験会を行っています。



コロナ禍の活動

流行の期間中は，毎回3人～4人程度の欠席者があったが，会として休会はせずに活動を継続した。室内の換気（窓開け）マスクの着用は徹底した。また，対局の終了後は碁盤，碁石は必ず消毒した。（お陰で碁盤はきれいに！）さらに，予防接種をしっかりと受けていたためか，会員の中で感染の話は聞かなかった。

美楽（水彩画）

平成27年4月設立

第2・第4水曜日 13:30～15:30

・・・・・・・・・・・・・・・・

どんなサークル？

40周年，おめでとうございます。絵画サークル美楽は楽しみながら日々の暮らしを豊かにしようと，ほぼ全員が初心者のところから始めました。調布美術研究所の代表，師井先生のご指導のもと，各々の個性を生かして，「心が動いた物」や「大好きな物」を気持ちを込めて描いています。活動は春のロビー展と秋の文化祭を軸に，年に一度は野外スケッチに出かけています。「失敗は成功の元」をスローガンに，これからも明るく和気あいあいと描いていきたいと思えます。



コロナ禍の活動

寒い中窓を開けてお互いを気遣いながら制作しました。コロナ禍で，人に会うことが少ない中，美楽のメンバーの顔を見られるのが楽しみで，環境が変わっても好きな事があれば自分を持っていられると気づきました。



やさしい英会話（英会話）

平成27年9月設立

第1・第3火曜日 10:00～12:00

.....

どんなサークル？

津曲綾先生を講師にお迎えして、挨拶やすぐに使える日常会話を学んでいます。

先生オリジナルのテキストは、時事問題や季節の行事を織り交ぜたユーモアあふれるものです。時には英語の曲を歌ったりもします。会員は皆、明るく積極的で、いつも笑顔の絶えないサークルです。



コロナ禍の活動

2020年4月～5月の緊急事態宣言の間は休会しましたが、その後は席と席の間隔を広くとり、消毒をしながら活動を続ける事ができました。コロナ禍の文化祭の時は公開授業をビデオ中継して映像で見てもらいましたが、それは少し残念でした。コロナの間も、サークル活動を通してお互いの近況を話したり励まし合う事で、より絆が深まった気がしました。個々に様々な事情があるので、難しいことでもありますが、どんな状況になっても、日常的にサークル活動を行う事が一番大切な事なのではないかと思いました。

ヨガサークル スタート（ヨガ）

令和5年年1月設立

第2・第4土曜日 14:30～15:30

.....

どんなサークル？

私達サークルは公民館主催の健康講座「女性のための週末リトリートヨガ」に参加したメンバーが中心となり自主グループになりました。

自分の事が後回しになりがちなママ世代が月2回、自分の体と向き合う事だけに集中できる貴重な時間となっています。ヨガを定期的に始めてからは体の不調を感じる事が少なくなりました。そして、今では一緒にヨガをやる仲間達と先生と過ごす空間そのものが心地よいものとなっています。皆との出会いにも感謝しています。まだ、設立2年目のサークルですが末永く楽しく活動していきたいと思っています。



コロナ禍の活動

サークル発足前のコロナ禍、メンバーそれぞれ、様々な制限の中で日々の生活を送っていました。講座に参加したのは、徐々に通常の活動ができるようになった令和4年。前半後半の二部制の講座でした。人数を制限するためだったとのこと。今は人数の制限もなく、楽しく活動できています。

レザークラフト「夢工房」(革工芸)

平成9年11月設立

第2・第4金曜日 13:30～16:00

.....

どんなサークル？

レザークラフト「夢工房」は創設27年目です。

5年ほど前に講師がお辞めになり、当初は講師不在での活動に不安を感じましたが、メンバーそれぞれが「記憶」と「記録」を出し合い学んできた事を頼りに作品を作り続けています。27年の活動は無駄ではなかったようです。頭と手と口を最大限に駆使しながら楽しい時間を過ごしています。「次は何を作ろうかしら…」とメンバー各々意気盛んに頑張っています。



コロナ禍の活動

公民館が閉館した期間は、自宅で作業することになりましたが、その期間はメンバーの進捗状況を見るという刺激がなく、作業する意欲が低下したと思います。

開館後は、消毒・マスク・換気に注意しながら活動を再開しました。活動を始めて感じたのは「夢工房」の時間が気持ちのリラックスと「頑張ろう！！」との気力アップに役立っているのだと再確認しました。

わくわく金曜ストレッチ(ストレッチ)

平成24年6月設立

第1・第2・第4金曜日 10:00～11:00

.....

どんなサークル？

健康の維持増進を目的としたサークルです。実際の活動は、体力・運動力の保持ができるようにと、楽しくストレッチ・ダンスをしています。

文化祭で体験教室を実施したため入会希望が多く、現在第一学習室は満員です。指導者の荒井有紀先生を見ながら、自分のできる範囲で体を動かして、心もさわやかな気分で楽しんでいます。



コロナ禍の活動

マスクを使用しての運動は、暑く息苦しいこともありました。また、新規入会の方は皆の顔も見られず、お喋りもなく、馴染めなかったという意見もありました。

窓をできるだけ開け、共有のヨガマットはストレッチの前後にアルコール消毒をしました。近くの人とも大らかには喋れなかったけれど、コロナ禍のストレス解消に役立ちました。

少しずつ、皆で喋ることも多くなり、以前のように楽しく活動しています。

西部公民館利用団体連絡会(西利連) 10年間の活動

公民館を利用している団体の相互交流の組織として、平成13年に発足した「利用サークル連絡会」は、平成26年に他の公民館と名称を統一するため「西部公民館利用団体連絡会」(西利連)となりました。

「団体の自主的な相互連絡を通じて、団体の公民館における活動を円滑に行うとともに、公民館をよりよい活動の場に育てていくこと」を目的に、『お楽しみ会』と『研修会』を2本の柱として活動しています。

お楽しみ会は、利用者相互の親睦と秋の地域文化祭へ向けて機運を高めることを目的に夏頃に実施しています。料理サークル手づくりのランチ・音楽サークルの演奏や合唱・運動系サークルの指導での体操など、利用団体の協力を得ながら団体相互の横のつながりを深めています。



研修会では、様々な研修会を企画しました。バス研修、防災研修、ウォーキングなどのほか、40周年の公民館川柳募集は西利連が中心となって行い、研修会で川柳を学ぶ時間をつくりました。

西利連企画 研修会

平成26年度	山梨県リニア見学センター・恵林寺見学(バス研修)
平成27年度	避難訓練, AED講習と通報訓練, 消防署職員講話
平成28年度	のんびり森歩きの会(明治神宮～太田記念美術館)
平成29年度	東京都環境公社埋立処理場・東京都庁見学(バス研修)
平成30年度	防災研修会
令和元(平成31)年度	国立博物館・迎賓館見学(バス研修)
令和2年度	コロナ感染症拡大により中止
令和3年度	コロナ感染症拡大により中止
令和4年度	クリーンプラザふじみ・神代植物園見学(現地集合・解散)
令和5年度	群馬県富岡製糸場・こんにやくパーク見学(バス研修)



40周年 公民館川柳

西部公民館利用団体連絡会と共催しました

40歳の誕生日を迎えた公民館。なるほど！と納得してしまう作品や、くすっと笑ってしまう作品など、各団体から多くの作品が集まりました。

公民館 しみの数だけ 歴史あり

あの頃は 田んぼと虫だけ いっぱいだ

つなぎ合って40年 明日へ向かってレッツゴー

集いあい 学びあって 四十年

西部の地 仲間と一緒に 四十年

公民館 できた時には 私はたちは二十歳

四十年 当時は俺も 黒髪豊か

「ただいま」と言えば公民館の仲間「おかえり」と

40年 50年目も踊ります

学習成果発表 誰も欠けぬ我らのメンバー40年も

私より 四十若い 公民館

サークルは 元気と幸の 土産あり

用事ある 今日行くところは 公民館

公民館 老老男女が 花ざかり

まかせとけ あなたの居場所はここにある

バスストップ 公民館の声ひびく

我思う みんなの笑顔楽しみに

公民館 恐妻家の避難場所

濡れ落ち葉 掃かれ賑わう 公民館

クールだね 公民館がマイスクール

公民館 笑顔溢れる安否確認

懐かしい キンコンカンの公民館

レッスンの 合間にもらう 若さかな

皆勤賞 公民館でもらうだけ

あれ・それだけで通じ合っている傘寿の友

久しぶり公民館で会う笑顔

ちようどいい わがままが続く道

おやじどの 地域デビューは 公民館

年老いて 向かう先には 館の友

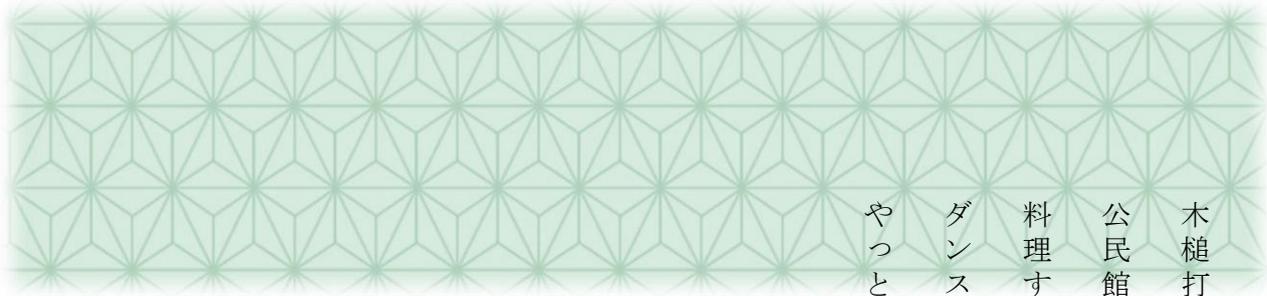
中高年 元気の源 公民館

公民館 学ぶ門には 知恵来たる
さあ行こう 笑顔あふれた 学びの場
無理難題 言っても笑顔の職員さん
ガラス無し 会話が弾む西部の窓口
その日だけ 忘れず行くぞ 公民館
生き方の お手本数多(あまた) 公民館
文化祭 成功めざし 動く黒子のバカぢから
笑いの数 増えて増えて 血圧上昇
西利連アタマとカラダ整理する
滑ったり 転んだりして 歳をとる
公民館開いててよかった トイレ行こ
いい月ね うなづく人の いない月夜
知るもよし 知らぬも又よし 花は咲く
山あいに 栗ひろい 秋の味
しまったと 思った場所にはありません

もうダメだ この急坂の帰り道
ロシアにも 公民館が あったなら
トボトボと平和の歩み 公民館
平和への 歩みトコトコ 公民館
コロナ禍の 楽しむ姿 福となす
コロナ禍で 唯一和める 公民館
公民館 ココロのなかに 公民館
公民館 守るコロナ禍 でも暮らしい
コロナ禍に 見えたプリズム ヒューマニズム
コロナ後に 初めて歌った 大コーラス
絵心が なくても楽し 吾が美楽
「ふくしき」は簿記ではなくて 呼吸法
週明けの 憂うつ吹き飛ばす たま川太鼓
合唱団 鼻腔広げて 同じ顔
歌うたい 絵を描き集う 仲間よし

負け勝負 いつまで続く 囲碁の道
ほめ言葉言いつつ伸びる秘訣かな
公民館行けば青春思いだす
道問われ 基点はいつも 公民館
師のもとで 和気あいあいと 公民館
あの角を 曲がれば仲間が 待っている
月一度 たのしい時間を ありがとう
走馬灯 今際に浮かぶ 公民館
公民館 楽しく学ぶ みんなの笑顔
行ってみよ 楽しい出会い 公民館
大笑い みんなに会える 習いごと
人生に 彩りを増す 公民館
見て聞いて 笑って過ごす 公民館
学びの舎 助ける声有り 心沈む時
公民館 築いていこう 笑顔の輪

館報の 講座に丸す 古希の君
古希の夢 公民館で 花咲かせ
集いきて 皆の笑顔に 憂さ忘れ
知力体力養える 美女と菓子付き ハッピーダンス！
時短料理 愛情たっぷり 笑顔の食卓
公民館 のどを鍛えて 長生きだ
琴弾けば 青春時代を 思い出す
セーターを 編んではほどき まだ着れぬ
囲碁がたき 白黒つかず 居酒屋へ
稽古励み コロナにめげず 十年目
ひとつまみ 愛情を添え 味きめる
来るだけで ウォーキング運動 公民館
週1回 笑顔広がる 太極拳
声出して お腹もまるく 歌楽し
エアロビを 踊る友たち 刺激受け



木槌打ち 大工さんかと 間違われ

公民館 みんなで出来た 旨い飯

料理する メニューはいつも 年齢差

ダンスする 気分はいつも 若いとき

やつと出来 作品展示 文化祭

作る笑顔(かお) 食べる笑顔のクッキング

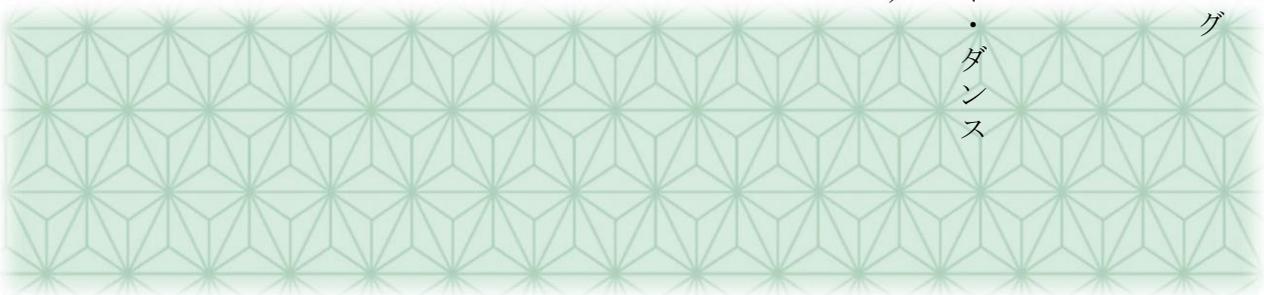
琴の会 練習たのし おしゃべりも

コーラスで 誤嚥なくすぞ 喉鍛え

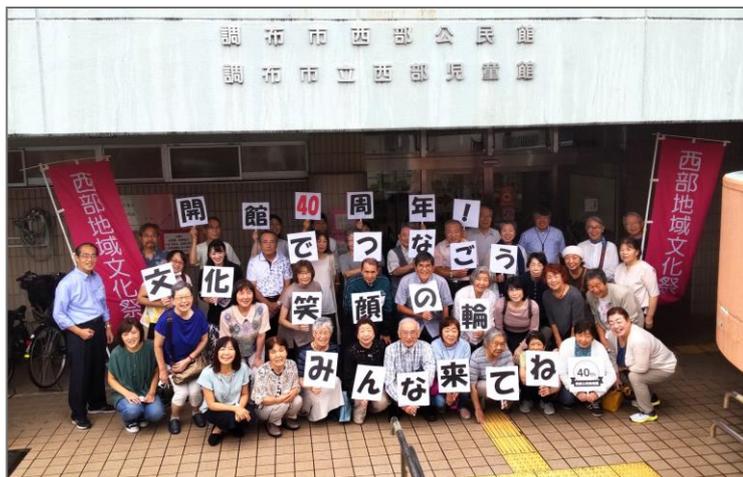
皆つどい 踊ればハッピー シャルウイ・ダンス

公民館 お早いデビューが お勧めです

40周年にちなんでの公民館川柳
いかがでしたでしょうか。
10年後にも、また利用者の皆さんの力作が生まれ
ますように…。



編集を終えて



西部公民館長 福澤 明

西部公民館は、開館40周年を迎えることが出来ました。

開館当初からこれまで、地域の方々をはじめとした利用者の皆様、関係者の皆様のご支援、ご協力をいただき、心より感謝申し上げます。

今回の記録誌は、令和26年3月に発行した30周年の記念誌発行以降の10年間の活動についてまとめたものです。

この10年を振り返りますと、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、全ての方々に多大な影響を及ぼし、行動も制限される状況が続いた期間でした。

当館でも、多くの事業が制約を受ける中、毎年盛大に実施されている地域文化祭も開催自体があやぶまれた年もありました。その時に、地域や利用者の方々と一緒に考え、知恵を出し合い、途切れることなく開催し続けられたこと、これこそが、公民館活動の原点であると考えております。

このコロナ禍の時期、公民館の活動をどのように実施してきたか、また、サークル活動にどのような影響があり、その中でどのように活動を行ってきたか等、記録として残すべきであると考え、この記録誌を発行することといたしました。

私は、西部公民館に配属になってから、それほど長くはありませんが、利用者の方々との会話や事業等を実施する中で、コロナ禍で希薄になりつつあった、人と人とのつながりが、事業やサークル活動を継続していく上で非常に大切なポイントであると感じました。そして、そのことが財産であると考えております。

結びに、開館以来積み重ねてきた人と人とのつながりや経験を大切にしながら、これからも地域の方々と一緒に西部公民館の活動を進めていきたいと職員一同考えておりますので、今後ともよろしく願いいたします。

40周年記念誌の作成にあたり、イレギュラーな事が続いた館長職だったなあと思いを返しています。

平成から令和へと、年号の変わり目に西部公民館長の職について、台風19号では、公民館を閉館して避難を経験しました。その後、地域の皆さんと防災について連携することが多くなりました。そして、コロナ禍では、公民館の事業や貸館も中止となり、市の他部署ではイベントの多くが中止となるなかで、何とか文化祭を開催、継続できました。実行委員会を中心とした、皆さんの熱い思いに助けていただいたと改めて感謝申し上げます。

そして、公民館の活動が戻ってきた時に「公民館があって良かった」と言っていた言葉が深く印象に残っています。

さあ、次の10年も、皆さんから「公民館があって良かった」と言っていただけですように。

(公民館職員 令和元年～4年度館長：神戸 聡)

調布市役所に就職して以来、公民館勤務を希望し続けてきました。西部公民館には令和2年10月に配属され、40周年の節目に立ち会うことができました。たいへん光栄に感じています。

時代は生涯学習という考えが広がり、社会教育はもう古いとか言われがちですが、西部公民館の40年もの歴史は、地域の人々がよりよく生きるために、この施設を活動の拠点としてきた証です。

これからも、地域の皆さんが楽しみながらつながる公民館活動に関わっていきたいと思っています。引き続きご指導のほどよろしくお願いします。

(公民館職員 鎮目俊幸)

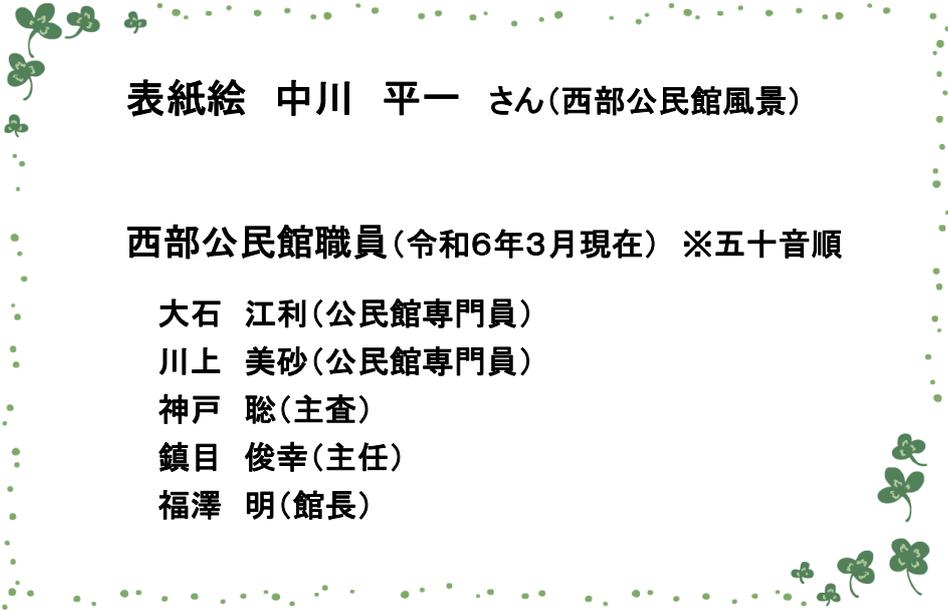
祝40周年の節目に、いくつかの企画に関わらせていただきました。なかでもトークイベントでの初代館長山花郁子さんの言葉が心に残りました。「動かなければ出会えない、語らなければ広がらない、聴かなければ深まらない」と。この言葉と同じ思いで活動を続けた人たちがより良い人間関係や地域を作ってくれたのだと思います。公民館は地域の学びの拠点です。皆さんの笑顔がこれからも絶えることがありませんように。50周年に向けてのスタートを応援しています。

(公民館専門員 川上美砂)

この10年間にはコロナという試練がありました。サークル活動はじめ主催講座や文化祭の実施方法などに様々な工夫が必要だった中で、皆さんの学び続ける意欲と前向きな姿勢、そして協力を惜しまない姿には大きな力をもらいました。

また40周年のトークイベントでは、初代館長や先輩方からの胸に残る言葉を沢山いただきました。公民館があるって素晴らしい！地域の広場・活動の拠点としての公民館を、これからも皆さんと一緒に守り、創っていきたいと思います。

(公民館専門員 大石江利)



表紙絵 中川 平一 さん(西部公民館風景)

西部公民館職員(令和6年3月現在) ※五十音順

大石 江利(公民館専門員)

川上 美砂(公民館専門員)

神戸 聡(主査)

鎮目 俊幸(主任)

福澤 明(館長)

出会い つながり 学びあう —開館40年のあゆみ—

登録番号(刊行物番号)

2023-191

発行日 令和6年3月

編集・発行 調布市西部公民館

〒182-0035 東京都調布市上石原 3-21-6

TEL 042-484-2531 Fax 042-484-3704

Email seibuk@city.chofu.lg.jp

印刷 庁内印刷

